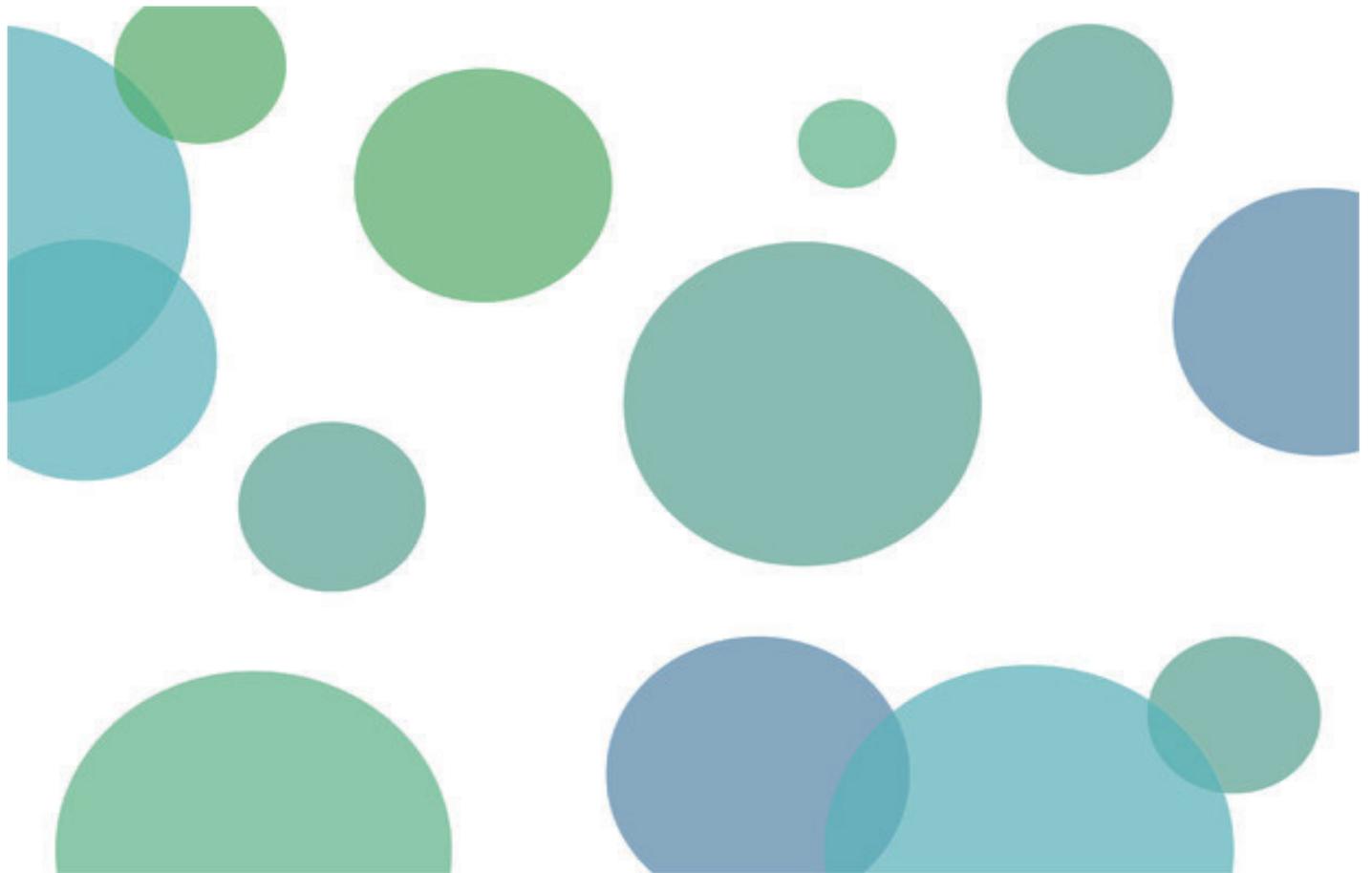


Guide to Study Abroad

2015

留学ガイドブック



滋賀県立大学

国際化推進室 編

留学のおすすめ

社会のグローバル化にともなって人・物・情報の移動は国境を越えて広がり、いわゆるボーダーレス時代に入っています。その中であって、各国間の文化の違いを理解し、尊重して、調和的な国際関係を築くことはますます重要な課題になってきました。個人のレベルでいえば、十分なコミュニケーション能力（聞き、理解し、伝える能力）を身につけ、多くの国の人々との交流を通して、自文化を相対的に見ることができる国際人になる必要があります。このような国際人こそが、節度ある国際競争や対立解消の交渉をリードし、多文化世界の未来を切り開くことができます。

本学で学んでいる皆さんは、日々の学習を通じて学力を身につけながら、コミュニケーション能力を鍛えています。また皆さんの周りには留学生もいて、一緒に学ぶなかで文化の違いに気づかされたことかもしれません。しかし自分の国際性を磨くには、実際に海外に出かけ、そこで生活し、あるいは学んで、文化の違いを肌で実感することがもっとも効果的です。そのために留学を勧めます。

本学は、アジアの国々、アメリカ、およびヨーロッパの大学と交流協定を結び、留学が容易にできるような体制作りを進めています。これを利用して、毎年何名かの学生が海外へ出かけています。これとは別に、アメリカと中国で3週間の短期研修に参加することも可能で、参加者には「異文化理解」科目として単位を認定しています。

この冊子「留学ガイドブック」には、本学の学生のために用意された留学の案内と関連する情報がまとめてあります。これを十分に活用され、実り多い留学を体験されることを願っています。

国際化推進室 室長 ピーター・モーリス

目次

提携校についての説明など、この冊子の情報は2015年1月時点のものです。

留学しようと思ったら					
留学しようとおもったら	5	スペイン	44	衛生・医療事情	74
比較してみよう	6	出願	44	予防接種	74
留学いろいろ	8	寮	44	治安	75
交換留学	8	ビザ申請	45	電話・Wi-Fi	75
単位認定	8	到着後の手続き	46	交換留学先大学情報	76
減免・留学助成金	9	授業	46	モンゴル	77
派遣留学	9	お金	46	出願	77
単位認定	9	予防接種	47	ビザ申請・外国人登録	77
減免・留学助成金	9	衛生・医療事情	47	予防接種・健康診断	78
短期海外研修	10	治安	47	授業	78
認定留学	10	電話	48	寮	78
認定留学の条件	10	電圧	49	ホームステイ	78
手続き	10	その他	49	お金	79
減免・留学助成金	10	交換留学先大学情報	49	衛生・医療事情	79
単位認定	11	フランス	50	治安	80
その他の留学	11	出願	50	郵便・インターネット	80
異文化理解	11	ビザ申請	50	電話	81
異文化理解A	12	到着後の手続き	51	その他	82
異文化理解B	13	寮での手続き	52	交換留学先大学情報	83
単位認定	14	学生社会保険	52	留学手続き	
コラム 先輩体験談	15	銀行口座開設	52	(派遣留学・国別留学編)	
留学手続き(交換留学)		お金	52	アメリカ	85
留学を決めたら	17	治安	53	ランシングコミュニティ	
手続き一覧	17	電話	54	カレッジ	85
留学手続きカレンダー	18	衛生・医療事情	55	スカジット・バレー・	
留学手続から出発まで	18	電圧	55	カレッジ	86
パスポート	19	交換留学先大学情報	55	オリンピック・カレッジ	86
海外旅行保険	19	イタリア	56	カナダ	87
査証(ビザ)	20	ビザ申請	56	出願	87
住民票など	20	授業	56	滞在先	87
国際学生証(ISIC)	20	寮・ホームステイ	56	お金	87
健康診断・予防接種	21	電話	57	医療事情	88
航空券	21	交換留学先大学情報	57	治安	88
認定期間中	21	オーストラリア	58	電話	88
在留届	21	出願	58	ニュージーランド	89
大学への定期報告	21	ビザ申請	58	出願	89
お金	22	健康診断	59	ビザ申請	89
その他	23	寮	59	滞在先について	90
帰国後	23	お金	60	治安	90
留学サポート	24	電圧	60	お金	90
安全のために	25	電話	60	電話	91
コラム 世界と日本	26	交換留学先大学情報	60	イギリス	92
留学手続き(交換留学・国別留学編)		中国	61	出願	92
アメリカ	28	出願	61	寮	92
TOEFL	28	予防接種・健康診断	61	ビザ申請	92
寮	29	ビザ申請	62	お金	93
ビザ申請	30	寮	62	電話	94
予防接種・健康診断	31	授業・大学生活	63	コラム 安全な留学	
授業・設備	32	治安	63	生活のために	95
お金	32	電話	64	留学に役立つ情報源	96
電話	33	お金	64		
電圧	33	電圧	65		
治安・衛生・医療事情	34	衛生・医療事情	65		
その他	34	その他	66		
入国の際の注意事項	35	交換留学先大学情報	66		
ドイツ	37	台湾	68		
出願	37	出願	68		
寮	38	ビザ申請	68		
授業	38	健康診断	69		
ビザ申請	39	寮	69		
到着後の手続き	39	大学生活	69		
お金	40	治安	69		
衛生・医療事情	40	電話	70		
治安	40	交換留学先大学情報	70		
電話	41	韓国	71		
電圧	42	授業・大学生活	71		
その他	42	寮	72		
交換留学先大学情報	43	お金	73		
		到着後	74		

留学しようと思ったら

留学しようと思ったら

留学について興味を持ったなら、「なぜ留学したいか」についてじっくり考えましょう。具体的な目的設定は、自分に適した留学のために必須です。

Point 1

どのような留学がしたいか？

留学自体が目的でも良いのですが、やりたいことが明確であれば、具体的な目標設定ができ、留学に向けて何を準備すれば良いのかがわかり、留学でよりいっそうの成果を得ることができます。語学や研究、海外大学での単位取得、キャリアアップ、国際交流など、まずは大まかなビジョンを持ち、詳細を決めていきましょう。

(例) 語学を修得したい場合

- 目標レベルー留学後にどうなっていたいか？
- 現在のレベルー目標達成に必要な期間、学習方法は？
- 留学期間ー最短何日必要？最長何ヶ月まで可能？
- 留学先ー何語を習いたい？環境は？生活費は？



Point 2

留学の種類は？

目的によって、留学の種類は異なります。ここでは滋賀県立大学の学生の留学を紹介します。海外の大学で修士号や博士号など、学位を目的とする場合は、本学を卒業してからの留学となります。

交換留学

交換留学とは、大学同士の交流協定に基づいて、相互に学生を派遣・受入する制度です。期間は基本的に1年間です。学内での募集に応募した学生の中から選考により派遣学生が決定されます。派遣先での授業料の納付が不要で、本学からの助成金または本学の授業料減免の対象です。

交換留学先には欧米圏・アジア圏があります。相手の大学から本学に留学している学生も多くおり、双方の国・大学間の活発な交流が期待されます。

認定留学

提携大学以外(協定を結んでいない大学)で、提携大学への留学と同等以上の効果が期待できると学長が認定した大学等(認定大学)への留学をいいます。

交換留学同様本学での在籍状況は「留学」扱いとなり、留学先で得た単位が本学での審議により認められることが可能です。出願、入学手続きは自分でを行い、費用も全て自分で支払いますが、本学からの助成金または本学の授業料減免の対象です。

派遣留学

国際コミュニケーション学科の学生が対象で、本学と派遣留学協定を締結している大学等へ3ヶ月～1年間留学します。派遣先で授業料を支払いますが、本学からの助成金または本学の授業料減免の対象です。

派遣留学先は欧米圏です。2015年4月時点の派遣留学先大学は、p 8を参照してください。

その他の留学

外国語の修得や、資格取得、研究、海外の大学や専門学校等、高等教育機関で単位取得などを目的とする、交換・認定・派遣留学、短期海外研修のどれにも属さない私費での留学です。留学する国や教育機関を自分で選ぶことができる他、希望する時期に留学できるというメリットがありますが、準備や本学での履修の調整も全て自分で行わなければなりません。また、留学の時期・期間により休学する必要があります。

短期海外研修

長期休業期間中を利用した1ヶ月程度の留学です。語学留学や海外の大学で実施されている短期プログラムなど、各自で条件に合う留学先を探します。

人間学「異文化理解」

滋賀県立大学の人間学科目「異文化理解」を履修し、長期休暇を利用しての3週間の海外研修です。アメリカでの「異文化理解A」と中国での「異文化理解B」があります。

比較してみよう

留学の形態ごとに、それぞれメリットがあります。短期間でより多くの経験を積めるか、それとも長期間でじっくり一つのことに挑戦するか。留学先を自由に選べることを優先するか、大学のサポートが充実している方が良いか。人によって何がメリットか、また留学先、期間、学校の種類によって費用も大きく異なります。じっくり検討し、最適な方法を見つけてください。

区分	交換留学	派遣留学	短期海外研修	認定留学	その他の留学	人間学異文化理解
期間	5ヶ月～1年	3ヶ月～1年	1ヶ月程度	3ヶ月～1年	自由	3週間
在籍状態 (※1)	留学	留学	在学	留学	休学か 在学	在学
本学の授業料	正規の修業年限内で卒業する場合は要納付。	正規の修業年限内で卒業する場合は要納付。	—	正規の修業年限内で卒業する場合は要納付。	休学しない場合は要納付。	—
留学先の授業料	納付不要	要納付	要納付	要納付	要納付	大学の一部負担後の残額を本学に支払う。
本学の経済的援助	本学を正規の修業年限内で卒業する場合は「留学助成金」を支給。正規の修業年限を超えて卒業する場合は留学中の授業料を減免。	本学を正規の修業年限内で卒業する場合は「留学助成金」を支給。正規の修業年限を超えて卒業する場合は留学中の授業料を減免。	—	本学を正規の修業年限内で卒業する場合は「留学助成金」を支給。正規の修業年限を超えて卒業する場合は留学中の授業料を減免。	—	本学の後援会より一部助成。
JASSO奨学金 (※2)	給付型、貸与型共に応募可	給付型、貸与型共に応募可	—	貸与型に応募可	—	—
教育機関の選択肢	交換留学協定校	派遣留学協定校	自由	海外の認可大学等もしくは同等以上の大学等	自由	アメリカ・LSSUまたは中国・湖南師範大学
本学での単位認定 (※3)	留学先で取得した単位の認定、単位の読替が可。	留学先で取得した単位の認定、単位の読替が可。	不可	留学先で取得した単位の認定、単位の読替が可。	不可	各2単位
その他		国際コミュニケーション学科の学生のみ対象	—	—	—	教職員による引率

※1：休学をした場合、入学後4年で卒業することはできませんので、注意してください。休学をする際は、卒業までの計画を練った上で申請してください。在籍状態が「留学」の場合は在学年限に含まれます。

※2：ここでいう給付型、貸与型は留学する学生への奨学金のことをさし、本学学生が留学とは関係なく受けられる奨学金とは別の物です。詳細は次ページを参照してください。

※3：国際コミュニケーションの「海外留学」の単位認定を除く。

留学助成金

留学の形態により、本学より渡航費の一部と奨学金、または授業料の一部が留学助成金として支給されます。詳細は後述する各留学ごとの説明を参照してください。

JASSO奨学金

JASSOとは、日本学生支援機構(Japan Student Services Organization)の略称で、教育の機会均等に寄与するために学資の貸与等の援助を行っている独立行政法人です。留学生交流の推進を図るための事業も行っており、本学の学生は下記の援助を受けることができます。

- ① 留学生交流支援制度(短期派遣)奨学金：奨学金の給付(返金不要)
※大学が申請し採択されたプログラムが対象となります。
<参考URL> http://www.jasso.go.jp/scholarship/short_term_h.html
- ② 第二種奨学金(短期留学)：奨学金の貸与(有利子貸与型)
<参考URL> http://www.jasso.go.jp/saiyou/tanki_ryuugaku.html

申請は大学を通して行います。①は採択プログラムの受給人数に応じて学内で選考を行います(成績・家計基準の要件があります)。②については、留学先の受入が決定する前でも申込は可能です。②を希望する学生は、留学の学内募集の段階で学生支援センターまで問い合わせてください。

注意：ここでいうJASSOの奨学金は、本学学生が通常の学生生活(留学時以外)を送る上で受けているJASSOの他の奨学金とは異なります。留学以前から奨学金を受けている学生が留学する場合、それまでの奨学金の休止あるいは奨学金交付の継続願いが必要ですので、学生支援センターまで問い合わせてください。

その他学外の奨学金

「JAPAN日本代表プログラム」(<https://tobitate.jasso.go.jp/>)

各在籍大学を通じて学生個人が応募できる給付型奨学金です。個人の主体的取組が重視される支援制度ですので、受給を目指す場合は上記サイトを参考に早めに準備してください。

また、国際交流が目的であれば、ワーキングホリデーや、インターンシップ、その他の研修など、留学以外にも方法があります。自分が何をしたいのか、それぞれの方法では何ができるのかを含めてじっくり検討しましょう。

インターネットや留学関連の本・雑誌など、情報を得る手段は多々あります。迷ったときは、国際化推進室へ気軽に相談しに来てください。

留学いろいろ

目的によって、留学の形は様々です。これから述べる留学形態の中で、どれが自分にあっているのか、じっくり検討してみましょう。大学での履修計画や資金の準備、就職活動や今後の人生設計に留学が大きく関わることも少なくありません。自分だけでなく、保護者やその他周囲の人の意見も聞いてみると良いでしょう。その上で自分で最終決定をします。留学は楽しいばかりではありません。時には壁にぶつかることもあるでしょう。このプロセスを経て自分で決定したということが、そういった辛い場面で生きてきます。

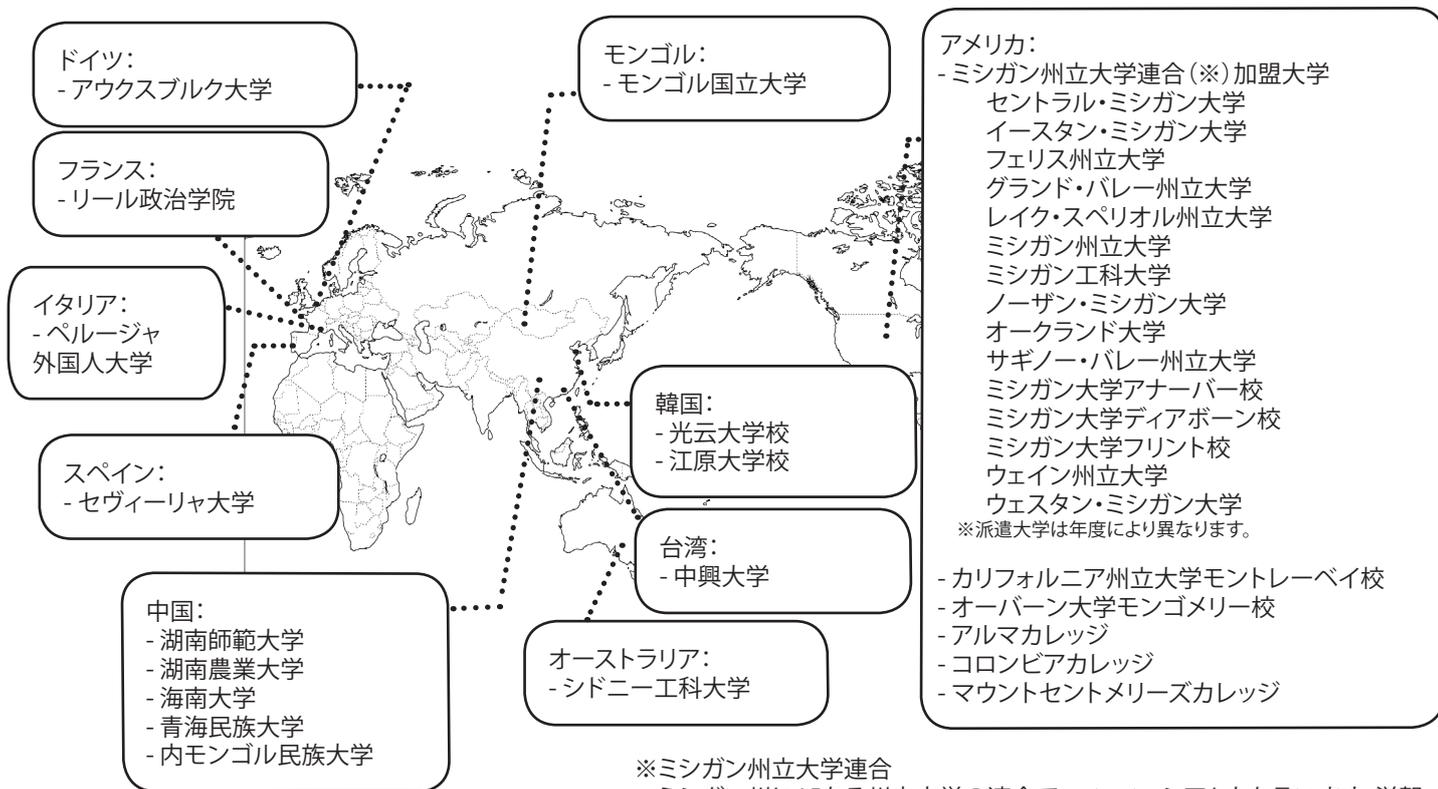
提携校への授業料が納付不要

交換留学

交換留学先は2014年度のアムリカ、中国、モンゴル、ドイツ、スペイン、韓国、フランスの7カ国に、新たにオーストラリア、台湾、イタリアが加わり10カ国となりました。各国の受け入れ大学は次の通りです。提携校についての説明は、2015年4月時点でのものです。

<滋賀県立大学の交換留学先一覧>

派遣人数は年度により異なります



※ミシガン州立大学連合

ミシガン州に15ある州立大学の連合で、コンソーシアムとも言います。滋賀県立大学はこのコンソーシアムと提携を結んでいます。彦根市松原町にミシガン州立大学連合日本センター(JCMU)があり、本学と交流しています。

単位認定

交換留学先で取得した単位は、帰国後原則として全て滋賀県立大学の単位として認定されます。成績評価は「認定」で、他学部他学科の単位となります。認定された単位は、滋賀県立大学の卒業要件単位に含めることが可能です(人間看護学部を除く)。※交換留学先で取得した単位の内容によっては、本学の授業科目への読替を申し出ることもできます。また、国際コミュニケーション学科の学生には学科独自の単位認定制度もあります。

※卒業要件に算入できる単位には上限があります。詳細は p 14 を参照してください。

減免・留学助成金

本学を正規の修業年限を超えて留学する場合(学部であれば5年)、留学中の本学への授業料が減免されます。本学を正規の修業年限内で卒業または修了する場合(学部であれば4年)は、留学助成金制度の対象となります。

- ・ 正規の修業年限を超えて留学する場合 → 留学中の本学への授業料を100%減免
- ・ 正規の修業年限内で留学する場合 → 助成金支給(下表)

渡航先	渡航費助成	奨学金(最大12ヶ月)	留学助成金合計
アジア圏以外	往復渡航費(上限10万円)	月額2万円	最大34万円
アジア圏	往復渡航費(上限5万円)	月額1万円	最大17万円

国際コミュニケーション学科の学生が対象

派遣留学

国際コミュニケーション学科の学生のみが対象で、派遣留学協定締結校へ3ヶ月から1年間留学するものです。2015年4月時点で決定している派遣先は、アメリカのランシング・コミュニティカレッジ(LCC)とスカジット・バレー・カレッジ(SVC)、オリンピックカレッジ(OC)、イギリスのリーズ大学、カナダのビクトリア大学、ニュージーランドのオークランド大学です。

単位認定

派遣留学先で取得した単位は、帰国後原則として全て滋賀県立大学の単位として認定されます。成績評価は「認定」で、他学部他学科の単位となります。認定された単位は、滋賀県立大学の卒業要件単位に含めることが可能です。

※派遣留学先で取得した単位の内容によっては、
本学の授業科目への読替を申し出ることもできます。
また、国際コミュニケーション学科独自の単位認定制度もあります。

※卒業要件に算入できる単位には上限があります。詳細は p14 を参照してください。

注意

p9およびp10に記載している留学助成金は、留年などで正規の修業年限を超えて卒業または修業した場合、返還する必要がありますので、ご注意ください。

減免・留学助成金

本学を正規の修業年限を超えて留学する場合(学部であれば5年)、留学中の本学への授業料が減免されます。本学を正規の修業年限内で卒業または修了する場合(学部であれば4年)は、留学助成金制度の対象となります。

- ・ 正規の修業年限を超えて留学する場合 → 留学中の本学への授業料を100%減免
- ・ 正規の修業年限内で留学する場合 → 助成金支給(下表)

派遣留学先	授業料助成
アメリカ LCC, SVC, OC	派遣先の授業料の1/2 (上限15万円)
イギリス リーズ大学	
カナダ ビクトリア大学	
ニュージーランド オークランド大学	

長期休業を利用して

短期海外研修

夏期や春期の長期休業期間を利用して1ヶ月程度の留学にチャレンジしてみましょう。その後の長期・中期留学の準備として行くのも良いでしょう。海外の大学で実施している3週間程度の語学プログラム等を自分で探してみてください。

※国際コミュニケーション学科の学生は、「海外留学」として単位認定を申請できます。

自分で選択した留学先の単位が認定可能

認定留学

協定校と同等以上の効果が期待できると学長が認定した大学等への留学です。留学先を自分で選択し、休学することなく留学することが可能です。

認定留学の条件

希望する留学を認定留学として認められるためには、海外の認可大学等もしくは同等以上の大学等であることが条件です。

留学期間 原則、3ヶ月以上1年以内

＜認可大学等とは＞

日本の場合は、学校教育法、私立学校法の規定により文部科学大臣により認可された大学、大学院、短期大学及び高等専門学校のことを指します。認定留学での留学先は、海外でのこれにあたる大学等です。

手続き

留学先への出願・入学手続きは留学する本人が各自行います。その上で認定留学として本学で認められるためには、以下の書類を提出し、学長の許可を得なければなりません。認定手続きに時間がかかるため、出願・入学手続きも同時に進めてもらって構いません。その場合、入学手続きを終えたあとで、認定留学として認められない結果となることもあり得ますので、ご了承ください。

提出書類

- ・ 留学調書・留学計画書
- ・ 大学のパンフレットなど、概要がわかるもの
- ・ 留学先からの受入許可書
※受け入れ許可書が交付されない場合は、留学先の国により登録証明書または在籍証明書
- ・ 授業期間および留学先の授業時間数が明記された書類

減免・留学助成金

認定留学の場合、留学先での授業料、学習にかかる費用は個人負担です。ただし、本学を正規の修業年限を超えて留学する場合(学部であれば5年)、留学中の本学への授業料が減免されます。

- ・ 正規の修業年限を超えて留学する場合 → 留学中の本学への授業料を100%減免
- ・ 正規の修業年限内で留学する場合 → 往復渡航費助成(アジア圏上限5万円、アジア圏以外上限10万円)

単位認定

認定留学先で取得した単位は、帰国後原則として全て滋賀県立大学の単位として認定されます。成績評価は「認定」で、他学部他学科の単位となります。認定された単位は、滋賀県立大学の卒業要件単位に含めることが可能です(人間看護学部を除く)。認定留学先で取得した単位の内容によっては、本学の授業科目への読替を申し出ることもできます。また、国際コミュニケーション学科の学生には学科独自の単位制度もあります。

※卒業要件に算入できる単位には上限があります。詳細は p 14 を参照してください。

場合によっては休学して

その他の留学

夏休み、春休みなどを利用して、語学力アップを目的に私費で海外の語学学校に留学するものや、長期間自分の希望する教育機関に留学することもあります。この場合、本学での学籍上の身分は「留学」扱いにはならず、単位の認定もありません。また準備は全て自分で行いますが、自分の希望する時期に希望する教育機関に留学できるというメリットがあります。

メリット

- 自分で計画、実行できる。
- 自分に合った学校を選ぶことができる。
- 旅行など、勉強以外の計画も自由に設計できる。
- とにかく語学力のアップに的を絞ることができる。

デメリット

- 単位の取得は不可。
- 場合によっては、費用が多くかかることもある。
- 場合によっては、休学する必要がある。

注意

休学をした場合、入学後正規の修業年限内(学部であれば4年)で卒業・修了することはできません。休学をする際は、卒業・修了までの計画を練った上で申請してください。

人間学の科目

異文化理解

人間学の履修科目として、本学より夏休みまたは春休みに派遣され、2単位を取得できるプログラムです。成績評価は「認定」です。

夏期休暇にアメリカへ行く「異文化理解A」と、春期休暇に中国へ行く「異文化理解B」があります。

レイク・スペリオール州立大学にて
2014年8月に実施された異文化理解A
プログラムでの一コマ



異文化理解 A

留学先 アメリカ合衆国ミシガン州
レイク・スペリオル州立大学 (L S S U)
期間 夏期休暇中 3週間
費用 約35万円程度

英語の授業の他、ミシガン州の素晴らしい自然環境、文化を体感する様々なアクティビティで構成。宿泊は大学寮が主。

準備から報告会まで

4月～5月ごろ 説明会
履修希望者募集

7月 事前学習
査証免除申請
航空券手配

8月 渡航
研修 (3週間)

10月 報告会
単位認定

研修中の主なアクティビティ

- 英会話授業
- キャンパスガイドツアー
- Soo Locksなどの見学
- ショッピング
- ホームステイ
- フィールドワーク
- American Pioneer Style Dinner
- Native American Dinner
- 各種パーティー

湿地帯へのフィールドトリップでは実際に川に入り、電気ショックによる魚取りや昆虫の採取をします。他にも山に登ったり森林を散策するなどのフィールドワークもあります。日本とは異なる大自然に魅了される毎日です。



ホームステイもプログラムに組み込まれています。L S S Uの学生や教員との交流パーティー、買い物、ピクニックなどイベントは盛りだくさん。現地の人々とのコミュニケーションを通し、授業では学べない英語や文化を存分に体験します。

参加者の声

先輩Aさん：

アメリカの大学生になれた気がした。私はフィールドワークがきっと一番楽しいんだろうなあとはじめは思っていたが、大学での生活がとてもよかった。寮に住み、大学生と同じように生活する。体育館を利用したり、散歩したり、一緒にご飯を食べたり、授業を受けたり。スーパーで買ったものを調理できたりして、日本にはない食品を試してみたり、やりたいと思ったことはたいていでき、自由にのびのび過ごすことができた。

先輩Bさん：

特に印象に残っているのはホームステイで過ごした3日間です。アメリカの日常生活を実際に経験し、言葉がなかなか伝わらない中で生活したことは、3週間の中でも大変濃い時間でした。英語で話すことが楽しい、もっと勉強したいと考えるようになったことは、このプログラムに参加して一番の収穫だったと思います。

異文化理解 B

留学先 中華人民共和国湖南省
 湖南師範大学
 期間 春期休暇中 3週間
 費用 約25万円程度

中国語の授業の他、世界遺産の見学、山水画、太極拳など多様。現地で日本語を学ぶ学生との交流も豊富にあります。

準備から報告会まで

10月 説明会
 履修希望者募集
 ~11月ごろ

1月 事前学習

2月 査証免除申請
 航空券手配

3月 渡航
 研修(3週間)
 単位認定

研修中の主なアクティビティ

- 中国語
- 張家界(世界遺産)への旅行
- ショッピング
- 長沙市内観光
- 中国音楽
- 中国画
- 太極拳
- 上海市内観光
- 各種パーティー

1 対1の会話の練習が毎日あり、一般の学生に混じって中国語の講義を受講します。フィールドワークでは日本語学科の学生と一緒に一般の食堂へ行ったり買い物をして会話の実践ができ、中国の日常を知る絶好の機会です。



湖 南師範大学のキャンパスは広大で、一つの街を形成しています。湖南省博物館や、洞庭湖、張家界などの世界的な文化施設の見学もあり、行く先々で会う中国大陸の自然、建築には目を見張るものがあります。

参加者の声

先輩Cさん：

湖南師範大学はとても広く、アパートやいろんなお店が建ち並んでいます。それ故迷ってしまいそうになりますが、心配御無用！日本語学科の学生がついてくれて、1対1で案内してくれます。カラオケやディスコなど、最近の中国の若者文化も肌で感じることができますよ。中国文化の授業では、大学の超一流の先生がわざわざ私たちの為に楽器を演奏してくださるなど、質の高い文化を身近に感じることができました。そのほかにも、夜行列車での小旅行があり、自然やおいしい食事、色んな体験をさせてもらいました。これを機会に中国が大好きになること、間違いなしです！

単位認定

交換留学・派遣留学・認定留学中に取得した単位は、帰国後原則として全て滋賀県立大学の単位として認定されます。成績評価は「認定」で、他学部他学科の単位となります。認定された単位は、滋賀県立大学の卒業要件単位に含めることが可能です(人間看護学部を除く)。また、本学の授業科目への読替を申し出ることもできます。本学での履修計画を早めに立て、留学中の履修・単位取得について不明なことができてきたら学部の履修登録相談窓口教員に相談しましょう。

○単位認定に必要な手続

帰国後原則1か月以内に、留学中に修得した単位の認定を国際化推進室に申し出る

◆必要書類

1. 成績証明書
2. 講義概要(認定・読替申請するすべての講義のシラバスを提出。シラバスが英語以外の場合は、日本語の翻訳を添付すること。)
3. 「留学中に修得した単位の認定にかかる認定および読替にかかる申出書」

上記必要書類を、提出前に指導教員の確認を受けた上、紙(A4)およびデータ(申請書はワード様式、成績証明書・シラバス等はPDF様式)で国際化推進室に提出。

原則「他学部他学科」科目として科目名、単位数がそのまま認定され、成績評価はすべて「認定」となります。

*講義概要は、留学中にシラバスをコピーもしくはダウンロードしておくこと。シラバスがない場合は、「科目名、週当たりの授業時間数、総授業時間数、授業内容」を自身で作成すること。

*認定された科目の県立大の成績証明書における成績評価表示は、もともとの成績評価が何であっても、「認定」と表示されます(GPAの算出対象外)。

○滋賀県立大学の授業科目への読替

留学先で単位取得した科目が滋賀県立大学の科目と内容が一致または近い場合、教授会(大学院においては研究会議)での審議を経て本学の科目に読替えることができます。読替として認められない場合は、「他学部他学科」科目として「認定」されます。

例) 留学先で「English Writing」(4単位)を履修

→ 国際コミュニケーション学科の専門科目「アカデミックライティング」(2単位)への読替を申請。認められれば、「アカデミックライティング」を履修したことになる。ただし単位数も留学先で取得した4単位から2単位へと単位数を減らすことになるため注意すること。

また、教員免許課程の「教科に関する科目」に指定されている科目への読み替えはできません。

以下を紙で提出

- ・申請書
(指導教員の押印済)
- ・成績証明書
- ・シラバス



以下をデータで提出

- ・申請書(ワード)
- ・成績証明書(PDF)
- ・シラバス(PDF)

提出は帰国後1か月以内に!

○卒業要件に加算できる単位数(他学部他学科)

■人間文化、環境:最大10単位まで

国際コミュニケーション学科の場合、留学先で修得し認定された単位は、原則として20単位まで卒業単位に算入可能です。また環境計画学科の場合は、最大15単位まで他学部他学科科目として卒業要件単位として認められます。

■工学部 :最大6単位まで

■人間看護 :認められない

*卒業単位に算入できるのは上記単位数までですが、認定は何単位でも可能です。

先輩体験談

4ヶ月を通して感じたこと

アメリカ・コロンビアカレッジへの交換留学 (2014)

加藤はるな

アメリカに留学に来て4ヶ月が経ち、海外での生活にも慣れてきました。私が留学しているミズーリ州に位置するコロンビア・カレッジは決して大きな大学ではありませんが、学生と教員の距離が近くアットホームな校風が特徴の学校です。月に数回、多い時には週に数回キャンパス内や寮内でイベントが催されるので、他の学生と交流を持つ機会もあります。これは小さな大学だからこそできることであり、コロンビア・カレッジに留学する上で良い点の一つであると思います。

この学校では留学生の人数は多くありませんが様々な国と地域からの学生が学んでおり、学校生活を通じてアメリカ文化だけではなく多種多様な文化に触れることができます。学生たちがそれぞれの自国の文化を紹介し合う機会もたくさんあります。異文化との出会いは自分の知らなかったものの見方や考え方を与えてくれますし、視野を大きく広げてくれます。また、自分のものとは異なる文化を知ることで、改めて日本文化を考える良いきっかけになり、さらには日本の良いところや課題点にも気付けるようになりました。残りの留学生活も精一杯楽しみながら多くのことを学び、帰国後の生活に活かしていけたらと思います。



モンゴルでの留学生生活を振り返って

モンゴル・モンゴル国立大学への交換留学 (2014)

浅田 誠

半年間の留学生生活を振り返って、「語学の準備」と「留学の目的を持つ」という、2つの「事前準備」が必要であると感じました。

第1に、「語学の準備」としては、授業を通しての学習はもちろん、留学までに、どれくらい話せるようになりたいのか(例えば、日常会話レベルなのか、仕事のツールとして使えるレベルなのか)という目標を決め、力をつける必要があると感じました。私の場合、目標が曖昧だったため、留学前に十分な勉強ができず、苦勞しました。納得のいく留学にするために、目標に合わせた「語学の

準備」が必要であると思います。

第2に、「留学の目的を持つ」ことです。何のために行くのか、具体的にしたいことは何かを考えておくことが大事です。なぜなら、その目的があることで、現地で路頭に迷うことなく、スムーズに留学生活を送っていけるからです。私は、モンゴルの田舎でのホームステイ、教育現場に携わると決め、実現しました。やりたいと決めたことを現地でできたことは、自分自身の留学生活における達成感にもつながりました。

今留学を考えている方は、荷物の準備などを始める前に、こういった「事前準備」を行うと、充実した良い留学になるのではないかと思います。



別の環境に身を置くこと

ニュージーランド・オークランド大学への

派遣留学 (2014) 老泉唯

毎日外国人とふれあい、話し合いながら授業や課題をつくりあげていく環境において、全く新しいことや受け入れがたいことに会って乗り越えていく生活をしながら、留学に来た価値を強く感じています。

ニュージーランドに来てからいろんな人に出会い知り合いましたが、ほとんどの人がとてもフレンドリーで驚きました。バスで隣に座ったり、エレベーターで乗り合わせたりするだけでにこにこ話しかけてくる人がたくさんいて、知らない人から話しかけられているという警戒心を抱く暇もないほどです。ところがカフェやスーパーでは打って変わってにこりもしないミスをしたも謝らないということがざらにあり、とあるスポーツ用品店に友達が不良品を返品しに行ったところ、「残念だけど返金はできないわ」と謝ることもなく対応されているのを見て、日本とこうも違うのかと慄きました。

ニュージーランドは移民大国で多文化主義国なので本当にさまざまな人がいて、時にそれはとても苦しく働きます。私はおもに人とのコミュニケーションで泣かされましたが、すべてとてもいい経験になっています。日本じゃ絶対にわからなかったことが当たり前のように起きて、私の知っている常識の幅はなんて狭かったんだろうと思うことがたくさんあって、いろいろなことが知れて本当に幸せです。



留学手続き (交換留学)

留学を決めたら

留学を決めたら、準備にとりかかります。留学前には受け入れ機関との手続きや家族との相談、ビザの申請など準備することがたくさんあります。気がついたら切が過ぎていた、留学前に思っていたより大幅に費用がかかった、などということの無いよう計画性をもって着実に準備を進めましょう。

準備期間にできることは、何といても語学です。留学先の言語を少しでもレベルアップできるよう勉強していきましょう。そうすることで、よりよいスタートがきれます。現地に行けば何とかなる、といった考え方もありますが、限られた留学期間をできるだけ有効利用したいのであれば、事前学習あるのみです。

注意：

ここでは交換留学を前提とした準備について説明しています。他の留学形態では準備内容に多少差があるため、あくまで参考としてください。

手続き一覧

大学で

- 国際化推進室への相談
- 留学先への出願
- 留学願提出
- 在学証明書、成績証明書の申請
- 助成金申請または減免申請

各自で

- パスポート
- お金
- 海外旅行保険
- 健康診断、予防接種
- ビザ
- 航空券
- 在留届
- 住民票など
- 国際学生証
- その他

書類はコピーをとって保管

留学の準備過程で多くの書類が発生します。各書類ごとにコピーをとり、整理して保管しておいてください。原本を紛失した場合やトラブルが起きた時に必要です。

特に、下記の書類はコピーを各3部ずつとり、1部は大学の国際化推進室に提出し、1部は保護者に、残り1部は自分で保管し、留学中にいつでも確認できるようにしておいてください。

1. パスポート
(最初とビザのページ)
2. 留学先への願書
3. 留学先からの入学許可証
4. 滋賀県立大学の在籍証明書(英文)
5. 健康診断書
6. 航空券
7. 海外旅行保険証

次ページに手続きをする時期の目安を示した「手続きカレンダー」を、その次に各自で行う手続きの詳細について記述しています。よく読んで、一つ一つもれのないよう確実に実行してください。

交換留学手続カレンダー

留学手続から出発まで

留学スタートまでには、様々な準備が必要です。滋賀県立大学で、個人で、そして留学先での手続きがあります。締切や手続きに要する期間をしっかりと把握し、本学での履修状況を確認しながら着実に進めてください。留学先によって授業の開始月はまちまちで、下記のカレンダーはあくまで参考です。大学やその年によって締め切りや手続きの内容が変わりますので、あくまで参考としてください。詳細は「[交換留学募集要項](#)」(国別)を参照してください。

また、P7で紹介した外部の奨学金を申請する場合は、1年半ほど前から計画を立てる必要があります。自分で奨学金に応募する場合は、募集要項を確認し、締め切りに遅れないよう気をつけてください。

欧米・英語圏 (秋学期開始)		その他の地域・非英語圏 (春学期開始)
前年7月		交換留学説明会 学内募集案内
前年9月		希望調書提出 留学計画書提出 交換留学派遣候補者の決定
前年10月		学部への推薦と承認
前年11月	交換留学説明会 学内募集案内	留学先大学へ願書提出
前年12月	希望調書提出	
1月	留学計画書提出 TOEFLスコア等提出	入学許可 留学願の提出 パスポートの申請 ビザの申請
2月	交換留学派遣候補者の決定 パスポートの申請	航空券の手配 出迎えの手配
3月	学部への推薦と承認 留学先大学へ願書提出	渡航 授業スタート
4月		
5月	入学許可 留学願の提出	
6月	ビザの申請	
7月	航空券の手配 出迎えの手配	
8月	渡航	
9月	授業スタート	

注意：

このカレンダーはあくまで参考です。留学先によってスケジュールが変わりますので、手続きの際には国際化推進室発行の「交換留学募集要項」の国別要項を確認してください。

パスポート

旅券(パスポート)は、日本国政府が渡航者の国籍・身分を公に証明する公文書です。有効期限が5年間のものと10年間のものがあり、20歳未満の人は5年間のものしか申請できません。

申請先：住民登録をしている各都道府県の旅券課
窓口一覧は外務省HP参照
<<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/>>

申請時期：パスポートが発行されるまでに、7日～12日(祝日や年末年始が間に入る場合はそれ以上)かかります。早めに申請しましょう。

申請書類：(各都道府県により異なります。下記は滋賀県の例です。)
一般旅券発給申請書 1枚
戸籍抄本または戸籍謄本(発行後6ヶ月以内) 1部
パスポート用写真(45mm×35mm) 1枚
申請者の本人確認 1つまたは2つ

※申請書類の設置場所や写真の写りに関する細かい規定など、詳細は下記のウェブページを確認してください。
<<http://www.pref.shiga.jp/b/kokusai/passport/shinsei/shinki.html>>

手数料：5年用 11,000円 10年用 16,000円

受取り：本人に限る

有効期限に関する 注意事項

留学する国によっては、パスポートの有効期限が迫っているとビザを交付してもらえません。また、一定期間以上の有効期限がないと滞在できない場合もあります。

海外旅行保険

留学形態、期間に関わらず、海外旅行保険には必ず加入してください。

海外での病気やけがの場合、多大な費用を請求されることがあります。日本語の通じない土地で具合が悪くなったり、自分で判断できない状況になった場合、その処置が第一で費用のことは二の次にされることは十分に考えられます。国によっては、治療後請求額を支払わないと病院から出してもらえないこともあります。そのような場合に支えになるのは、保険です。

滋賀県立大学からの派遣の際は、大学指定の保険に加入してもらいます。

主な保障内容：障害・疾病死亡
障害後遺障害
治療・救済費用
個人賠償責任

その他サービス：専門医によるメンタルヘルスケアサービス
メール安否確認WEBシステム
海外重大事故専用24時間フリーダイヤル(事故相談・受付)など

注意事項：歯科疾病、慢性疾患の治療には保険は適用されません。その他、保険が適用されるケースと適用されないケースについてパンフレットを熟読し、把握しておいて下さい。

問い合わせ先：滋賀県立大学 国際化推進室

※ 留学先によっては、留学先の保険加入を義務づけられている所もあります。その場合も本学指定の保険にも加入してもらいますが、留学先の保険で補償されない内容をカバーするプランを紹介します。

現地の健康保険

海外旅行保険と、現地での健康保険は別です。派遣先によっては、現地の健康保険加入を指示されますので、その場合は指示に従ってください。

日本の健康保険

日本の健康保険(国民健康保険または社会保険)に留学中も加入していた場合、海外で受けた医療行為が別途加入している海外旅行保険の適用外となる場合、日本の保険適用範囲内については保険の対象となります(海外療養費給付制度)。

査証(ビザ)

ビザとは、外国に入国する際に旅券(パスポート)保持人が正当な理由と資格があつて入国する旨の証明で、原則的には入国のための必要条件とされており、渡航先国、渡航目的、滞在期間等によって要否・種類が異なります。条件次第ではビザが免除されている場合や、事前通告なしに手続きが変更される場合があります。

詳細 → 国別留学情報

住民票など

役所などでは、1年以上国外に滞在する場合、海外転出届けの提出(住民票を抜く)が推奨されています。届けは出さずに日本に住んでいる状態にしておく学生がほとんどですが、以下のことをふまえ、家族とも相談して提出するかどうかを判断してください。

海外転出届を提出する(=住民票を抜く=日本に住所がない)

- 住民税を払う義務がなくなります。ただし、転出届を出す前年の所得に対する税金は支払います。
- 国民健康保険は転出届と同時に脱退することになり、保険料の支払いはなくなります。ただし、住民票を残して健康保険も加入したままにしておけば、海外で受けた治療が海外旅行保険の適用外となる場合に、適用範囲内の医療行為を国民健康保険で負担することができます。
- 国民年金は、住民票を抜いた場合、海外滞在という理由で支払いを中断することができます。ただし、将来の年金の支給額が減ります。住民票は抜くが将来の年金額が減るのは避けたいという場合は、任意で支払うことができます。

提出先：住民票を登録している市区町村役所
役所に用紙がありますので、必要事項を記入して記入します。記入方法は市区町村により異なります。

国際学生証(ISIC)

国際学生証(ISIC、International Student Identity Cardの略)とは、国際的に統一された学生身分証明書です。海外で学生であることの証明として使え、美術館や交通機関、宿泊施設等の割引や、24時間日本語サービスが受けられるHELP LINEの利用も可能です。留学先の国では受入大学の学生証が使えますが、その他の国に旅行したい人は、持っておくと便利です。

渡航後に必要になった場合でも、海外で申請可能です。

<参照URL> <http://isic.univcoop.or.jp>

申請先：本学または他の大学生協

申請書類：国際学生証申請書(生協にて入手可) 1枚
写真(縦4cm×横3cm) 一葉
学生証または在学証明書(提示)

発行日：申請の翌々営業日(午前中に申請した場合)

帰国後

海外転出届けを提出した場合、留学を終えて帰国後14日以内に再転入の手続きを行います。その際、パスポートと印鑑が必要です。

健康診断・予防接種

大学によっては願書と同時に健康診断書や予防接種記録などを提出します。求められる健康診断や予防接種の内容は受入大学によって異なります。また、予防接種を受ける場合は予約が必要です。2種類以上接種する場合は、次の接種までに一定期間あけなければいけないこともあります。余裕を持ったスケジュールを立ててください。

詳細 → 国別留学情報

航空券

航空券の手配は、旅行代理店などで各自行います。渡航の時期により、また乗り継ぎの違いで航空運賃が大きく差がでることがありますので比較してみましょう。また、以下の事項に注意して渡航日程を決めて下さい。

- ・ 滞在先(寮など)にはいつから入居可能か
- ・ 大学の学期始まりはいつからか
- ・ 学期が始まる前にオリエンテーションなど要出席の行事がないか
- ・ 現地到着時間はできれば午前中がのぞましい
空港から滞在先までどれくらい離れているか、また電車等の乗り継ぎが不便でないのかもチェックしましょう。
空港に着く時間が遅い場合、空港周辺の宿泊施設に一泊し、次の朝に滞在先まで行く方が安全です。
- ・ 現地到着日はいつか
時差や飛行機の乗り継ぎにより、現地到着日がずれることがあります。出発日だけでなく、到着日も念入りに確認してください。
- ・ 現地到着後、授業が始まるまでの日程に十分な余裕があるか
滞在先で、生活必需品(寝具や食器類など)を揃えるなど、ある程度落ち着いてから授業に望めるよう、到着後のスケジュールにも余裕を持ちましょう。

渡航日の相談

本学からの交換留学生が複数いる場合、同じ便で渡航すると心強いと思う人もいるでしょう。渡航前に顔合わせする機会がありますので、その際に相談してみましょう。

日程が決まったら

渡航日程、便名が決まったらすぐに国際化推進室まで知らせてください(メール可)。

留学期間中

在留届

在留届とは、海外で事件・事故や思わぬ災害が起こった場合に、現地の日本大使館や総領事館がこれをもとに所在の安否や緊急連絡先を確認して援護するのに活用されるものです。インターネットでも提出できますので、必ず行ってください。

対象者：海外に3ヶ月以上滞在する日本人

提出先：現地(海外)の住所または居所を管轄する日本大使館または日本総領事館(在外公館)

※インターネットでの提出はこちら。

<<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>>

提出時期：現地での住所が判明した時

用紙の入手先：(日本国内) 各都道府県の旅券窓口

(日本国外) 在外公館

外務省HPからダウンロード

<<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/image/zairyu.pdf>>

大学への定期報告

留学中は、月に一度、国際化推進室と指導教員に近況を報告してください。

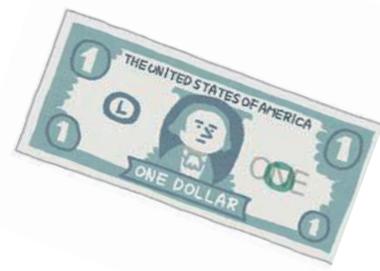
提出後の変更

在留届の提出後、転居など記載事項に変更があったときは、速やかに在外公館に連絡してください。

帰国するとき

帰国するときも必ず在外公館に連絡してください。連絡がないままですと、緊急事態の際に既に帰国している人の安否確認に時間をとられ、実際に滞在している人の確認作業が遅れることとなります。

お金



どうする? 「お金の持参方法と管理」

留学が決まって、いよいよ海外へ。準備の悩みどころのひとつが「お金の持って行き方」でしょう。具体的にどのような方法があるかまとめてみました。ただし、留学先によっては「銀行口座をまず作成しなければならない」など事情は様々です。国別のページでその国の情報を紹介していますので、合わせて参考にしてください。

1. 現地で口座を開設する

1年間の長期留学の場合は、現地で銀行口座を開設するのが便利でしょう。口座を開設後、日本から送金してもらいます。現地でキャッシュカードによるお金の出し入れが出来れば、便利で安全なお金の管理ができます。また、アメリカの銀行の場合は、銀行のキャッシュカードがデビットカードとしても使用できますので、多額の現金を持ち歩く必要がなく大変便利です。帰国時には口座を閉じる手続きが必要のため、帰国日が決まったら余裕を持って手続きしましょう。

以上のように、現地銀行での口座開設は大変便利ですが、口座開設→送金完了を待つ間、当座の生活費や授業料・寮費の支払いなど(大学による)が必要です。1週間程度は過ごせる程度の現金と、その他の思わぬ支払いに対応できるよう、クレジットカードを併用するなど対策を考えておきましょう。

2. クレジットカード

「もしも」に備え、クレジットカードを持参すると大変便利です。銀行口座の開設に思ったよりも時間がかかる場合、授業料や寮費など大きな支払はクレジットカードで支払うなどすると安全です。また、提携ATMで現地通貨のキャッシングをすることも可能です。ただし、留学先によって、使用できるクレジットカードが限られていたり、クレジットカードでの支払に対応していない、ということもありますので注意しましょう。また、クレジットカードの使用限度額を必ず確認し、授業料等の支払い月は限度額を引き上げてもらうなど事前に対策を取ってください。

3. 国際キャッシュカード

都市銀行などで発行していて、日本の口座にある金額を上限に、渡航先のATMから現金を引き出せるキャッシュカードです。通常利用しているキャッシュカードをそのまま海外に持ち出して使えるため、渡航前の手続きが必要ありません。現地に提携のATMがあれば、20ドル、50ドルなど決まった単位で引き出すことが可能です。

その他にも「キャッシュパスポート」などの海外専用プリペイドカードがあり、出発前に日本円を入金し、現地ATMで現金を引き出したり、デビットカードとして利用できます。

短期間の留学の場合は、現地で口座を開設せずに、このような代替方法でも十分です。

以上のような方法から、自分の留学スタイルと現地の事情に合わせ選択してください。「クレジットカードだけ」「国際キャッシュカードだけ」ではなく、「もしも」に備えて併用するようにしましょう。

* 当座の現金は持参する! *

現地で慌てないためにも1週間程度は過ごせる程度の現金は持参しましょう。口座を開設するにも時間がかかります。到着後数日間分の食費や交通費をベースに、リスクとの兼ね合いを考え、あとは別の方法で持っていくことをオススメします。



その他

歯の治療や目の検診などは、留学前にできるだけすませておきましょう。

歯の治療

歯科疾病に関する医療行為には、保険が効きません。日本の健康保険に加入したままであれば、帰国後に適用範囲内で保険負担分が加入者に支払われますが、現地で一旦は全額を支払わなければなりません。一度は歯科検診を受け、治療が必要であれば留学前に済ませておきましょう。

目の検診

コンタクトレンズをしている人は、予備のコンタクトレンズを用意しておきましょう。

慢性疾患

慢性疾患のある人は、留学先で同じ治療が受けられるか、環境の変化に対応できるか、いざというときの対処法など、担当医と綿密に相談して調べておきましょう。またこの場合海外旅行損害保険は適用されませんので、現地で健康保険に入る必要があります。

帰国後

授業が終了したら…

留学が終了したら、定められたビザの期限内に必ず帰国してください。また、帰国の際は在外公館に連絡をしてから帰国してください。在留届を出したまま帰国すると、緊急事態の際に安否確認に時間を取られ、大変な迷惑をかけることになります。

帰国日が決まったら必ず大学に連絡しましょう。旅行等で、滞在期間が当初の予定よりも伸びる場合、保険の補償期間に注意し、切れてしまう場合は延長申請をするなどして下さい。滋賀県立大学を通して加入した保険の場合は、国際化推進室まで連絡をすると、延長の手続を行うことができます(費用は延長期間により変わります)。

帰国後に単位の認定を希望している場合は、以下の物を揃えて帰国してください。

- ・講義概要が分かるもの(シラバス等)
- ・成績証明書

- *シラバス・成績証明書とも、英語以外の言語の場合は、翻訳を付けること
- *シラバスは帰国後慌てずに済むよう、最初にスキャンしてデータ化しておきましょう。

帰国後1ヶ月以内に以下の書類を国際化推進室に提出

- ① 留学報告書
- ② 留学中に修得した単位の認定にかかる申出書
- ③ 留学アンケート
- ④ 留学助成金報告書

留学サポート

渡航後は、月に一度は国際化推進室と指導教員にメールで報告を行ってください。

また、留学中、困ったことがあったら以下に相談してください。小さな事でもかまいません。不安を抱えたまま、また分からないことをそのままにしておく、思うように学習がすすまないばかりか、後に大きなトラブルを招きかねません。遠慮無く、なんでも相談してください。

各大学のインターナショナルオフィス等

受入大学の「International Office」等の部署に、留学生担当の教職員が控えています。渡航後、大学内でまずお世話になる所です。困ったときスムーズに連絡が取れるよう、電話番号を控え、大学内での位置や担当職員のオフィスアワーをあらかじめ確認しておきましょう。

保険会社のサポートデスク

海外旅行保険会社のサポートデスクなど、現地でのトラブルの際に連絡がとれる電話番号を控えておいてください。本学で提携する海外旅行保険の場合、ジェイアイ傷害火災保険株式会社の「Jiデスク」が、病気やケガ、盗難などの相談に対応してくれます。

滋賀県立大学

滋賀県立大学でも、国際化推進室のスタッフがいつでも相談を受け付けます。留学中にホームシックになったり、カルチャーショックで落ち込むこともあるでしょう。具体的な内容でなくて結構です。気軽に連絡してください。

住所 〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

TEL 0749-28-8504 FAX 0749-28-8267 ※電話のかけ方は国別留学準備編を参照。

Email iec-staff@office.usp.ac.jp

各国の日本大使館

各国の日本大使館・総領事館へ、下記の支援や助言を要請できます。自分が留学する国、また旅行等で訪れる国の日本大使館または総領事館がどこにあるか、把握しておきましょう。

弁護士や通訳、医療機関の情報提供

家族との連絡

現地警察への連絡

パスポートの新規発給又は旅券に変わる「帰国のための渡航書」の発給(要手数料)

大規模な自然災害や騒乱・戦争などに際しての日本人安否確認、退避支援

逮捕・拘禁に際しての面会、家族との連絡 など

※病院などとの交渉や医療費等の負担・支払い保証・立替、犯罪の捜査、賠償交渉、減刑要求、通訳・翻訳等はできません。

渡航後のお願い

- ・ 現地に到着後、在留届の提出を現地大使館宛に行うこと。
- ・ 月に一度は、国際化推進室と指導教員にメールで報告を行うこと。

安全のために

日本は世界の中でも治安の優れた国の一つです。それゆえ、日本の学生が海外へ出向いた際に、予想もしない事件や事故に巻き込まれるケースが多く見受けられます。ここでは、海外に渡航する際の一般的な安全対策を一部掲載します。後述する情報収集源や留学手続き(国別留学編)各国の治安、衛生・医療事情の項目にも必ず目を通し、事前の安全対策を十分に講じてください。また、いざというときにどうするのが良いか、きちんと学んで留学に臨んでください。また、母国の家族が安心して留学を見守れるよう、定期的に連絡してください。

心構え

①危険な場所には近づかない

強盗などの犯罪が多発する場所には不用意に近づかないだけでなく、夜間の外出や一人歩きは絶対に避けましょう。(特に女性)

②多額の現金、貴重品は持ち歩かない

海外では、日本人はスリやひったくり、強盗などの犯罪のターゲットにされやすいため、特に注意してください。

③犯罪にあっても抵抗しない

特に強盗にあった場合、犯人の要求に無用に抵抗したり反抗すると、凶器を使用され被害がより拡大します。

④見知らぬ人を安易に信用しない

表向きの優しさに気が緩み、詐欺事件にあう人がいます。少しでも怪しいと感じたら、「ノー」と断りましょう。

渡航先の情報収集

①渡航先の治安情勢

海外には治安情勢が悪化しているなど、渡航には適さない国や地域があります。

②犯罪手口や防犯対策

スリ、置き引きなどの犯罪は、貴重品の管理方法、手荷物の持ち方など基本的な対策で大半は防止できます。

③現地の法令・規則

国によって規則は違いますが、次のことはほぼ共通しています。

査証(ビザ)とパスポート:滞在目的・滞在期間に適合したビザの保持と、国によってはパスポートに一定の残存有効期間があることが求められます。

為替管理:一定額以上の現金やT/Cなどを携行して出入国するには、税関申告が必要です。

通関:ほとんどの国で、麻薬や銃器等の武器類、動物(食肉や魚を含む)や植物の持込・持出を禁止しています。

写真撮影の制限:国境施設、軍事施設、空港などの施設や公共施設、美術館などの写真撮影には注意が必要です。

旅行制限:外国人の入域を制限している地域があります。

交通ルール:国によって交通ルールは様々です。道路標識などもきちんとマスターしましょう。

④風俗・習慣・宗教

特に宗教を侮辱したり、宗教儀式を妨害する行為は厳しく罰せられる事があり、服装についても注意が必要です。

⑤健康・医療

特に注意すべき感染症が流行していないか、予防接種が必要かどうか、また現地での体調維持にはどのような注意が必要か、事前に調べましょう。また、急な傷病にも対応できるよう、現地の医療機関に関する情報も必要です。

情報収集源

①海外安全ホームページ

外務省が安全で快適な海外渡航・滞在のために必要な情報を提供しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/> または <http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp> (携帯版)

②その他

本学の国際交流推進室や留学生、留学経験者、インターネット、日本の各国・地域の政府観光局、旅行会社など

海外旅行保険

事前に十分な対策を講じていても、事故や事件に巻き込まれないとは限りません。健康に自信があっても、日本と違う環境でのストレスや疲労により、思いがけない病気にかかる可能性もあります。海外で入院、手術などが必要になった場合には医療費が非常に高額となり、また医療施設・水準が十分でない国では国外への緊急移送が必要になる場合も有ります。このため、留学期間にかかわらず海外旅行保険には必ず加入し、家族にも補償の内容等を伝えておくことが大切です。本学では、原則として大学指定の保険への加入を義務づけています。

コレ

世界と日本

世界のこと

海外では、常識が日本と異なることが多々あります。生活するうちに少しずつ慣れていく人がほとんどですが、日本では常識の範囲内である感覚や態度が時にはトラブルの原因となることもあります。

気をつけたい例

教会などで：ノースリーブや短パン、ミニスカートなど肌を露出する格好で良いか？

時間：約束の10分前に到着するのは良いことか？

食事：宗教により食べられないもの、飲めないものは？お酒は何歳から？

写真、ビデオ：許可されているか？カメラを向けて不快に思われないか？

プレゼント：高価すぎないか？下心があると疑われないか？

食事は、宗教以外にもベジタリアンの人や特定の食べ物に抵抗を感じる人もいます。最初に聞く、食べなくても良いとことわっておくなどの配慮が必要です。また、日本では約束の時間より先につくことが良いと言われていますが、必ずしもそうではありません。お宅へのご招待などでは時間前に準備が整っていないなど、迷惑になることがあります。「日本ではこうだけ、あなたはどうか」など、聞いておきましょう。恥ずかしがらずに、分からないことを分からないままに放っておかないよう心懸けましょう。

日本のこと

留学中は、日本について聞かれることが多くあります。「もっと日本の文化や歴史を知っておくべきだった」といった先輩の声をよく耳にします。留学はその国の学問や言語、文化を学ぶだけではなく、同時に自分の国から発信するものでもあります。互いのバックグラウンドに対して認め合うことで、留学はより充実したものとなります。出発準備のひとつとして、日本について学習しておきましょう。

よく聞かれる日本のこと

歴史 教育 地理 政治 経済
スポーツ 宗教 社会問題
行事 漫画 ファッション
音楽 ゲーム 言語 家

映画や小説などの影響から、侍や舞子(芸子)とは何か、といったことがよく聞かれます。地理上の日本の大きさや経緯、気候など、また政治の現状や経済情勢などは是非知っておきたい項目です。また、宗教では神道と仏教の違いや生活との関わり、年間行事や結婚式やお葬式などのライフイベントについても再確認しておくとう良いでしょう。日本の伝統だけでなくポップカルチャーについても、最近では興味を持たれる傾向にあります。

これら全てを覚える必要はありません。大切なことは、それらに対し自分の了見を持っていることです。スポーツなど得意分野があると、より関心を持ってもらえたり、共通の興味をもつ友人に出会える可能性が高くなるでしょう。

これはよかった！

先輩談

海外では日本の漫画やアニメが人気の国も多く、知っておくと現地の学生や他国からの留学生と話が弾みます。

代表的な歌が歌えたり、演奏できる、また書道など、上手じゃなくてもできると、友人を作るきっかけとなります。

留学先の代表的な宗教や文学、音楽などざっと学習しておくに役立ちます。特に宗教については、基本的なことを知っておくと良いでしょう。

交換留学 国別留学情報

アメリカ

アメリカへの交換留学先は、ミシガン州の州立大学15校のうちいずれか、カリフォルニア州立大学モンレーベイ校、アラバマ・オーバーン大学モンゴメリー校、ミシガン・アルマカレッジ、ミズーリ・コロンビアカレッジ、カリフォルニア・マウントセントメリーズカレッジです。ミシガン州の州立大学については、出願時に申請すると、現地のコーディネーターにより最適な大学に振り分けられます。

TOEFL

TOEFLテストとは、Test of English as a Foreign Languageの略で、大学のキャンパスや教室といった実生活でのコミュニケーションに必要な、読む・聞く・話す・書く4つの能力を測定するものです。アメリカの大学に留学するには、このTOEFLのスコアが必要です。個人受験は現在、iBT (Internet-based Test) というインターネット版のテストのみ受験可能です。滋賀県立大学でも団体向けテストプログラム、TOEFL ITPテスト(Institutional Testing Program)が受験できます。留学先によっては、ITPのスコアでも出願可能です。

TOEFL受験の流れ

Bulletinの入手、熟読

TOEFL受験者は、Bulletinと呼ばれる受験要項を読み、TOEFL受験について把握してください。BulletinはこちらのURLからダウンロードできます。
<http://www.cieej.or.jp/toefl/toefl/bulletin.html>

MyHomePageの作成

TOEFL iBT申し込みには、MyHomePageと呼ばれるTOEFLテストの公式ホームページ上で個人のアカウントページを作成する必要があります(無料)。作成すると、テスト会場やスケジュール、申込、申込の変更・キャンセル、スコアの確認などができます。
MyHomePage作成方法はこちら。
<http://www.cieej.or.jp/toefl/toefl/myhomepage.html>

申請

MyHomePageからオンラインで申し込みます。受験票の発行はなく、Registration Number、テスト日程・会場の表示画面をプリントアウトします。
申込期限・受験料:7日前まで(受験料225US\$)、3日前まで(受験料260US\$)
支払い方法:クレジットカード
(MyHomePage上の申込は、日本円も選択できますが、受験料はレートの変動により都度異なります)
申請はオンラインの他、郵送または電話でもできます。詳細は下記URLを参照。
<http://www.cieej.or.jp/toefl/toefl/register.html>

スコア確認

テストは米国で採点され(テスト日から2週間以内)、MyHomePageでスコアの確認ができます。スコアの確認予定日は下記のURLで見ることができます。
<http://www.ets.org/toefl/ibt/scores/get/>

TOEFLスコアの提出

TOEFLのスコアには2種類あります。

Examinee Score Report
(受験者用控えスコア票)

➡ 受験者の確認用

Official Score Report
(公式スコア票)

➡ 留学志望大学に提出用

公式スコア票は、テスト申込時にMyHomePageで送付手続きをすると、留学志望大学に直接送付され、受験者本人の手元には届きません。テスト後にも有料で送付手続きをすることができます(以下のURLを参照)。

http://www.cieej.or.jp/toefl/toefl/official_score_report.html

派遣先別TOEFL要求スコア・ESL授業の有無

受入大学により、要求されているTOEFLのスコアが異なります。また、留学中にESL授業(留学生用英会話の講義)がある大学と無い大学があります。下記の表を確認してください。
ただし、ESL授業を受講するには、原則別途授業料を支払う必要があります。

派遣先	TOEFL要求スコア	ESL
Central Michigan University	79 (iBT)	有り
Eastern Michigan University	61 (iBT)	有り
Ferris State University	61 (iBT)	有り
Grand Valley State University	80 (iBT)	無し
Lake Superior State University	61 (iBT)	無し
Michigan State University	79 (iBT)	有り
Michigan Tech University	79 (iBT)	無し
Northern Michigan University	61 (iBT)	有り
Oakland University	79 (iBT)	有り
Saginaw Valley State University	61 (iBT)	有り
University of Michigan-Ann Arbor	88-100 (iBT)	有り
University Michigan-Dearborn	80 (iBT)	有り
University of Michigan-Flint	61 (iBT)	有り
Wayne State University	500 (PBT); 61 (iBT)	有り
Western Michigan University	500 (PBT); 61 (iBT)	有り
California State University Monterey Bay	500 (PBT); 61 (iBT)	有り
Auburn University at Montgomery	500 (PBT); 61 (iBT)	有り
Alma College	550 (PBT); 80 (iBT)	無し
Columbia College	500 (PBT), ESOLの場合 460(PBT); 48(iBT)	有り
Mount St. Mary's College	530 (PBT); 75 (iBT)	無し

注意事項

TOEFLの受験時期を決める際、スコアが送付される時期が入学願書締め切りより前になるよう、注意して申し込んでください。

入学願書の締め切り後にスコアが送付されても、受入大学には受け付けてもらえません。

寮

アメリカの大学には大学寮が数多くあり、寮によって内容は様々です。派遣先大学のウェブサイトなどでどのようなタイプの寮に住むことができるかチェックし、滋賀県立大学を通して申し込みます。

寮の形態 個室～4人部屋

寮の設備 電話、シャワー、トイレ、台所、冷蔵庫、洗濯機、テレビ、冷暖房
個人専用のものと共用のものがあります。寮申請時に希望をはっきりと伝えてください。

その他 ・入寮してから不都合や不満が出た場合、寮の管理人またはインターナショナルオフィスのスタッフにはっきりと伝え、変更を希望してください。
・寮によっては冬季休暇中は原則閉鎖になる大学があります。寮の申込時に確認してください。

ビザ申請

アメリカに留学する場合は、あらかじめ日本で査証(ビザ)を取得します。ビザには種類があり、交換留学生は交流訪問者という扱いで「J-1」という種類のビザか、もしくは学生ビザである「F-1」ビザを申請することになります。どちらのビザを申請するかは、留学先大学により異なります。

ビザの種類: J-1ビザ(交流訪問者用ビザ)、もしくはF-1ビザ(学生ビザ)

申請料金: US\$160

入国許可: 留学先大学のプログラム開始日より30日前から(いつまでに入国するかは、各大学によって異なります)

滞在中の一時出国: 可(ただし、留学先のコーディネーターのサインが必要)

申請手続き

オンライン申請

大学によりJビザの申請をする場合と、Fビザの場合があります。留学先の大学から連絡があるため、確認次第、下記URLで該当ビザの情報収集を行ってください。

Jビザ・・・ミシガンコンソーシアム大学、アルマカレッジへの留学

http://www.ustraveldocs.com/jp_jp/jp-niv-typej.asp (Jビザについて)

Fビザ・・・カリフォルニア州立大学、コロンビアカレッジ、オーバーン大学

ランシングコミュニティカレッジ、オリンピックカレッジ

http://www.ustraveldocs.com/jp_jp/jp-niv-typefandm.asp (Fビザについて)

申請書作成

DS-160ビザ申請書をオンラインで作成。DS-160ビザ申請書のガイドライン http://www.ustraveldocs.com/jp_jp/jp-niv-ds160info.asp#guidelinesをよく読んでください。

*DS-160申請書をオンラインで提出後は、訂正はできません。

*DS-160の10桁のバーコード番号は面接の予約に必要です。

申請料金の支払い

手順に従って、該当ビザの申請料金を支払ってください。

面接予約

「面接の予約をする」よりログインして面接の予約をします。

※面接予約を進めるためには以下の情報が必要になります。

・パスポート身分事項ページの情報

・11桁または12桁の受付番号

・DS-160確認ページの10桁のバーコード番号

面接

申請書類

- ・オンライン申請書DS-160フォーム
- ・現在有効なパスポートおよび過去10年間に発行された古いパスポート
- ・2インチ x 2インチ(5 cm x 5 cm)の写真1枚。ウェブページに必要な写真の様式に関する情報が掲載されています。
- ・印刷した面接予約確認書
- ・プログラム主催者発行のDS-2019もしくはI-20許可書
- ・申請料金(\$160)の領収書(※クレジットカード払いの場合は不要)

*米国政府が支援する交流訪問者プログラム(プログラムコードがGで始まる)以外へ参加の場合、SEVIS費用を支払済であることを示すI-901 SEVIS費確認書を提出しなければなりません。SEVISウェブサイト(<http://www.ice.gov/sevis/>)に詳細情報が掲載されています。

その他、面接時に次の書類を持参してください。英語以外の書類には翻訳が必要です。

面接時に必要なその他の書類

- ・国に財務的・社会的・家族的な強いつながりがあり、米国での留学プログラムの終了後に確実に帰国することを示す書類。
- ・米国滞在期間の全学費および生活費を賄う十分な資金があることを証明する財政証明およびその他の書類。
- ・銀行の残高証明書原本もしくは預金通帳原本。銀行の残高証明書のコピーは原本と共に提出してください。
- ・成績証明書:過去5年間に米国留学の経験がある方は、その期間に在籍していた米国の学校から成績証明書を入手してください。米国留学経験がない場合は、最終学歴の最後3年分の成績証明書を日本あるいは米国以外の学校から入手し提出してください。



ビザの取得

面接後約7日間～14日間程でビザが発給されます。ただし全てのビザがこの期間内で発給されるという保証はありません。追加手続きが必要な場合は、6週間以上かかることもあります。余裕をもってビザ手続きのスケジュールをたててください。



最新情報は必ず自分でアメリカ大使館のホームページにおいて確認すること!

予防接種・健康診断

予防接種の要・不要は大学によって異なります。また、健康診断のうち、結核の診断が求められている大学があります。各々自分の予防接種歴を確認し、予防接種を受けるか否か、渡航前に受ける場合はどの予防接種を受けるか、各自で決めてください。大学によってはキャンパス内のヘルスセンターで予防接種を受けられる場合もあります。各自で確認してください。必要な予防接種には、麻疹、おたふく風邪、風疹、破傷風、B型肝炎、ジフテリア、MRワクチン、水ぼうそうなどがあります。

予防接種が必要な場合 → 派遣先大学へ「予防接種証明書」(英文)を提出

健康診断が必要な場合 → 派遣先大学へ「健康診断書」(英文)を提出

注意：

アメリカでは通常、BCG（結核）ワクチンを接種しないのに対し、日本ではBCGワクチンの予防接種を受けます。そのため、留学先で結核検査を受けた場合に、ツベルクリン反応（結核菌感染の診断）で陽性となり、説明を求められることがあります。到着後に結核検査を受ける場合は、BCGの予防接種を受けたことの証明を用意しておくとい良いでしょう。

授業・設備

履修計画

どのような授業を受講したいか、計画を練って留学先のインターナショナルオフィスに相談しましょう。本学との単位認定制度も合わせて確認してください。(P14参照)

語学授業

有る大学と、無い大学があります。TOEFL要求スコアの表を参照してください。(E S L受講は有料の場合があります)

大学の設備

図書館、パソコン、インターネット環境、運動施設、いずれも充実しています。

年間スケジュール

8月	現地到着 オリエンテーション
9月	秋学期開始
10月	ハロウィーン
12月	前期試験、冬期休暇開始
1月	春学期開始
2月	試験
3月	春期休暇開始
4月	後期試験
5月	帰国

お金

留学に必要な費用、その管理方法について、先輩談をまとめました。参考にし、滞在中は支払い遅れのないよう、また盗難や紛失に十分注意して管理してください。

渡航時に持参すべき金額

5万円～10万円

多額の現金を持ち歩くことは危険ですので、国際キャッシュカードやクレジットカードを併用しましょう。

銀行開設

アメリカの銀行で口座を開設すると、デビットカードが使えるため大変便利です。どの銀行が良いか、また銀行の口座開設方法は、留学先のオリエンテーションで紹介があります。

日本からの送金

日本からの送金はWire Transfer(電信送金)ができます。ゆうちょ又は銀行から送金できます。手数料が日本と現地の銀行双方の合計でおよそ6,000円程度かかります。

PayPalを利用して、日本の口座から海外の口座に送金することもできます。事前にPayPalの公式サイトから送金側と受け取る側のアカウント(口座)開設が必要です。送金手数料は銀行送金と比べると安価です。

PayPal 日本語版ウェブサイト <https://www.paypal.jp>

クレジットカード

アメリカはカード社会です。少額でもカードで買うことがよくあり、大変便利です。ただし、現金同様、持ち歩く際にはスリやひったくり、保管の際には盗難に細心の注意を払ってください。また、利用限度額の確認をし、授業料等の支払い月は限度額を変更するなど、カード会社に事前に相談しておきましょう。

国際キャッシュカード

都市銀行などで発行していて、日本の口座にある金額を上限に、渡航先のATMから現金を引き出せるキャッシュカードです。その他にも「キャッシュパスポート」などの海外専用プリペイドカードがあり、出発前に日本円を入金し、現地ATMで現金を引き出した後、デビットカードとして利用できます。

生活費

先輩Dさんの例 (10ヶ月間留学)

月額11万円程度：寮費5万円、食費2万円、教科書代2万円、教養娯楽費2万円。
留学生活を通して：およそ100万円。

先輩Eさんの例 (5ヶ月間留学)

月額12万円程度：寮費6万円、食費1万円、交通費5千円、教養娯楽費5千円。別途旅行代など。
留学生活を通して：およそ150万円。

電話

ここでは、国際電話のかけ方について説明します。留学中は、部屋の分かりやすい場所にメモを貼ったり、メモを持ち歩くなどし、非常時にいつでも日本に連絡できるようにしておいてください。

電話のかけ方

アメリカ⇒日本

0 1 1 — 8 1 — ○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○
国際電話識別番号 日本の国番号 市外局番 電話番号
(最初の0を抜く)

(例)アメリカから滋賀県立大学にかける場合 011-81-749-28-8200

日本⇒アメリカ

0 1 0 — 1 — ○ ○ ○ — ○ ○ ○ ○ ○ ○
国際電話識別番号 国番号 市外局番 電話番号
(エリアコード)

携帯電話

日本の携帯電話から海外にかける場合は、各社で方法が異なるため、事前に調べておいてください。

また、契約仕様によっては、日本の携帯電話を海外で使うことができます。海外パケットし放題など各社のプランを事前に調べておいてください。ただし、送受信とも料金が高いので、緊急時以外はおすすめできません。

電圧

海外では、コンセントの電圧が違います。国によっては日本の電化製品を使うための変圧器や変換プラグが手に入りにくいことがあるので、日本から持って行くようにしましょう。また、留学中に他国への旅行を考えている人は、その国の情報もあらかじめ確認しておきましょう。

アメリカの電圧：120ボルト（日本は100ボルト）

- 精密機械やドライヤーなど高温になるものを使用する場合は、120V→100Vの変圧器を持っていきましょう。
- パソコン等は、他国の電圧に対応しているものもあります。メーカーの仕様で確認してください。
- プラグの形は日本と同じ(Aタイプ)なので、変換は不要です。

治安・衛生・医療事情

治安が良いと言われている地域においても、夜遅くに一人で行動することは危険です。夜出歩く時は必ず団体行動し、その他危険と言われる地域や場所には立ち入らない、高価な物を持ち歩かない、鞆はチャックなどできちんと閉じられるものを選ぶなど、基本的なことを常に心懸けてください。特に女性は、昼間であっても人通りのない所は絶対に一人で歩かないでください。

アメリカの衛生状態は比較的良く、大学の寮の衛生状態も普通～良いと言われています(先輩談)。

医療については、医療水準・病院施設とも充実していますが、医療費が高額です。急病や事故などで救急施設を利用する際には、診療費の支払い能力を確認するため、クレジットカードや海外旅行保険加入証明などの提示を求められることがあります。

その他安全情報については、こちらのURLに詳しく載っています。随時チェックし、情勢を把握するようしてください。

外務省 海外安全ホームページ
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

アメリカの病院

病気をしたり怪我をしたら、我慢をせず、きちんと受診してください。アメリカの医療機関は整備されており、技術的には問題はありません。

アメリカでは留学先の提供する医療保険に加入することが義務付けられています。病院へのかかり方など、いざという時のために、しっかり確認しておきましょう。

歯の治療

歯科疾病に関する医療行為には、保険が効きません。日本の健康保険に加入したままであれば、帰国後に適用範囲内で保険負担分が加入者に支払われますが、現地で一旦は全額を支払わなければなりません。一度は歯科検診を受け、治療が必要であれば留学前に済ませておきましょう。

アメリカの緊急連絡先

◎警察、救急車、消防 TEL 911

◎各大学のインターナショナルオフィス

◎ジェイアイ保険 Jiデスク

保険加入時に配布する「海外安心サービスガイドブック」で、滞在先に一番近いJiデスクを探してください。

◎在デトロイト日本国総領事館

(管轄地域：ミシガン、オハイオ州)

住所 400 Renaissance Center,
Suite 1600, Detroit, Michigan
48243, U.S.A.

TEL (+1-313) 567-0120, 0179

FAX (+1-313) 567-3393

その他

空港までの出迎え

出迎えサービスがある大学があります。滋賀県立大学の国際化推進室に相談し、留学先の国際管理部のスタッフへの手配を打ち合わせしてください。

日本から持っていったほうが良いもの

- 折りたたみ角ハンガー(洗濯物を干す時に使う、洗濯ばさみがたくさん付いているもの)なかなか売っていないそうです。
- 日本のお菓子など→お世話になった人にプレゼントする
- 普段使いの薬
- パソコン

先輩からの
アドバイス

International Student Clubなどのサークルに参加することで、友達がたくさん作れます。イベントも多く、交友を深めることができます。アメリカは正に‘人種のるつぼ’で、世界中に友達ができるチャンスです。勉強も勿論大切ですが、日常多くの人と交流することも目標の一つにしてみてください。

アメリカへ**入国**する際の注意

1 入国審査・税関

目的の空港(または乗り継ぎ空港)に着いたら入国審査と税関を通る必要があります。

以下の書類は、受託手荷物には入れず、必ず機内持ち込み手荷物に入れ、入国審査の際、すぐに提示できるようにしておきましょう。なお、関係当局者以外に重要書類を貸したり、与えたりしてはいけません。

① **ビザ(F-1、J-1)シールが貼られたパスポート**

※パスポートを更新した場合は、入国審査の際、有効なビザが貼られた旧パスポートと新しいパスポートの両方を携帯し提示する必要があります。

② **I-20または DS-2019**

③ **英文の財政能力証明書(ビザ取得の際に使用したもの)**

④ **入学を許可する手紙**

⑤ **I-901 SEVIS 管理費確認書**

⑥ **入国審査官が受入先大学に連絡を取りたい場合に備え、F-1学生の場合I-20に署名した担当者の名前および連絡先、J-1学生の場合DS-2019に署名した担当者の名前及び連絡先のメモ。連絡先は入学許可証に記載された電話番号を使いましょう。**

入国審査ゲートを抜けたら自分の荷物を取って、税関に向かいます。記入済みの税関申告カードを持って審査を受けますが、審査といっても空港によっては係員にカードを渡して終わりという場合もありますし、トランクを開け隅々まで調べられる場合もあります。食品を持参している場合は必ず申告してください。乗り換えの必要がない人は「到着ロビー(Arrival Lobby)」へ、乗換えが必要な人は「国内線乗り換え(Domestic Transfer)」へ向かいます。国内線へ乗り継ぐ場合は、ここで荷物を再度預け直します。

2 到着後

● **出迎えのある人**

指定された場所で迎えを待ちます。万が一、迎えの人に会えない場合はまず、自分が正しい場所にいるか確かめましょう。正しい待ち合わせ場所にいる場合は、留学先のインターナショナルオフィスもしくは出迎えの人に電話をかけてください。どこにも連絡が取れないときには、状況によってはタクシーで大学まで移動するか、ホテルに待機し、連絡が取れるようになるのを待つしかありません。時間が遅い場合は無理をして動かず、空港近くのホテルに泊まるなどして下さい。

● **出迎えのない人**

空港からタクシーなどで、大学の寮もしくは大学近くのホテルまで移動します。

もし飛行機が遅れたら？

天候によっては乗継便に間に合わず、経由地で1泊を余儀なくされる場合もあります。そのような場合はまず、航空会社の指示に従って下さい。ホテルや代替便の提示などがあります。どちらの場合も、到着空港に迎えをお願いしている場合は、連絡を入れてその後の指示を仰いでください。そのためにも、留学先大学の連絡先は必ず控えて行ってください。空港にある公衆電話はクレジットカードが利用できるものも多くありますが、日本で発行されたクレジットカードが使えないこともあるので注意が必要です。

3 渡米後(留学中)の国外への旅行

在学中の一時帰国、海外旅行の際には、事前に留学生アドバイザーから I-20もしくはDS-2019にサインをもらうことを忘れないでください。学校によってはサインをもらうのに1週間かかる場合もありますし、その場でもらえることもあります。またアドバイザーに会うことを義務付けられている学校もありますので各学校の留学生オフィスで確認してください。学校からの許可なしに国外に出ると、ビザが無効になりその後の留学を続けられなくなる可能性もあります。サインは通常1年間有効ですが、アメリカ出国の際はその都度、毎回留学生アドバイザーに確認してもらうことをお勧めします。

4 アメリカに滞在できる期間

アメリカに滞在できる期間は、アメリカ入国時に渡される 入国スタンプに記入されています。一般的に留学目的で入国が許可されると、入国審査の際、入国スタンプとI-20(または DS-2019)に「D/S」(Duration of Status)と記載されます。これが意味するところは、以下の①+②+③の期間アメリカに合法的に滞在できるということです。

- ① フルタイム学生として(I-20または DS-2019に記載された)プログラムに在籍している期間。
- ② ①の勉強修了後のオプションプラクティカルトレーニングまたはアカデミックトレーニングの期間。
- ③ 猶予滞在期間

学業・研究が終了してからアメリカを離れるまでの猶予滞在期間(grace period)として、F-1滞在資格保持者はプログラム終了後 60日間、J-1滞在資格 保持者は 30日間の猶予滞在期間が与えられています。

*もし何らかの理由で、D/Sと記載されず具体的な日付が記載された場合は、その日までにアメリカを出国しなければなりません。



先輩からの
アドバイス

大学内のイベントがたくさんあるので、アメリカ人の友達も増えていくと思います。授業やイベントで話していくにつれ違う寮やオフキャンパスの友達ととても仲良くしてもらいました。

恐れずにたくさんの人と話せばよいと思います。

(コロンビアカレッジ)

ドイツ

ドイツへの交換留学先は、バイエルン州のアウクスブルク大学です。16000人以上の学生数を誇る総合大学です。日本語の授業もあり、受講している学生が日本人の留学生との交流を楽しみにしています。

出願

出願の流れ

ノミネーションリスト

アウクスブルク大学に交換留学を希望する学生のリストと下記出願書類を、国際化推進室を通して送付します。履歴書には決まった様式はありません。国際交流推進室に相談し、良い履歴書を作成しましょう。

<出願書類>

- Letter of Motivation(志望動機。A 4サイズにドイツ語または英語で一枚程度)
- 履歴書(ドイツ語または英語)
- 成績証明書(英語)
- 語学力の証明(ドイツ語の教員からのレターなど。後述)



オンライン申請

アウクスブルク大学にオンラインで申請用紙(申請番号が書かれたもの)を作成します。このとき、揃えた出願書類(PDFデータ)が必要です。



寮などの申請

寮の申込もオンライン申請時に同時に行ってください。



出願

オンライン申請で得た申請用紙と出願書類、寮の申込書を揃えてアウクスブルク大学に送付します。1ヶ月ほどで、受け入れ許可証が送られてきます。

これらの書類は国際化推進室を通して留学先に送られます。送られてきた入学許可証は、ビザの手続きと滋賀県立大学への留学願いに必要です。

これらの出願書類は全て、国際化推進室提出用・保護者保管用・自分で保管用に3部ずつコピーを取ること。

ドイツ語能力証明

ドイツ語の教員にレターを書いてもらうか、ドイツ語能力試験を受けます。

アウクスブルク大学は、留学生のドイツ語レベルについて、「ヨーロッパ言語共通参照枠組み(the Common European Framework of Reference for Languages)」の定めるB2またはC2レベルを推奨しています。

参照URL(「Council of Europe」HPより)http://www.coe.int/t/dg4/linguistic/source/framework_en.pdf

このレベルに達しない場合は、英語の能力証明を付加し、交換留学中に講義を受ける意志を証明します。詳細については国際化推進室に問い合わせして下さい。

寮

アウクスブルクには学生寮が充実しており、交換留学生は多くある寮の一つに住むことになります。寮によって家賃(160~246ユーロ/月)、部屋の様式も違います。下記のウェブサイトにも外観、大学までの行き方、部屋の間取りなども載っています。

http://www.studentenwerk-augsburg.de/english/housing/wohnservie-auslaendische_Eng.php

寮の形態	個室
設備(部屋)	シャワー、トイレ、台所、冷蔵庫、洗濯機、冷暖房、学習机、棚
設備(共同)	洗濯機、乾燥機、共同リビングなど。 寮によってはバーやバレーボールコート、卓球スペースなどがあります。
その他	入寮してから不都合や不満が出た場合、寮の管理人またはインターナショナルオフィスのスタッフにはっきりと伝え、変更を希望してください。

入寮までのステップ

寮が仮決定されると、契約書の内容(ドイツ語)と、家賃について、到着日の手続きについてのメールが寮の管理担当者から送られてきます。家賃を振り込み、契約書にサインをした時点で入寮決定です。入寮が決まると、正当な理由がない限り変更はできません。

- 家賃の納入 → メールで指定された銀行口座に、日本から外国送金をします。
振り込む金額は、デポジットと1ヶ月分の家賃です。これらの金額もメールに明示されます。
- 契約書にサイン → ドイツに到着し、入寮する際に行います。
- 鍵の受け渡し → 入寮日が決まったら、寮の管理人さんに連絡し、鍵の受け渡しの時間を指定します。
- 入寮したら → 寮には布団や什器類はありませんので、自分で購入します。あらかじめ申し込んでおく寝具などのレンタルも可能です。

授業

交換留学生はほとんどの授業を受けることができます。ホームページ(ドイツ語、英語)も大変充実しておりますので、じっくり検討して履修計画をたててください。

語学授業

交換留学生用のドイツ語(語学)の授業があります。スタートは10月です。授業は週に2コマ(1コマ90分)で、グレードによりクラスが異なります。B2以上のレベルでは、専門的なドイツ語も学べます。

クラスは参加人数にもよりますが6つほどあります。学期末にテストがあり、次の学期でレベルが上がるかどうか決まります。日本や語学学校などで同レベルを取得している場合など、担当の教員に相談すると、レベルを変えてもらえることがあります。

英語での授業

アウクスブルク大学では、英語で開講されている授業もあります。通常の授業はビジネス中級以上のドイツ語レベルが求められるため、留学生は英語での授業も積極的に受けています。

履修登録、その他

「デジキャンパス」というweb上で大学情報を管理し、休講のお知らせや授業で使用するプリントのダウンロード、また履修登録もこちらでします。

また、アウクスブルク大学ではインターンや研修が多くあります。ある程度のドイツ語能力が要求されますが、これらに参加することは大変有意義です。

年間スケジュール

4月	現地到着、 オリエンテーション 夏学期開始パーティー
7月	期末試験
8月	夏学期終了
10月	冬学期開始パーティー
12月	クリスマス、お正月
2月	期末試験、春期休暇開始

ビザ申請

ドイツに3ヶ月以上留学するには、ビザが必要です。(3ヶ月未満の短期研修ではビザは不要です。)ただし出発前に取得する必要は無く、実際に申請するのは渡航後になります。日本で手続きが必要な提出書類もありますので、下記を熟読し、漏れのないよう手続きをすすめてください。

申請手続き

保証書の用意(日本)

ドイツ到着後にビザ申請をする際に、保証書の提出が求められます。これらはあらかじめ日本で用意します。

- 学費・生活費・帰国旅費等に関する保証書(父親または母親その他の親族からの保証書)

保証人が大使館・総領事館・名誉領事館に出向き、用意されている保証書に署名する必要があります。その際、定期的に収入のある保証人の方が向いてください。来館の際には、身分証明書としてパスポートもしくは運転免許証、経費の証明として源泉徴収票 あるいは、確定申告書を持参してください。また渡航者本人のパスポートのコピー、入学許可書のコピー、そしてドイツの住所(既にドイツに住所がある場合)が必要となります。

※奨学金を受ける場合は、奨学金が支払われる旨のドイツ語文書のコピー。

※ドイツ連邦共和国総領事館住所:

〒531-6035 大阪市北区淀中1-1-88-3501

梅田スカイビルタワーイースト35階

TEL:06-6440-5070 HP: <http://www.osaka-kobe.diplo.de>



住民届け

ドイツに入国後1週間以内に居住地を管轄する住民登録局に住民届けをします。



ビザ申請

次に、入国後90日以内に滞在地の外国人局で滞在許可の申請をします。

<申請書類>

- 住民登録証明書
- パスポート
- 写真
- アウクスブルク大学からの受入許可証
- 保証書
- 健康保険の加入証明

到着後の手続き

入学時の手続きを以下に掲載します。不明な点、詳細については国際化推進室または受入大学のインターナショナルオフィスにお問い合わせください。

- ドイツの銀行口座開設、1年分の滞在費を入金する(ドイツでの口座開設は次項参照)
- 学生課利用料セメスターチケット料の納入:100ユーロ前後。
- 入学手続き(学生証の受領)
- 健康保険の加入
- 履修登録

授業開始の数日前に行われるオリエンテーションまでに上記の手続きを各自で終えていなければなりません。大学のHPの"First Step"のページから手続きに関する詳細をダウンロードすることができます。

http://www.aaa.uni-augsburg.de/en/incoming/exchange/non-european-exchange-students/first_steps/

健康保険への加入

アウクスブルク大学に在籍するためには、ドイツの健康保険に加入しなければなりません。日本で加入した海外旅行保険では、医療機関にかかった場合の保険適用範囲が異なることもあり、またアウクスブルクの外国人局で認められない可能性もあるため、それとは別に現地での健康保険加入が必要です。手続きは現地に到着してからとなりますが、詳細は DAAD(ドイツ学術交流会)のHP、<http://www.daad.de/>を参照してください。

お金

銀行

ドイツに到着してすぐ、銀行の口座を開設します。**寮費・保険料の支払いは口座からしかできないため、銀行口座開設は入学手続きの前に行う必要があります。**

- 必要書類はパスポートのみとなっていますが、入学許可証も持って行きましょう。
- 口座開設のためには銀行で色々質問を受けます。ドイツ語に自信が無い場合はチューターなど、ドイツ語の話せる人についてきてもらいましょう。

国際キャッシュカード

メガバンクやその他国際キャッシュカードを取り扱う銀行の海外 A T M サービスを利用すると、日本で入金(円)した額を、海外の現地通貨で必要なだけ引き出すことができ、便利です。多額の現金を持ち歩く必要がなく、また借り入れではありませんので安心です。

ただし、一部のカードは預金の残高により口座の維持費が必要となったり、利用ごとに手数料がかかることもあります。また A T M の数もそれほど多くはありません。ドイツ国内、旅行の時は旅行先のどこに A T M があるか、事前に確認しておきましょう。

クレジットカード

ドイツでクレジットカードを使用する場合、マスターカードしか使えない店もあるため、クレジットカードを作っていく場合は、マスターカードにすることをオススメします。ただし、カードを使えない店も多いため、注意が必要です。

生活費

旅行費用などを除いて、寮費、食費、交通費など基本的な生活費は全体で600～800ユーロほどみておけばよいでしょう。

衛生・医療事情

ドイツの衛生事情は日本と同様に良好です。ドイツ人の一般的な気質として、静かで清潔な生活を心がけるといふ傾向があり、清潔さ、秩序という点では日本以上と言われることもあります。

ドイツの病院

病気をしたり怪我をしたら、我慢をせず、きちんと受診してください。ドイツの医療機関は整備されており、技術的なことに関しては問題ありません。緊急の場合は救急車を呼びましょう。

救急車 TEL : 112

治安

ドイツの治安は一部の地区で気をつけなければいけない所はありますが、基本的には良好です。ただし近年は高い失業率、外国人犯罪組織の流入、麻薬の蔓延などから犯罪は起きています。観光している人や長期滞在者が、スリ、置き引きや空き巣などの他、傷害や暴行に遭うといった直接的な被害も報告されていますので、貴重品の管理や夜一人で出歩かないなど基本的な注意を怠らないでください。

ドイツの緊急連絡先

◎警察 TEL110

◎救急車・消防 TEL112

◎大学のインターナショナルオフィス

◎ジェイアイ保険 Jiデスク (フランクフルト)
TEL 0800-5892482 (フリーダイヤル)
069-2998-7892

◎在ミュンヘン日本総領事館
TEL 089-4176040

ドイツに限ったことではありませんが、法制度、文化背景、風俗習慣等、日本とは異なることを強く認識し、トラブルに巻き込まれないように十分注意するとともに、実際にトラブルに巻き込まれたときの対処等をあらかじめ想定しておくことが、海外における最も基本的な安全対策であることを忘れてはいけません。

その他安全情報については、こちらのURLに詳しく載っています。随時チェックし、情勢を把握するようにしてください。

外務省 海外安全ホームページ
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

電話

ここでは、国際電話のかけ方について説明します。留学中は、部屋の分かりやすい場所にメモを貼ったり、メモを持ち歩くなどし、非常時にいつでも日本に連絡できるようにしておいてください。

電話のかけ方

ドイツ⇒日本

00 - 81 - ○○○ - ○○○○○○
国際電話識別番号 日本の国番号 市外局番(最初の0を取る) 電話番号

(例)ドイツから滋賀県立大学へかける場合
00-81-749-28-8200

日本⇒ドイツ

010 - 49 - ○○○ - ○○○○○○
国際電話識別番号 国番号 市外局番 電話番号
(最初の0を取る)

(例)自宅からアウクスブルク大学のインターナショナルオフィスにかける場合
010-49-821-598506

携帯電話

日本の携帯電話から海外にかける場合は、各社で方法が異なるため、事前に調べておいてください。

また、契約仕様によっては、日本の携帯電話を海外で使うことができます。海外パケットし放題など各社のプランを事前に調べておいてください。ただし、送受信とも料金が高いため、緊急時以外はおすすめできません。

ドイツの携帯電話

携帯電話は、携帯電話のお店でプリペイド契約する方法と、ドラッグストアなどでプリペイド式の携帯電話を購入する方法があります。滞在期間が1年の交換留学生は、プリペイド式の方が良いでしょう。

国際電話カード

一般的にコーリングカードやプリペイドカードと呼ばれ、前払い式です。カードに記載してあるIDと暗証番号をダイヤルすれば使え、安く国際電話をかけられます。固定電話や携帯電話からもかけられ、日本へ連絡する場合に利用すると良いでしょう。

コーリングカードは繰り返し入金できるものが多く、プリペイドカードは1回きりです。種類は共に多くあり、様々な会社が販売しています。インターネットにも情報が載せられていますので、検索し、自分の条件に合う物を選んで下さい。

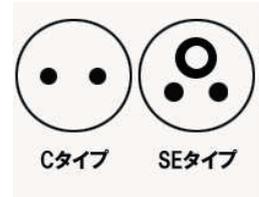
参考URL: <http://www2.ttcn.ne.jp/~grandpa/web/kokusaidenwa/calling.html>

電圧

海外では、コンセントの電圧とプラグの形が違います。100-240V 対応の電化製品（デジカメや携帯電話の充電器、ノートパソコンなど）をドイツで使用する場合は変換プラグが必要となります。また、留学中に他国への旅行を考えている人は、その国の情報もあらかじめ確認しておきましょう。

ドイツの電圧：230ボルト（日本は100ボルト）、50ヘルツ

- ドイツのプラグはCタイプが一般的です。一部にSEタイプもあります。
- 変圧器の使用については、火災や電気機器故障の原因になることもあります。ドイツの電圧に対応していない電化製品を使用する場合で変圧器が必要な場合は、販売店に相談して下さい。



©Jorudan Co.,Ltd

その他

チューター制度

入学許可が下りると、出発前にチューターの紹介があります。ドイツ到着後の学習面や生活面でのアドバイスをしてもらえます。またその他にも「タンデム制度」という、お互いの言語を教え合う制度があり、アウクスブルク大学で日本語を学ぶ学生との交流が可能です。タンデム制度については、ドイツ到着後にアウクスブルク大学において申請をしてください。

日本から持っていったほうが良いもの

ドイツでは基本的に生活に必要な物、日本の調味料などもほとんど手に入ります。特にこだわりの有るもの、ハンカチやお菓子など、ちょっとしたお土産などを持って行くと良いでしょう。

生活費

先輩Fさんの例
(2013年4月～11ヶ月留学)

月額600～700ユーロ程度：寮費
218ユーロ、食費300ユーロ、教科書代40ユーロ。
留学生活を通して：およそ800ユーロ。

先輩からのアドバイス

ドイツの学生は、講義でもゼミでも、みな大変熱心です。予習・復習にかける時間は日本の平均的な学生とは大きく違います。是非そんな学生達の態度を見習いたいものです。

また、自転車やドライヤー、什器など、先輩から譲ってもらえるもの、後輩に譲れる物があれば、チューターに一時保管してもらおうなどして、共有すると良いでしょう。

交換留学先大学情報



アウクスブルク大学

ドイツ連邦共和国バイエルン州
<http://www.uni-augsburg.de/en/>

アウクスブルク大学は、1970年創設された公立大学で、バイエルン地方で最も新しい大学の一つです。学生数は15,000人で、ドイツ人学生のうち20%はバイエルン地方以外から進学してきています。留学生は全学生の14%を占め、その割合は同規模の他大学に比べ多いことが特徴です。

MEMO . . . MEMO . . . MEMO . . . MEMO . . . MEMO . . .

MEMO . . . MEMO . . . MEMO . . . MEMO . . .

スペイン

スペインへの留学は、アンダルシア州にあるセヴィーリヤ大学です。7万人以上の学生数を誇り、5世紀以上にわたる歴史を持つ総合大学です。哲学、法学、薬学など25学部を有し、教育や研究だけでなく地域貢献にも積極的に取り組んでいます。

2015年度は2名の交換留学生在が本学に留学しています。

出願

出願の流れ

出願書類を揃える

出願書類(下記)を揃えます。

- 滋賀県立大学の推薦書
- 成績証明書
- カバーレター(スペイン語):
留学期間設定の理由、受講希望科目のリストを含む志望動機、研究計画
- スペイン語能力証明:
スペイン語の授業を受けるだけの十分な能力があることの証明です。B1レベルの証明書が必要になります。

オンライン申請

セヴィーリヤ大学にオンラインで出願します。このとき、揃えた出願書類(PDFデータ)が必要です。出願は国際化推進室で行います。

入学許可証の受取

特に問題がなければ、出願後3週間ほどで入学許可証が送られてきます。それをもってビザ申請をしてください。

出願書類、入学許可証は全て、国際化推進室提出用・保護者保管用・自分で保管用に3部ずつコピーを取ること。

寮

セヴィーリヤ大学には、寮があり、留学生も利用できます。寮の形態や寮費などは寮により異なります。寮への入居を希望する人は、指定の様式に記入し、様式に書かれたメールアドレス宛に申請します。

また、スペインでは学生のルームシェア(フラットシェア)も一般的です。フラット(日本でいうアパート)を共同で借りるシステムです。家具などが一式そろっていることがほとんどで、地方からの学生や留学生も多く利用しています。フラットシェアを希望する人に向けての情報もありますので、参考にしてください。

参考URL: <http://www.internacional.us.es/en/alojamiento>

なお、ビザの申請時にスペインでの滞在先を決めておく必要があります。住居の決定には時間がかかりますので、余裕をもって申請しましょう。寮が決まったら国際化推進室まで連絡するか、決める際に問い合わせてください。

ビザ申請

スペインに3ヶ月以上滞在する場合は、ビザ(査証)の取得が必要です。**ビザ取得には約2ヶ月必要です**ので、余裕を持って申請してください。ただし、ビザの認可通知書の日付から90日以内にスペインに入国しなくてはなりません。また3ヶ月以上前の早過ぎる時期でも申請はできませんので注意してください。

注意：未成年者の場合は、ビザ申請前にまず、スペイン現地政府当局発行の未成年者用の渡航認可証明書を取得します。これは現地の保護者（ここではセヴィーリャ大学）が取得しないと行けないため、事前にセヴィーリャ大学に申請しなければなりません。渡航時に未成年の学生は、国際化推進室まで問い合わせてください。

申請手続き

提出書類の準備

<提出書類>

・ 査証申請書

申請書はスペイン大使館から取り寄せます。後述する大使館領事部の住所に、査証が必要な旨を書いたものに返信用封筒を同封し、送ってもらいます。

・ 写真: 4.5cm×3.5cm、カラー、背景は白。申請書右上に貼付します。

・ パスポートとコピー1部

パスポートは、スペインへの入国日より1年以上有効のもので、ビザ用の余白ページが2ページ以上あるもの。

・ セヴィーリャ大学の入学許可証

・ 無犯罪証明書

証明書は、申請者本人が住民登録のある都道府県の警察当局に申請して発行してもらいます。滋賀県の場合は大津市の滋賀県警察本部です。

<参考URL> http://www.pref.shiga.lg.jp/police/tetuzuki/files/hanreki_11.pdf

過去5年間に日本以外に居住した場合は、その国発行のものも必要。

・ 経済能力を証明するもの

日本からの往復の経費と月額535ユーロ相当額以上の滞在費支弁能力の証明で、下記のいずれか

a. 金融機関の残高証明書(原本)

25歳未満あるいは親と同居している場合は親名義でも可。その場合は親子関係を証明するための戸籍謄本と住民票の原本(留学する本人と残高証明名義の両名が載っているもの)を添付。

b. 給費・奨学金の証明書(原本とコピー1部)

・ 宿泊証明: スペインの宿泊先の証明(原本とコピー1部)

・ 海外旅行保険の加入証明書(英文あるいはスペイン文)

滞在中の傷害・疾病に備えた医療費及び日本への一時帰国をカバーするもので、希望滞在期間をカバーしていること。

・ 健康診断書: 原本とコピー1部。大使館の様式。

・ 返信用定形封筒: 宛先、郵便番号、宛名を記入し、82円切手を貼ったもの。

・ 手数料: 日本国籍以外の学生は7,487円必要。



ビザ申請

ビザの申請に本人が出頭します。

<出頭先> スペイン大使館領事部 〒106-0032 東京都港区六本木1-3-29
TEL: 03-3583-8531 FAX: 03-3582-8627
受付時間: 土日祝日以外の9:30~12:30

ビザ受領

ビザが認可されたら、再度本人が出頭してビザを受領します。

入国・
学生証の取得

ビザの認可通知書の日付から90日以内にスペインに入国します。

スペインの入国日より30日以内に、居住予定の警察署で学生証(Tarjeta de Estudiante)を取得します。現地での手続き詳細は次項を確認してください。

到着後の手続き

学生カードの申請:スペインへ入国したら、30日以内に学生カード(Tarjeta de Estudiante)を申請します。

申請先:居住予定の警察署

提出書類:

- ・ 申請用紙(警察署で入手できます。)とそのコピー
- ・ パスポート(ビザのページに入国スタンプが押されていること)
- ・ パスポートのコピー(顔写真とビザのページ)
- ・ 入学許可証
- ・ 証明写真2枚(カラー、背景白)
- ・ 場合によっては、銀行の残高証明など、経済能力を証明するものが必要

※証明が必要な場合、先に銀行の口座を開設し、生活費を送金してもらうのがベストです。

授業

スペインには14時から16時くらいにシエスタというお昼休みがあり、授業後いったん家に帰って、友達とお昼を食べたり、昼寝をしたりする習慣があります。講義の形態は日本と大差ありませんが、学生は進んで意見を言います。

語学授業

セヴィーリャ大学構内に語学学校があり、スペイン語を母国語としない留学生はそこで留学中、無料でスペイン語の授業を受けられます。初級から上級まで別れており、授業はすべてスペイン語で進められます。

また、留学生向けにタンデムあるいはトーク・グループという語学のサポートプログラムがあります。タンデムは1対1で定期的に語学練習を行うもので、トーク・グループは3人以上で行う語学練習です。留学生とネイティブの学生が、それぞれの国の言葉や文化の知識を共有します。

お金

スペインでの生活費は、決して安くはありません。特に海外から引っ越してきたばかりの時は安い量販店や食材を売るお店など、地元で長期滞在しないと分からないことも多く、出費が増える傾向にあります。およそ1000ユーロ前後見積もっておく必要があるでしょう。

銀行口座

1年の留学では、スペインで口座を開くことをお勧めします。銀行のキャッシュカードはデビットカードとして使えることがほとんどで、現金を持ち歩く必要が無く便利です。

口座開設:口座はパスポートを持っていけば比較的簡単に開設できます。ただ、スペインの銀行は各銀行、各支店によってもシステムが異なることが多く、口座の開設方法は一概に説明できません。大学や住まいに近くて便利な銀行を探し、自分で口座の開設方法を問い合わせてください。

生活費

先輩 Hさんの例
(2012年9月~11ヶ月留学)

食費:130ユーロ
交通費:50ユーロ
家賃(光熱費込):300ユーロ
娯楽費・教科書代:40ユーロ
合計:約520ユーロ/月
(約52,000円)

予防接種

大学から要求されている予防接種はありませんが、厚生労働省は破傷風の予防接種を推奨しています。

参照：厚生労働省検疫所「FORTH 海外で健康に過ごすために」 <http://www.forth.go.jp>

衛生・医療事情

飲料水として、水道は飲用可の所もありますが、バルセロナなど、硬水の地域ではミネラルウォーターを利用した方が良いでしょう。

スペインの病院

病気をしたり怪我をしたら、我慢をせず、きちんと受診してください。スペインの医療技術及び設備は他の西欧諸国とほぼ同水準で、一般的な内科・外科などはスペインの病院で対応可能です。英語も通じるところが多いです。ただし、診察に関しては緊急以外は事前予約が必要です。受診の際にはまず、加入している海外旅行保険のヘルプデスクに電話をしましょう。病院の紹介等お願いできます。緊急の場合は救急車を呼びましょう。救急医療体制(政府救急センター)は、警察、消防、緊急医療とリンクしています。

救急車TEL：112

治安

セヴィーリヤ地方は比較的治安は良いとされています。ただしスリや置き引きなどはスペイン全土で多発しています。特に観光地では、親切を装って話しかける、警官を装う、多人数で囲む、わざとコインなどをばらまき拾うのを手伝っているすきに財布などを取るといった犯罪が多く報告されています。

クレジットカードの暗証番号を聞かれる、財布の提示を求められる等と言ったことがあれば、まず怪しいと疑ってください。どのような状況でも、自分の荷物にはしっかりと注意を払い、不審人物が近づいてきたら離れる、ポケットに物を入れない、鞆を前に抱える、できるだけ貴重品を持ち歩かないなどの対策を講じてください。

また、麻薬はスペインにおいて深刻な社会問題です。麻薬犯罪に関わらない為にも、麻薬売買の場に立ち会っても近づかないことです。また、見知らぬ人から荷物を預けられ、知らないうちに麻薬の運搬の肩代わりをさせられるケースもありますので、十分注意してください。

一般的な常備薬でも、特に粉末状の薬は疑われる事があります。当該薬の使用目的、成分等を説明できるようにしておきましょう。

スペインに限ったことではありませんが、法制度、文化背景、風俗習慣等、日本とは異なることを強く認識し、トラブルに巻き込まれないように十分注意するとともに、実際にトラブルに巻き込まれたときの対処等をあらかじめ想定しておくことが、海外における最も基本的な安全対策であることを忘れてはいけません。

その他安全情報については、こちらのURLに詳しく載っています。随時チェックし、情勢を把握するようにしてください。

外務省 海外安全ホームページ
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

スペインの緊急連絡先

◎警察・救急・消防 TEL112

◎紛失・盗難届
TEL 902-102-112

◎大学のインターナショナルオフィス

◎ジェイアイ保険 Jiデスク (マドリード)
TEL 900-102-611 (フリーダイヤル)
91-559-6769

◎在スペイン日本国大使館
TEL 91-590-7600

電話

ここでは、国際電話のかけ方について説明します。留学中は、部屋の分かりやすい場所にメモを貼ったり、メモを持ち歩くなどし、非常時にいつでも日本に連絡できるようにしておいてください。

電話のかけ方

スペイン⇒日本

00 - 81 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇
国際電話識別番号 日本の国番号 市外局番(最初の0を取る) 電話番号

(例)スペインから滋賀県立大学へかける場合
00-81-749-28-8200

日本⇒スペイン

010 - 34 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇
国際電話識別番号 国番号 市外局番 電話番号
(最初の0を取る)

(例)自宅から在スペイン日本国大使館にかける場合
010-34-91-5907600

携帯電話

日本の携帯電話から海外にかける場合は、各社で方法が異なるため、事前に調べておいてください。

また、契約仕様によっては、日本の携帯電話を海外で使うことができます。海外パケット放題など各社のプランを事前に調べておいてください。ただし、送受信とも料金が高いため、緊急時以外はおすすめできません。

スペインの携帯電話

携帯電話は、プリペイド式の携帯電話を購入できます。滞在期間が1年の交換留学生は、プリペイド式の方が良いでしょう。

国際電話カード

一般的にコーリングカードやプリペイドカードと呼ばれ、前払い式です。カードに記載してあるIDと暗証番号をダイヤルすれば使え、安く国際電話をかけられます。固定電話や携帯電話からもかけられ、日本へ連絡する場合に利用すると良いでしょう。

コーリングカードは繰り返し入金できるものが多く、プリペイドカードは1回きりです。種類は共に多くあり、様々な会社が販売しています。インターネットにも情報が載せられていますので、検索し、自分の条件に合う物を選んで下さい。

参考URL：<http://www2.ttcn.ne.jp/~grandpa/web/kokusaidenwa/calling.html>

電圧

海外では、コンセントの電圧とプラグの形が違います。国によっては日本の電化製品を使うための変圧器や変換プラグが手に入りにくいことがあるので、日本から持って行くようにしましょう。また、留学中に他国への旅行を考えている人は、その国の情報もあらかじめ確認しておきましょう。

スペインの電圧：220ボルト（日本は100ボルト）、50ヘルツ

- 220V→100Vの変圧器を持っていきましょう。
- パソコン等は、他国の電圧に対応しているものもあります。メーカーの仕様で確認してください。
- スペインのプラグはCタイプです。



©Jorudan Co.,Ltd

その他

日本から持っていったほうが良いもの

- 爪切り：売っている場所がなかなかないそうです。
- ボディタオル：日本のような長い物はないそうです。
- スリッパ：家の中でも靴をはく生活なので、家の中で靴を履く事に抵抗がある人は、スリッパ（現地にはなかなか売っていません）を持って行くと良いでしょう。
- 国際学生証：ヨーロッパは美術館などは学割の割引率が大きいです。
- パソコン

生活用品については、基本的に現地調達で過ごせますが、日本食は普通のスーパーでは見かけませんでした。海外では日本食がほしくなることもあります。ドライフードなど、手軽に運べる物を少し持って行くと良いでしょう。

先輩からの
アドバイス

交換留学先大学情報



セヴィーリヤ大学

スペイン国アンダルシア州セビリア
<http://www.us.es/>

1551年創設されたアンダルシア地方の公立大学で、スペイン国内大学では2番目に学生数が多く、70,000人以上の学生を有する大規模大学です。哲学、法学、薬学など25学部を有し、教育・研究だけでなく、地域貢献にも積極的に取り組んでいます。法学部の建物は旧王立タバコ工場で、観光名所にもなっています。

2015年度は、セヴィーリヤ大学から2名の交換留学生在が本学に留学しています。

フランス

フランスへの交換留学先はノール県にあるリール政治学院です。

出願

出願書類

- 願書(リール政治学院所定の様式)
- 滋賀県立大学の在学証明書(英文)
- 滋賀県立大学の成績証明書(英文)
- 滋賀県立大学からの推薦状
- 履歴書(英文)
- Statement of Interest (志望動機)(英文)
- パスポートのコピー

ビザ申請

※ビザ取得の際には必ず自身で最新情報を確認しましょう。

フランスに3ヶ月以上留学する場合、長期学生ビザの申請が必要です。申請には予約が必要で、またビザの手続きには最大で2ヶ月間かかり、出発の3ヶ月前から15日前までに申請するよう決められています。また、ビザの申請を行う前に、CampusFrance(フランス政府留学局・日本支局)での手続きを完了させなければなりません。下記の手順に従い、漏れのないよう申請して下さい。

ここでは、交換留学の場合を想定して説明します。

CampusFranceとは：フランス外務省、国民教育・研究省の傘下において、フランスの高等教育機関への留学を促進するために創設された公的機関です。準備の段階からフランス留学の計画を作り、相談員とコミュニケーションを取りながら、オンラインで応募申請を行います。

先輩からの アドバイス

日本学生の数、学校全体で4人。
(2013年9月時点)
フランス語で行われる授業は難しく、
予習が必要です。
授業には定員があり、履修科目登録の際は、
早いもの勝ちなので、注意してください。

申請手続き

CampusFranceに 登録

まず、CampusFranceにアクセスし(下記URL)、アカウントを作成します。その上でオンラインフォーム(学歴、外国語、動機などを記入)を作成し、必要書類を添付します。入力する言語は全て英語かフランス語です。このアドレスには、CampusFranceに関するオンラインフォームについてや、料金の支払いについても案内されていますので、参照してください。

URL: <http://www.japon.campusfrance.org>

オンラインフォームの入力が完了したら、tokyo@campusfrance.org宛にメールで通知します。



CampusFranceに 支払

必要書類確認後、交換・派遣留学生であることが確認されると、Campus Franceによりオンラインフォームが認証され、面接免除および手続き料金減額(15,000円)の処理が行われます。認証時、アカウント内メールボックスにメッセージが送られます。

Campus France - CEFの手続き料金が15,000円に変更されたら、支払いのステップに進んでください。振込先は、アカウント内『私の応募書類』の「Campus Franceの応募申請手続き料金の支払いをする」から確認できます。最寄の金融機関より振込みを済ませ、忘れずに支払い申告を行ってください。支払の認証後、証明書「Attestation de préinscription(PDF)」をプリントアウトし、ビザ申請の提出書類に加えてください。



ビザの申請

オンラインシステムの手続き完了の翌週中に、在日フランス大使館領事部ビザセクションから、CEFのアカウントに登録したメールアドレスにメッセージが送られます。(注意:非常に重要なメールですので、迷惑メールフォルダも含めて、必ず確認して下さい!)このメッセージでの指示に従って、学生ビザの申請を行ってください。ビザセクションから連絡された日時に行くことができない場合は、メッセージに返信して、ビザセクションに都合の良い日時を連絡してください。

*ビザ申請の際には、必ず正式な経済証明書の提出が求められます。また、ビザ申請完了後に渡されるフランス移民局申請用紙はフランス入国後必要となりますので忘れずに持っていくようにしてください



CampusFranceは早めに登録するようにしましょう。

到着後の手続き

日本で取得したビザだけでは、滞在許可証としてはまだ有効ではありません。長期ビザを発行された学生は、フランスに入国後3ヶ月以内にフランス移民局にて登録を行います。

申請書を送付

フランス入国後、ビザ申請時に渡されたスタンプの押されたフランス移民局申請用紙を居住エリア管轄の移民局(OFFI)へ書留で郵送します。

書類に不備がない場合、移民局から書類受領書が届きます。



移民局で手続き

移民局より呼び出し状が来ますので、受け取って移民局より指定される手続きを行ってください。

<主な手続き>

- ・戸籍及びフランスでの住居証明、写真の提出
- ・申請料金(58ユーロ)の支払い
- ・健康診断

それから、移民局発行の証紙シールをパスポートに貼付してもらいます。これにより、長期ビザは滞在許可証として有効となります。

【注意】 戸籍・出生証明書は、渡仏後の行政手続きや学校登録の際に求められます。以下のいずれかの方法で、必ずフランス語訳をご準備下さい。

- 日本で翻訳を準備する場合: 大使館指定の翻訳業者に依頼し、翻訳査証を取得する。

- 渡仏後フランスで翻訳を準備する場合: 在仏日本大使館・領事館にて翻訳作成を申請する。

寮での手続き

・入居手続き<Moulins-Park(リール政治学院の寮)の場合>

インターネット手続きの場合無料のWi-Fiサービスがありますが、利用にあたってはPCメールアドレス、電話番号が必要です。日本で携帯電話の契約を解約して行った場合は、フランスでまずプリペイド式の携帯電話を購入する必要があります。

・電気会社との契約

家賃には電気代が含まれていないため、電気会社との契約が必要となります。

・住宅保険

寮に入るには必須です。入寮後、インターネットで手続きを行います。

・CAF(住宅補助)申請

Moulins-Parkの場合CAF手続きが必須となります。必須でなくても、半年以上の滞在の場合は申請すると住宅補助が受けられます。手続きはネットで行いますが、フランスの銀行口座の開設が必要になります。

学生社会保険

フランス社会保険から認定を受けている教育機関で3か月以上登録する学生は、自動的にフランスの社会保障システム、学生社会保険に加入することになっています。

現地の教育機関で事務手続きの際に加入します。出生証明書や年間の社会保険料約200ユーロ(※現金のみ)が必要です。

銀行口座開設

まずは電話または窓口で口座開設の手続き日の予約をする必要があります。手続きには、パスポート、滞在許可証(ビザ)、住居証明書(入居の際にもらえる)、20ユーロが必要となります。

お金

フランスの生活費は、決して安くはありません。特に海外から引っ越してきたばかりの時は量販店や食材を売るお店など、地元で長期滞在しないと分からないことも多く、出費が増える傾向にあります。生活全般において日本での滞在より費用がかかることを前提に、渡航費、授業料、緊急時の予備費などを見積もって予算を立てましょう。

1か月あたりの平均生活予算は、地方で800ユーロ、パリで1000ユーロ程度となっています。

食費:学食 3.05€、米1kg 1.90€、牛乳1l 1.20€、ファーストフード 7€

外食 3.05€

病院:一般診療費用 23€~(14€払い戻し可)

インターネット契約:20-50€/月、

携帯電話加入:30€/月~ 上限が決められたパック契約やたばこ店で購入できるカードタイプもあります。

生活費

先輩さんの例

(2013年9月~5ヶ月留学)

月額12万円程度:寮費4万円、食費3万円、教養娯楽費5万円。

留學生活を通して:およそ100万円。

治安

フランスの治安は良い方ですが、スリやひったくりなどが多発しています。特に観光地や交通機関で、声をかける、物を落とす、立ちふさがる、押す、警官を装う等の行為で相手の気をそらし、その隙に犯行に及びます。混雑した電車を避ける、鞆はきちんとファスナーを閉める、ポケットには物を入れない、荷物から目を離さない、相手が子供でも、また親切に話しかけられた場合でも油断しない、などの基本的な対策が常に必要です。間違ってもクレジットカードの番号を教えるなどといった事のないようにしてください。

また、強盗や窃盗などの犯罪も発生しています。部屋の施錠、貴重品をまとめて置かないなど、十分注意してください。ホテルなどでは、フロントのセーフティーボックスを利用しましょう。

その他、麻薬の取り締まりは非常に厳しく、街頭で麻薬の購入を勧められたりしても、きっぱりと断りましょう。

フランスに限ったことではありませんが、法制度、文化背景、風俗習慣等、日本とは異なることを強く認識し、トラブルに巻き込まれないように十分注意するとともに、実際にトラブルに巻き込まれたときの対処等をあらかじめ想定しておくことが、海外における最も基本的な安全対策であることを忘れてはいけません。

その他安全情報については、こちらのURLに詳しく載っています。随時チェックし、情勢を把握するようにしてください。

先輩からの アドバイス

- ・フランスではほとんどの場合クレジットカードが利用可能ですが、現金が必要という機会が必ずあります。例えば、大学での学生保険の手続き、市場での買い物、お店やレストラン・カフェなどで自分の持っているクレジットカードが使えないといったことがたまにあります。
- ・携帯電話は1年以下の滞在の場合、プリペイド式の購入をおすすめします。携帯電話本体、SIMカード、チャージ5ユーロ分がついて約30ユーロと比較的安価です。チャージカードは街のタバコ屋で購入できます。
- ・日本から持って行ったほうが良いもの
証明写真(TGVやメトロ・バスの年間パスなどを購入する場合必要)。現地でも撮れますが複数用意しておくとう便利です。

電話

ここでは、国際電話のかけ方について説明します。留学中は、部屋の分かりやすい場所にメモを貼ったり、メモを持ち歩くなどし、非常時にいつでも日本に連絡できるようにしておいてください。

電話のかけ方

フランス⇒日本

00 - 81 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇
国際電話識別番号 日本の国番号 市外局番(最初の0を取る) 電話番号

(例) フランスから滋賀県立大学へかける場合
00-81-749-28-8200

日本⇒フランス

010 - 33 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇
国際電話識別番号 国番号 市外局番 電話番号
(最初の0を取る)

(例) 自宅から在フランス日本国大使館にかける場合
010-33-1-4888-6200

携帯電話

日本の携帯電話から海外にかける場合は、各社で方法が異なるため、事前に調べておいてください。

また、契約仕様によっては、日本の携帯電話を海外で使うことができます。海外パケットし放題など各社のプランを事前に調べておいてください。ただし、送受信とも料金が高いため、緊急時以外はおすすめできません。

フランスの緊急連絡先

- ◎警察 TEL 17
- ◎救急医療 TEL 15
- ◎消防署 TEL 18

- ◎大学のインターナショナルオフィス

- ◎ジェイアイ保険 Jiデスク (パリ)
TEL 0800-802-075 (フリーダイヤル)
01-5329-0003

- ◎在フランス日本国大使館
TEL 01-4888-6200

衛生・医療事情

フランスの一般衛生事情は特に問題はありません。水道水は飲料用としても使用可能ですが、石灰分が多く含まれるため、ミネラルウォーターを使用する人が多いようです。

フランスの病院

病気をしたり怪我をしたら、我慢をせず、きちんと受診してください。フランスの医療は世界でも最高水準です。公立病院の他に私立病院も多くありますが、いずれも医療費が高額です。受診する場合には、受診内容が日本で加入した保険でカバーされているかどうか、必ず確認しましょう。受診の際にはまず、加入している海外旅行保険のヘルプデスクに電話しましょう。病院の紹介等お願いできます。

緊急の場合は救急車を呼びましょう。緊急医療体制も整備されておりますので、我慢せずにすぐに受診して下さい。

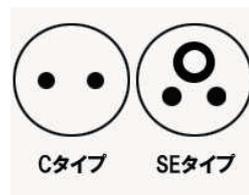
救急車TEL：15

電圧

海外では、コンセントの電圧とプラグの形が違います。国によっては日本の電化製品を使うための変圧器や変換プラグが手に入りにくいことがあるので、日本から持って行くようにしましょう。また、留学中に他国への旅行を考えている人は、その国の情報もあらかじめ確認しておきましょう。

フランスの電圧：220ボルト（日本は100ボルト）、50ヘルツ

- 220V→100Vの変圧器を持っていきましょう。
- パソコン等は、他国の電圧に対応しているものもあります。メーカーの仕様で確認してください。
- フランスのプラグはCタイプとSEタイプがあります。



©Jorudan Co.,Ltd

交換留学先大学情報



リール政治学院

フランス ノール・パ・ドゥ・カレ地方 ノール県リール市
<http://iep.univ-lille2.fr/>

リール政治学院は、1991年創立されたリール第二大学に付属する単科大学で、一般のフランス人学生は入学試験を受けて入るいわゆる「グランゼコール」のひとつです。政治、経済、社会学、国際関係等の専門科目があります。

ヨーロッパを中心に世界中に多くの提携大学を持っていて「交換留学生のための授業」も多数用意されており、英語、ドイツ語、スペイン語で行われる授業もあります。また、留学生向けのフランス語（語学）の授業も設けられています。学生ボランティアによる留学生支援・交流システムもあります。

学舎はかつて工場として使われていた煉瓦造りの建物を改装したもので、中心部まで徒歩でも10-15分程度で行くことができますし、最寄りのメトロの駅からは徒歩2分で非常に便利です。近く、街の中心部の歴史的建造物に指定されている古い大学の建物内部を改装してそこに移転することが決まっています。

所在地のリールはパリから230km（TGVで1時間）、ベルギーとの国境にある美しい街で、欧州委員会、議会のあるブリュッセルはパリより近く、ユーロトンネルでイギリスにも近いため、「ヨーロッパの十字路」と呼ばれています。

イタリア

イタリアへの交換留学先はペルージャ外国人大学です。

ビザ申請

※ ビザ取得の際には必ず自身で最新情報を確認しましょう。

申請書類

- 1) パスポートサイズの写真(近影・カラー)を貼付したビザの申請書(ビザ申請書Dタイプ)
- 2) パスポート(帰国予定日より数えて90日以上の有効期間が必要)とそのコピー
- 3) 住民票
- 4) イタリアに滞在する全期間を通じて医療費を完全にカバーする(医療費の項目が無制限の)海外傷害保険の契約書
- 5) 留学の資金が入っている本人名義の預貯金口座の通帳とそのコピー(留学資金の提供者が親の場合、親の通帳、所定の保証書、実印印鑑登録証明を提出してください)
- 6) 住居に関するいずれかの証明書(賃貸契約書、または、家主からの受入れ承諾書(承諾書)、または、受け入れ先学校の住居提供証明書)

(注意:二回目以降の就学ビザ申請の場合は過去に取得したビザで通った学校の修了書・出席証明書の原本)

授業

留学生はイタリア語イタリア文化コースを受講。レベルはヨーロッパ共通言語基準(QCER)に基づいて、A 初級、B 中級、C 上級の3コースに、そしてさらに各コースを2つのレベル分けています。基本の3か月レギュラーコースの他にも1か月集中コースや芸術、音楽等に特化した特別コースも有り。

寮・ホームステイ

ペルージャ外国人大学に寮はないため、各自大学提携の斡旋業者を通じて探します。シェアタイプのアパートで300~350ユーロが相場。

www.cercalloggio-umbria.gov.it (Cercalloggio Umbria)

<http://english.studentliving.eu/categorie/soluzioni-abitative> (Perugia Student Living)

イタリアの緊急連絡先

- ◎救急 TEL 118
- ◎警察 TEL 113
- ◎提携病院 TEL 06-93579330

◎大学のインターナショナルオフィス

- ◎ジェイアイ保険 Jiデスク (ローマ)
TEL 800-814669 (フリーダイヤル)
06-4890-4756

- ◎在イタリア日本国大使館
TEL 06-487-991

電話

電話のかけ方

イタリア⇒日本

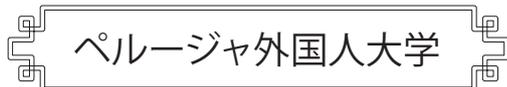
00 - 81 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇
国際電話識別番号 日本の国番号 市外局番(最初の0を取る) 電話番号

(例)イタリアから滋賀県立大学へかける場合
00-81-749-28-8200

日本⇒イタリア

010 - 39 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇
国際電話識別番号 国番号 市外局番 電話番号
(最初の0を取る)

交換留学先大学情報



イタリア Piazza Fortebraccio 4, 06123 Perugia
<https://www.unistrapg.it/en>

ペルージャ外国人大学は、世界におけるイタリア語・イタリア文化の普及を目的として1925年に創設された大学で、イタリア語教育を専門とするもっとも古い国立教育機関として知られています。現在は、外国人留学生を対象とした「イタリア語イタリア文化コース」の他「国際コミュニケーション専攻」や「イタリア語教育学専攻」等が設置されており、年間7,000名を超える留学生の受入を行っています。

学生数:4,852名(うちイタリア語コース:3,580名、学位取得コース:1,272名)
学年暦:(2015例)4学期制 (イタリア語イタリア文化コースの場合)
冬学期:1月7-3月31日 春学期:4月1-6月30日
夏学期:7月1-9月30日 秋学期:10月1-12月23日
語学要件:なし(入学後のプレースメントテストでクラスが決定。)

オーストラリア

オーストラリアへの交換留学先はシドニー工科大学です。

出願

オンライン申請

シドニー工科大学のホームページからアクセスします。アカウントを作成し、出願申請を行います。申請後、作成した申請用紙のPDFを印刷します。

出願書類 下記の書類を国際化推進室に提出してください。

- ・オンライン申請で印刷した申請用紙
- ・成績証明書(英語)
- ・語学力の証明(TOEFL-iBTのスコア)

これらの出願書類は国際化推進室を通して留学先に送られます。

入学許可書の受け取り

出願後、2～3週間後に受講可能科目一覧と健康保険に関する資料とともにLetter of Offerが送られてきます。受け取ったら速やかにAcceptance formを返送しましょう。

後に、入学許可証(Electric Confirmation of Enrolment=eCoE)が送られてきます。それを使ってビザ申請を行ってください。またビザ申請には健康保険(OSHC)への加入が必要です。留学先の指示にしたがい、まずは健康保険に加入しましょう。

出願書類、入学許可証は全て、国際化推進室提出用・保護者保管用・自分で保管用に3部ずつコピーを取ること。

ビザ申請

※ ビザ取得の際には必ず自身で最新情報を確認しましょう。

オーストラリアに3か月以上留学する場合、学生ビザが必要となります。学校開始の4か月前からオンライン申請をすることが出来ます。学生ビザの申請の際には、必ず移民局が指定する病院で健康診断を受ける必要性がありますので、余裕をもって申請しましょう。

<必要書類等>

- ・パスポート
- ・クレジットカード(申請料金の支払いは原則クレジットカードのみ。保護者名義のものでも可能)
- ・入学許可証(Electric Confirmation of Enrolment=eCoE)

申請手続き

イミアカウント (ImmiAccount)の 作成

移民局ウェブサイトのアカウント作成フォーム(下記URL)で必要な情報を入力してアカウントを取得します。

URL: <https://online.immi.gov.au/lusc/register>
アカウント取得時に入力したEメールアドレスに確認メールが届くので、そのメール本文に記載されている認証URLをクリックすると"Email Verified"と表示され、登録は完了です。



ビザ(eVisa)の申請

オーストラリア移民局HP(下記URL)にアクセスしビザのオンライン申請をします。
URL: <http://www.immi.gov.au/Services/Pages/student-visa-online-applications.aspx>

支払手続き完了後TRN番号(Transaction Reference Number)が表示されます。この番号は受理されたことを示す重要な番号ですので、必ず控えるか、プリントアウトしましょう。このTRN番号取得以降に、健康診断手続きに進みますので指示に従ってください。ここでダウンロードできる申請者の姓名、生年月日、パスポート番号、TRN番号が印字された用紙を使用して指定病院で受診してください。
健康診断終了後、ヘルプデスクより発給通知がメールか書面で届きます。

健康診断

オーストラリア大使館指定の病院で健康診断を受ける必要があります。混み合う恐れがあるため、できるだけ早く健康診断の予約を入れましょう。

<関西にある指定病院>

大阪:大阪回生病院
〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目6番10号
TEL: 06-6393-8069

兵庫:神戸海星病院
〒657-0068 神戸市灘区篠原北町3丁目11番15号
TEL: 078-871-5201

<受診の際の持ち物>

- ・健康診断用フォーム(Form26)(インターネットからダウンロードしたもの)
- ・レントゲン撮影用フォーム(Form160)(インターネットからダウンロードしたもの)
- ・パスポート
- ・証明写真(2枚)
- ・費用は21,000円程

健康診断結果は指定病院から電子でオーストラリアに送信されます。

※ビザ申請前に健康診断を受信する場合は、オーストラリア移民局のウェブサイトから My Health Declarations (<http://www.immi.gov.au/allforms/health-requirements/my-health-declarations.htm>) を作成しなければなりません。

寮

シドニー工科大学はキャンパス周辺に5つの寮を提供しています。個室タイプからシェアタイプまで選択することができます。

下記のウェブサイトから寮の情報にアクセスできます。

URL:<http://www.uts.edu.au/current-students/support/accommodation/campus-accommodation>

寮の形態 個室・共有(2-6人)

設備(寮/部屋形態によって異なります)

シャワー、トイレ、台所、冷蔵庫、トースター電子レンジ、テーブル、TV、
ベッド、学習机、本棚、ミラー付クローゼット、ヒーター、ソファ、掃除機など

寮費 寮/部屋形態によって異なります(下記参照)

寮の入居申込はオンラインで行います。

お金

オーストラリアでの生活費は年間約17000-25000オーストラリアドルかかります。

寮費	A\$200-A\$372/週	A\$10,440-A\$19,344/年
食料品	A\$100/週	A\$5200/年
教材費	A\$16/週	A\$832/年
交通費	A\$10/週	A\$520/年

光熱費は寮費に含まれます。またインターネット/電話は制限付きフリーアクセスとなっています
このほかにも娯楽費として、映画は\$17、外食は\$30以上、テイクアウトは\$10-\$15、キャンパス内でのランチ\$5-\$15、カフェでのランチ\$8-\$15、ファーストフード\$5-\$12 などとなっています。
(UTSのHP参照)

電圧

オーストラリアの電圧は220-240ボルトで、周波数は50サイクルです。プラグは三つ又、またはハ型で、現地で日本の電気製品を使うときは、220ボルトの変圧器(コンバーター)が必要です。

電話

オーストラリアの緊急連絡先

- ◎警察・救急・消防車 TEL000
- ◎大学のインターナショナルオフィス
- ◎ジェイアイ保険 Jiデスク (シドニー)
TEL 1800-237-298 (フリーダイヤル)
02-9510-0374
- ◎在オーストラリア日本国大使館
TEL 02-6273-3244

オーストラリア⇒日本

0 0 1 1 - 8 1 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇
国際電話識別番号 日本の国番号 市外局番(最初の0を取る) 電話番号

(例)イタリアから滋賀県立大学へかける場合
00-81-749-28-8200

日本⇒オーストラリア

0 1 0 - 6 1 0 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇
国際電話識別番号 国番号 市外局番 電話番号
(最初の0を取る)

交換留学先大学情報



シドニー工科大学

オーストラリアサウスウェールズ州シドニー市
<http://www.uts.edu.au/>

シドニー工科大学は、7学部(人文・社会科学, ビジネス, デザイン・建築学, 工学・IT, 法学, 保健学, 理学)を有する1988年創立の総合大学です。ダブル・ディグリー制度のもとで、学生は専門分野とともにInternational Studies の学位を取得するケースがあり、1年間の留学を義務付けられています。日本専攻では毎年50名程度の学生が日本に1年間の留学をしています。正規コースの他、留学生向けの言語文化コースがあり、留学生は語学とオーストラリア文化を学ぶことができる。

中国

中国への交換留学先は、湖南師範大学、湖南農業大学、海南大学、青海民族大学、内モンゴル民族大学です。2015年度は、これら5大学から14名の交換留学生が本学に留学しています。

出願

出願書類 (出願書類は各大学ごとに決まった様式があります。)

- 願書 (Application Form)
- 写真: カラー、縦4cm×横3cmのもの。
- パスポートの写し: 旅券番号と写真のあるページのコピー。
- 滋賀県立大学の在学証明書・成績証明書: 各証明書とも英文のもの。
- 健康診断書 (出願大学による)



これらの書類は国際化推進室を通して留学先に送られ、折り返し入学許可証が送られてきます。その後、ビザの手続き、滋賀県立大学への留学願の提出をします。

これらの出願書類は全て、保護者保管用・自分で保管用に2部ずつコピーを取ること。

予防接種・健康診断

予防接種は各大学とも入学の条件にはしていません。ただし、滋賀県立大学は、以下の予防接種を渡航前に接種するよう特に強く推奨します。

A型肝炎、B型肝炎、破傷風、日本脳炎、狂犬病 (犬猫等動物接触の多い場合)

健康診断は、渡航後の居留届に必要です。健康診断を受けても、所定の項目が満たされていない場合は中国で再検査 (有料) を受けなければなりませんので注意してください。

健康診断

(現在、渡航前に所定の健康診断を義務付けているのは湖南師範大学のみです。海南大学では渡航後に健康診断を受診します。)

健康診断を受ける



衛生検疫所でチェック

所定の様式「外国人体格検査表」に基づき、日本の国公立病院か日中友好医院で健康診断を受けます。

このとき、レントゲン写真、血液検査、心電図、その他病院でもらった資料を全て保管しておいてください。「外国人体格検査表」と共に、ビザの手続きに必要となります。

渡航後、衛生検疫所で検査内容が中郷衛生部の要求を満たしているかのチェックを受けます。満たされていない場合は再検査を受けることになります (有料)。



チェックに合格したことを証明する文書が発行されます (有料)。

ビザ申請

※ ビザ取得の際には必ず自身で最新情報を確認しましょう。

中国に交換留学する場合は、あらかじめ日本で査証(ビザ)を取得します。ビザには種類があり、留学生は「留学ビザ(X1ビザ)」(半年以内の留学の場合はX2ビザ)が必要です。このビザを取得して渡航後、現地で居留許可証を取得します。下の「申請手続き」に従い、漏れのないよう注意してください。

<参考URL> <http://www.china-embassy.or.jp/jpn/lsfu/hzqzyw/t938308.htm>

申請手続き

留学査証の申請

留学期間が半年を超過する場合、大使館領事部または旅行代理店を通じ、留学査証の申請ができます。

必要な書類:

- 査証申請書
- 外国留学人員来華ビザ申請表(通称JW202表。入学通知書と一緒に送られてきます。)の原本とコピー
- 入学通知書の原本とコピー
- パスポート(申請時に6ヶ月以上有効期限が残っているもので、空白のページが3枚以上あるもの)
- 証明写真(4×3cm、写真の裏に名前を記入)1枚

※査証申請書は、こちらからダウンロードできます。

<http://www.china-embassy.or.jp/jpn/lsfu/bgxz/>

提出先: 中華人民共和国駐大阪総領事館

大阪府大阪市西区鞆本町3-9-2

(<http://Osaka.china-consulate.org/jpn>)

査証の取得

ビザが交付されると、ビザが貼られたパスポートが返却されます。

渡航後

渡航後、居留許可を得る必要があります。受入大学の国際ナショナルオフィスに相談し、指示を仰いでください。

寮

留学中は寮に宿泊します。ここでは、湖南師範大学に交換留学した先輩の例を元に説明します。

寮は留学生用で、100人以上の留学生が住んでいます。韓国、ロシア、インドネシア、アメリカなど国籍は多様で、日常生活の中で国際交流ができます。日本人も10人ほどいます。

寮は、通常国籍の違う二人部屋です。希望すれば1人部屋にもできますが、中国語上達のため、二人部屋が推奨されています。寮費は1ヶ月620元(約9,300円程度)です。(平成24年度の留学例)

設備等

- 部屋の設備・備品: トイレ、シャワー(2tタンクを購入する。2人で1ヶ月程度の使用量)、洗面台、机、椅子、ベッド(布団はあるが、シーツカバーは各自購入して持参する)、クローゼット、靴箱、テレビ、電話、電気ポット、冷蔵庫、クーラー。洗濯機は共同(3元が必要)です。
- インターネット: 使用可(LANケーブルあり)
- 郵便物: 寮の受付または広場のチケット売りの横で受け取ります。

<住所> 郵便番号410-205 長沙市岳麓区麓山路36号
湖南師範大学二里半校区留学生公寓〇〇〇房号

- その他注意事項: トイレにはトイレトペーパーがないので、ティッシュを持参します。また、詰まるので流しません。門限は12時です。

授業・大学生活

大学により授業の内容は異なりますが、こちらでは湖南師範大学に交換留学した先輩の例を紹介します。

交換留学中は、基本的には中国語のみの勉強をします。留学生だけの授業で、先生もレベルに合わせて話してくれるので安心して受けられます。授業は聞くだけでなく、グループでの発表など、他の国の留学生と一緒に楽しく学べます。希望をすれば中国人学生と同じ授業も取れますが、ある程度の中国語レベルが要求されます。その他、太極拳や書道なども学べます。

説明会

学期のはじめに新留学生に対する学校説明会があり、中国語と英語で書かれた、留学全般についての冊子が配られます。

チューター

日本語を話せる学生がチューターとなり、最初の手続きを手伝ってくれます。ただしチューターは日本人全員に対し一人です。

学生証

留学生担当の先生に申請し、発行してもらいます。証明写真が必要です。

年間スケジュール

3月	現地到着、諸々手続き 班分けテスト、授業開始
4月	言語実践（小旅行）
5月	ゴールデンウィーク
6月	期末テスト
7月	夏休み開始
9月	授業開始
10月	体育祭
11月	言語実践（小旅行）
12月	学園祭
1月	元旦休暇、期末テスト
2月	帰国

※その他到着後の大学での手続きは、全て留学先の留学生担当の先生の指示に従って行ってください。ただし、次に何をすべきか、自分から先生に聞かないと、先生も全ての行動を把握しているわけではありません。自己責任で行ってください。

治安

先輩は、物乞いやスリには充分気をつけるよう注意喚起をしています。現地での生活に慣れた頃に気が緩み、被害に会うケースが多いそうです。また、女性は痴漢にも注意をしてください。外国人だとわかってちょっかいをかけてくる事もあるということです。

中国の治安面での特色としては、下記のような傾向があります。

- ・ スリ・ひったくり・置き引き等の小犯罪が多い。
- ・ 凶悪犯罪も時々発生。
- ・ 交通渋滞が激しく、交通ルールもあまり守られていないため、交通事故が頻発。

中国に限ったことではありませんが、法制度、文化背景、風俗習慣等のすべてが日本とは異なることを強く認識し、トラブルに巻き込まれないように十分注意するとともに、実際にトラブルに巻き込まれたときの対処ぶり等をあらかじめ想定しておくことが、海外における最も基本的な安全対策であることを忘れてはいけません。

その他安全情報については、こちらのURLに詳しく載っています。随時チェックし、情勢を把握するようにしてください。

外務省 海外安全ホームページ
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

中国湖南省の緊急連絡先

◎警察 TEL110 ◎救急車 TEL120
◎消防 TEL119 ◎交通事故 TEL122
(上記4つは中国共通)

◎大学のインターナショナルオフィス

◎ジェイアイ保険 Jiデスク（北京、大連、上海）
電話番号は保険加入時に配布される「海外安心サービスガイドブック」参照

◎在中国日本国総領事館
(管轄地域：北京市、天津市、湖南省、湖北省、青海省、内蒙古自治区 ほか)
住所 北京市東三環北路2号南銀大廈2F
TEL (010) 6532-2361 (代表)
(010) 6410-6970 (邦人保護)
FAX (010) 6410-6975

電話

ここでは、国際電話のかけ方について説明します。留学中は、部屋の分かりやすい場所にメモを貼ったり、メモを持ち歩くなどし、非常時にいつでも日本に連絡できるようにしておいてください。

電話のかけ方

中国⇒日本

00 - 81 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇
国際電話接続番号 日本の国番号 市外局番(最初の0を取る) 電話番号

(例)中国から滋賀県立大学へかける場合 00-81-749-28-8200

日本⇒中国

010 - 86 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇
国際電話識別番号 国番号 市外局番(最初の0を取る) 電話番号

(例)自宅から湖南師範大学国際言語文化学院にかける場合
010-86-731-8873017

携帯電話

日本の携帯電話から海外にかける場合は、各社で方法が異なるため、事前に調べておいてください。

また、契約仕様によっては、日本の携帯電話を海外で使うことができます。海外パケットし放題など各社のプランを事前に調べておいてください。ただし、送受信とも料金が高いため、緊急時以外はおすすめできません。

先輩からの
アドバイス

携帯電話の種類(サービス内容)や留学中のお金の管理方法はたくさんあるので、事前に細かく調べることをお勧めします。(内モンゴル民族大学)

お金

留学に必要な費用、その管理方法について、先輩談をまとめました。参考にし、滞在中は支払い遅れのないう、また盗難や紛失に十分注意して管理してください。

銀行口座開設

銀行口座を開設するには現地で使う携帯電話番号が必要になるので、必ず携帯電話を購入してから開設しましょう。

生活費

先輩Hさんの例
(2014年2月～12ヶ月留学)

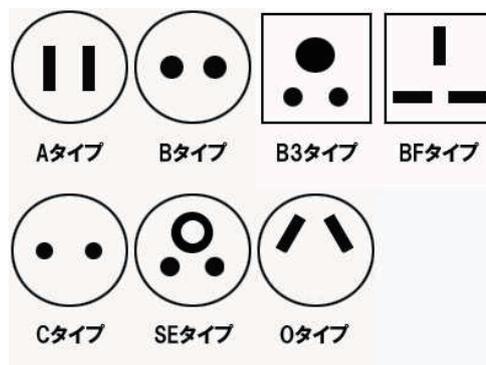
寮費600元、食費400元、教科書代400元
交通費50元、教養娯楽費50元
留学生活を通して：およそ60万円程度

電圧

海外では、コンセントの電圧が違います。国によっては日本の電化製品を使うための変圧器や変換プラグが手に入りにくいことがあるので、日本から持って行くようにしましょう。また、留学中に他国への旅行を考えている人は、その国の情報もあらかじめ確認しておきましょう。

中国の電圧：220ボルト（日本は100ボルト）、50ヘルツ

- 220V→100Vの変圧器を持っていきましょう。
- パソコン等は、他国の電圧に対応しているものもあります。メーカーの仕様を確認してください。
- 中国ではプラグの形が様々なので、マルチタイプのアダプターが必要です（日本はAタイプ）。
- プラグの形が日本と同じでも、電圧は違いますので注意してください。



©Jorudan Co.,Ltd

衛生・医療事情

中国の病院

病気や怪我をしたら、きちんと受診しましょう。受診の際には、まず加入している海外旅行保険のヘルプデスクに電話しましょう。病院の紹介等お願いできます。

湖南師範大学の場合、寮から近いのは

- 湖南師範大学校医院
- 長沙市第四医院

です。長沙市には日本語が通じる病院はありません。できる限り中国人に付き添ってもらってください。

緊急の場合を除き、病院に行く前に大学に相談し、手配を頼んでください。緊急の場合は、救急車を呼んでください。救急車は有料で、料金は距離で算出されます。現金を持っていない場合は身分証明書を預け、後日支払と引き換えに返してもらうことになります。救急車の到着を待つより、タクシーの方が早いこともあるので、交通事情を考慮して判断してください。

救急車TEL：120

受診にあたって

中国では、原則としてデポジットを収めてからでないと治療が受けられません。不測の事態を考慮し、身分証明書に家族の連絡先、中国での緊急連絡先など書いておき、必ず携帯しましょう。

中国の病院では何かと列に並んで待つ（受付、診察、薬代の算出、薬代の支払い、薬の受け渡し）ため、半日は確実につぶれます。具合の悪い時に長時間待つのは大変です。このことから、友人（中国人が望ましい）に同行してもらうことを強く勧めます。

保険

ほとんどの病院では保険が適用されます。かかった治療費について海外旅行保険や海外療養費給付制度で請求できるよう、診療明細書などを発行してもらいましょう。また、湖南師範大学では、留学生保険（1年600元）への加入が義務付けられています。日本で保険に加入した場合でも必ず中国で加入することになります。

衛生事情

地域により、衛生状態は必ずしもよくありません。伝染病や寄生虫病予防のために、生ものは口にしないこと、小さな飲食店や露店での飲食にも注意が必要です。慣れない内は避けた方が良いでしょう。また、水道水は必ず沸かしてから飲むようにしてください。

その他健康に関する情報は、前述の「外務省 海外安全ホームページ」を参照してください。

その他

空港までの出迎え

出迎えサービスがある大学があります(海南大学は有料)。滋賀県立大学の国際化推進室に相談し、留学先の国際管理部のスタッフへの手配を打ち合わせしてください。

日本から持っていったほうが良いもの

- 中国語の文法書、参考書(日本版の方が最初は取り組みやすいです。)
- 電子辞書
- 下敷き
- 日焼け止め
- 虫除け(※スプレータイプのは飛行機に持ち込めないため、ミストタイプのものにしましょう。)
- 薬は、常時服用しているものがあれば持って行きましょう。中国の風邪には中国の薬が効く、という人もいます。全種類をそろえる必要はありません。
- パソコンと、カメラが内蔵されていなければSkypeに使えるカメラ
- USB(中国でも売っていますが、ウイルスの心配があります。)
- おみやげ(日本のチョコレートなど)
- 旅行用シャンプーセット(到着日に必要です。)

先輩からの
アドバイス

中国の人に対して話すときは、強気で向かうように心懸けた方が良いです。また、予定などははっきり知らされなかったり、直前に変更されることも多々ありますので、臨機応変に対応しましょう。

外食するときは、慣れない人には辛すぎるメニューが多いため、最初のうちは唐辛子を入れないように頼むと良いでしょう。

交換留学先大学情報

湖南師範大学

湖南省長沙市岳麓区麓山路36号
<http://www.hunnu.edu.cn/>

湖南師範大学は1938年に創立され、独立した教育大学としては中国で最も古い大学のひとつです。大学は22の学部を有し、学生数は20000人以上におよび、外国からの学生も年々増加し、国際的雰囲気を増しています。湖南師範大学の対外中国語教育は1960年にスタートし、現在の「国際漢語文化学院」は海外からの留学生が中国語を学ぶ場であり、その中国語教育は非常にユニークです。各学生に注意がいきとどくよう小人数学級制を採用し、「チュートリアル・システム」(ひとりの学生にひとりの教師のような特別なシステム)も利用可能です。留学生寮(専家楼)は岳麓山のふもとの竹園にあり、学生は洗濯室、食堂、厨房を必要に応じて利用でき快適です。

2015年度は、湖南師範大学から6名の交換留学生が本学に留学しています。

湖南農業大学

湖南省長沙市芙蓉区
<http://www.hunau.net/>

湖南農業大学は1951年に設立されました。
学校名は湖南省出身の毛沢東が直筆で記したものです。
農学部、工学部、文学部、経済学部、法学部、医学部、教育学部、芸術学部など20の学部があり、27000名以上の学部生と4000名以上の大学院生が在籍しています。
国際交流にも積極的で、現在10カ国以上の国々の20以上の大学と国際交流協定を結んでいます。
2015年度は、湖南農業大学から2名の交換留学生在が本学に留学しています。

海南大学

海南省海口市
<http://www.hainu.edu.cn/>

海南大学は熱帯の生態環境に恵まれる景勝地に位置し、2007年8月に華南熱帯農業大学と海南大学が合併され出来た、国立重点総合大学です。大学は、哲学、経済学、法律学、文学、理学、農学、工学、管理学など8つの学科があり、他に熱帯農業と生命科学、理工学、人文学、社会科学など4つの学部、20の学院を設置しています。
留学生を対象とする海南大学対外中国語教育センターがあり、30カ国以上の国や地域から集まった留学生在が在籍しており、専門科目だけでなく、語学や中国文化も集中して学ぶことができます。
2015年度は、海南大学から2名の交換留学生在が本学に留学しています。

青海民族大学

青海省西宁市
<http://www.qhmu.edu.cn/>

青海民族大学は、青海省の省都である西寧市内にあります。青海省はチベット高原の一部に位置し、多くの少数民族が居住する地域です。
青海民族大学は1949年に創立された中国で最も古い総合民族大学のひとつで、約13,000人の学生が15の学院と、6つの直属教育組織で勉強をしています。
語学としては、民族大学というその性格を反映して、漢語(中国語)のみならず、チベット語、モンゴル語、サラル語、土語といった少数民族の言語を学ぶこともできます。生活面では、各部屋にトイレ、バス、家具、テレビ、洗濯機を備えた学生寮を利用することができます。
2015年度は、青海民族大学から2名の交換留学生在が本学に留学しています。

内モンゴル民族大学

内蒙古自治区通遼市
<http://www.imun.edu.cn/>

内モンゴル民族大学は、内モンゴル自治区の東部に位置する通遼市にあります。内モンゴル自治区とは中国の北部に位置し、東西に長く、その東部は旧満州地域に含まれています。内モンゴル自治区には大多数の漢民族以外に、自治民族であるモンゴル人を含む多くの少数民族が居住しています。
内モンゴル民族大学は1958年に創立された内モンゴル自治区の民族師範学院の上に2007年に内モンゴルモンゴル医学院とジリム盟(哲里木盟)酪農学院を合併してつくられた内モンゴル自治区唯一の民族系総合大学です。約17,000人の学生と25の学院、11の研究組織を有しています。
民族大学というその性格を反映して、漢語(中国語)のみならず、モンゴル語を学ぶこともできます。生活面では、各部屋にトイレ、バス、家具、テレビ、洗濯機を備えた学生寮を利用することができます。
2015年度は、内モンゴル民族大学から2名の交換留学生在が本学に留学しています。

台湾

台湾への交換留学先は中興大学です。

出願

ノミネーション通知

国際化推進室から留学先へ正式なノミネーション通知書をEメールにて送付します。

オンライン申請

下記のURLからアクセスし、出願申請を行います。

<http://www.oia.nchu.edu.tw/application2014/index.php>

申請後に申請用紙を印刷し、他の必要書類とともに国際化推進室に提出してください。

出願

下記の書類を国際化推進室に提出してください。

<出願書類>

- ・オンライン申請で印刷した申請用紙(出願者、留学コーディネーター両方の署名が必要です。)
- ・在籍証明書
- ・成績証明書(中国語または英語)
- ・推薦状2通
- ・学習計画書(中国語または英語)
- ・履歴書(中国語または英語)

出願書類、入学許可証は全て、国際化推進室提出用・保護者保管用・自分で保管用に3部ずつコピーを取ること。

これらの出願書類は国際化推進室を通して留学先に送られます。

入学許可証の受け取り 入学許可書類一式が国際化推進室に送られます。入学許可証を受け取ったらビザ申請を行きましょう。

ビザ申請

※ビザ取得の際には必ず自身で最新情報を確認しましょう。

台湾に3か月以上留学する場合、学生ビザが必要となります。
下記URLにアクセスしビザのオンライン申請をします。

URL: <https://visawebapp.boca.gov.tw/>

個人情報をオンライン登録後、ビザ申請書を印刷し、署名欄に署名し、必要な書類を添付して窓口(台北駐大阪経済文化弁事処)に提出してください。

※台北駐大阪経済文化弁事処

住所: 〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル4階

<必要書類等>

- ・パスポート(申請時に残存期限が6か月以上あること)
- ・申請書1通
- ・写真2枚(4cm×5cm、申請日前6か月以内に撮影したもの)
- ・入学許可書原本とその写し1通
- ・HIV検査を含む健康診断書(3か月以内に撮影したもの)
- ・査証手数料
- ・留学等の居留ビザで台湾に入国後、15日以内に居住地の内政部入出国及移民署所属のサービスセンターで外僑居留證(再入国許可のあるもの)を申請してください。

健康診断

指定の健康診断フォームがありますので、下記HPよりダウンロードし、医療機関に持参して健康診断を受けてください。HIV検査など特殊な検査が含まれていますのであらかじめ医療機関に問い合わせをするとよいでしょう。

<健康診断書フォームダウンロード先>

URL: <http://www.taiwanembassy.org/public/Data/231313383671.doc>

寮

中興大学はキャンパス内に5つの男子寮と4つの女子寮を提供しています。

寮の形態 共有(4人部屋)

設備(共同)トイレ、シャワー、洗濯室、レクリエーションルーム

キャンパス外にも近くにアパートがたくさんあります。月額3000-10000台湾ドル(約10000-35000円)で借りることができます。

大学生活

年間スケジュール

- 9月 秋学期開始
- 10月 運動会
- 11月 大学記念祭、中間試験
- 1月 期末試験
- 2月 春学期開始
- 4月 中間試験
- 6月 卒業式 期末試験 夏休み開始

食べ物

キャンパス内に食堂があります。35-200台湾ドルとリーズナブルな値段で提供されています。また、レストラン、ファーストフードやカフェ、ベーカリー、コンビニエンスストアなど大学周辺や台中の繁華街にたくさんあります。

治安

台湾は比較的安全な国ですが、スリや置き引き、詐欺などの犯罪は多発しています。以下の点には注意をしましょう。

- ・公共の場で、手荷物を置いたままその場所を離れない。
- ・タクシーを利用する際は友人にタクシーの番号を伝えておく。乗車中は携帯電話の電源をオンにしておく。
- ・電話番号等の個人情報を簡単に与えない。実際に詐欺被害にあった学生もいます。

台湾の緊急連絡先

◎警察 TEL110 ◎救急車 TEL119

◎消防 TEL119

◎大学のインターナショナルオフィス

◎ジェイアイ保険 Jiデスク (台北)

TEL 0800258678(フリーダイヤル)
02-2567-5612

◎財団法人交流協会 (大使館の役割)

TEL (02) 2713-8787

電話

電話のかけ方

台湾⇒日本

002 - 81 - 000 - 000000

国際電話接続番号 日本の国番号 市外局番(最初の0を取る) 電話番号

(例)台湾から滋賀県立大学へかける場合 00-81-749-28-8200

日本⇒台湾

010 - 886 - 000 - 000000

国際電話識別番号 国番号 市外局番
(最初の0を取る) 電話番号

交換留学先大学情報

中興大学

National Chung Hsing University
台中市南區國光路250號

台湾中部の台中市にある1971年創立の国立大学。語学センターを擁しているため、留学生は原則語学センターにおいての中国語の授業を履修するが、中国語のレベルが十分な場合は、専門の授業を履修することも可能。台北の台湾大学、台南の成功大学とともに中興大学は台湾における3大大学の一つです。

韓国

韓国への交換留学先は、光云大学(人間文化学部対象)・江原大学です。
2015年度は光云大学から3名の交換留学生在が本学に留学しています。

授業・大学生活

大学により授業の内容は異なりますが、これまで派遣実績のある光云大学の例を紹介します。

語学授業

韓国語文化教育センターにおいて、毎日、午前9時から午後3時まで、10人前後のクラスサイズで充実した韓国語のプログラムが受けられます。1コマが50分で休憩が10分あります。午前の授業は主に教科書を使った文法などの授業、午後の授業はライティング、会話、TOPIK対策、ハングルをパソコンで入力する方法など実践的な授業が行われます。金曜日の午後は韓国の文化を学ぶ特別授業で、KPOPのダンス、テコンドー、サムノリなど多様な内容が準備されています。その他に課外授業もあり、ソウル市庁、景福宮、南山韓屋村など近隣の観光スポットなどに出かけます。

学期によって、韓国語文化教育センターでレベルに合う授業が開講されない場合などは、「大学韓国語」という科目を履修します。「大学韓国語」は月～木曜日の午前(9～12時)もしくは、午後(15～18時)のどちらかを履修します。曜日ごとに読み、書き、聞き取り、会話とわかれており、韓国語文化教育センターの授業よりも、専門用語もたくさん出てきます。試験も討論やパワーポイントを使った発表など実践的な試験が多いです。

夏休み中(7～8月)も韓国語文化教育センターの授業は開講され、履修することができます。

専門科目

東北アジア学部の専門科目を1学期につき12単位(「大学韓国語」以外に6単位)以上履修する必要があります。

東北アジア学部国際学科では、主に外国人留学生を対象にした、韓国の文化や社会に関する専門科目が多くありますので、多くの場合、その中から履修することになります。

これまで先輩たちが履修した専門科目の科目名は、「韓国大衆文化」「韓日関係論」「世界文化遺産」「英語会話」「日本流通産業論」などです。

メンター制度

光云大学校では、外国人留学生に韓国人学生がメンター(Mentor)を付ける制度があります。滋賀県立大学ではチューター(Tutor)と言っているのと似たような制度です。Mentorは次のようなサポートをしてくれます。

大学のホームページ(公示、掲示板、Uキャンパス)の利用方法や履修に関する手続きや方法を教える。／学生サービスセンターの利用方法(成績や在学証明書の発給)を教える。／授業や課題の手伝い。／図書館と一緒にいき、図書の出借や返却、閲覧室使用方法などについて教える。／所属学科の学科事務室や学部の教学課の位置を教える。／校内食堂、郵便局、コピー室などの利用方法、インターネット利用可能場所などを教える。／キャンパス付近のお店や銀行の位置、ATMの利用方法などを教える。／韓国語会話の練習相手。

・辞典に出てこない新造語や外来語を教える。／交通機関利用方法(乗換、交通カードのチャージ方法、停留所など)を教える。／韓国の文化を教える。／ソウルの観光名所を案内する。

Mentor学生には、アルバイト代は出ないようですが、Mentorとしての活動を誠実にやり、社会奉仕に関する科目を修了した場合に、「Mentoring奉仕活動認定書」が発給されるそうです。

日本語授業の補助活動

これまで留学した先輩は、光云大学の日本語の授業の補助活動をボランティアで行っています。特に制度化されていないわけではないのですが、自ら申し出て受け入れてもらっているようです。アルバイト代は出ませんが、日本／日本語に関心のある学生と多く知りあになれるなどメリットがあります。「ビジネス日本語」という授業の補助に入った先輩は、名刺の渡し方などでの日韓のビジネスマナーの違いもわかって勉強になったとのことでした。

大学の設備

学生証を発行してもらえ、図書館などの施設を現地の学生と同様に利用できます。図書館は24時間オープンです。

韓国語能力に関する試験の受験

韓国語文化教育センターの韓国語教師のアドバイスも受けながら、韓国語能力試験(TOPIK)や韓国語能力評価試験(KLAT)などを受験します。いずれも、日本では年に2回しか受験機会がありませんが、韓国では年に4回の受験機会があります。これまでに留学した先輩は、留学当初はTOPIK2級合格程度でしたが、10ヶ月の留学で、帰国前に最上級の6級に合格できています。

寮

International Houseという名の寮で、6人部屋、費用は1学期(半年)で約7万8千円です。二段ベッドで、キッチン、シャワー&トイレ、洗濯機、リビングなどを6人で共同使用します。机は1人1台ずつあります。光云大学の外国人留学生は、中国人やモンゴル人が多いので、それらの留学生とルームメートになる可能性が高いです。



寮外観



6人部屋の二段ベッド

6人部屋の勉強机

6人部屋の共有キッチン

・韓国では1学期に中間試験と期末試験があり、試験期間になると放課後に大量のお菓子やカップラーメンを生徒に配るイベントが生徒会主催で行われます。テスト期間を乗り切るために夜食として無料で配られるもので、いつもテスト期間になると長蛇の列ができています。

・韓国の大学生活の中で一番驚いたことが授業申請です。韓国の授業申請は新学期が始まる前に行われます。県大は新学期が始まり一週間ほど申請期間がありますが、韓国は1日しかありません。しかも授業申請は先着順で、どれだけ早く授業番号をパソコンに入力するかが勝負です。午前10時に授業申請が始まり午後4時で終了します。定員が一杯になると履修登録ができません。そのため履修登録の日はまるで「戦争」です(笑)。

先輩の
体験談

お金

現地銀行口座

携帯電話の契約や、アルバイト代の振り込みなどに使うと思うので、韓国の銀行の口座を一つは開設しておくほうが良いでしょう。光云大学のキャンパス内にはハナ銀行のATMがあり、学生証がキャッシュカードを兼ねるようになっているそうです。

クレジットカード&クレジットカード付帯の国際キャッシュカード機能

韓国は日本以上にカード社会ですから、日本にいる間にクレジットカード(どの会社でもほぼOK)を作って持つていくと良いでしょう。クレジットカードに付帯の国際キャッシュカード機能を使うと、デビットカードとして使ったり、ウォンの引き出しもできます。

日本からの送金方法

いろいろな方法があり、便利さや手数料などが異なります。韓国旅行/留学情報サイトなどで各種紹介されているので、良く読んで出発前に家族とよく相談しておきましょう。以下では3つの方法を紹介します。

【国際キャッシュカード】

日本にいるときに銀行(シティバンクや新生銀行)の口座付帯またはクレジットカード付帯の国際キャッシュカードを発行しておきます。日本にいる家族に、その国際キャッシュカードを開発している口座にコンビニATM等で預け入れしてもらって、韓国のATMでウォンで引き出したり、加盟店でデビットカードとして使ったりできます。ただし、手数料無料で引き出せる端末機は都心にしかない場合が多く、近くのコンビニでも引き出せませんが手数料がかかります。
例) VISAデビットカード(楽天銀行などと連携)

【プリペイド式外貨ATMカード】

基本的に上の国際キャッシュカードと同じような使い方になりますが、銀行口座とリンクしていない点が違います。
例) トラベレックスジャパンのキャッシュパスポートなど。

【ゆうちょ銀行⇒韓国の銀行口座】

ドル建ての送金。手数料は1件2500円。送金が到着するのに数日かかります。送金時の手数料はかかりますが、韓国の銀行口座から引き出すので、手数料がかからないATM機が生活圏内にあるという便利さがあります。

生活費(1カ月の目安)

家賃 15万ウォン(1学期で70万ウォン)
光熱水費込(所定の使用料をオーバーした場合のみ別途請求)
食費 30万ウォン
交通費その他 15万ウォン
合計 60万ウォン(約6万7千円)

※食費は外食が多くなりがちという実情を反映した金額。自炊をすればもう少し押さえられます。

先輩からのアドバイス

銀行口座の開設の際、3月は窓口が混雑するので、インターネットで受付の予約をしてから行くと良いでしょう。口座の開設や携帯電話の加入も外国人登録が必要なので、手続き前に登録を済ませておきましょう。

到着後

アルバイト

留学ビザ滞在者は、平日基準で週20時間以内(土日・長期休暇中は無制限)でアルバイトができます。希望する場合は、出入国管理事務所で「資格外活動許可」を受けてください。先輩のアルバイト事例としては、日本向けのアプリを作っている会社で翻訳などのアルバイト、日本人観光客向けの化粧品販売店でのアルバイトなど日本語のネイティブ・スピーカーであることを生かした仕事が多いです。アルバイトの賃金は日本よりも安い場合がほとんどですが、次のインターンシップと同様に経験としてやってみる価値はあるでしょう。

インターンシップ

長期休暇や最終学期終了後帰国までの期間を利用して、インターンシップを経験してみるのも良いでしょう。光云大学が紹介するインターンシップ・プログラムも上手く条件があれば利用可能です。

2014年度に留学した先輩は、インソウルという雑誌の外国人記者団の活動をしました。韓国に留学している学生が外国人記者として、定期的にソウルにある観光地や名店を訪問して取材し、母国語で記事を書くというものです。記事が選ばされると、雑誌に掲載してもらえ、掲載料も支給されます。一緒に取材をする外国人留学生との交流も新鮮で刺激を受けたといいます。

手数料等がかかりますが、日本人学生向けのインターンシップ先を斡旋する団体もあります。

詳しくは国際コミュニケーション学科の河先生(kkawa@shc.usp.ac.jp、研究室A1-115)に問い合わせてください。

衛生・医療事情

衛生施設等のインフラは相当整備されていますが、一見して衛生状態が良くない飲食店や屋台での食事(特に生もの)には注意が必要です。また、水道水は体に合わない場合があるので、生水を飲むことは避けましょう。レストラン等で出される水は飲用です。(外務省)

韓国の病院

病気をしたり怪我をしたら、我慢をせず、きちんと受診してください。韓国の医療機関は整備されており、技術的な問題に関しては心配ありません(厚生労働省)。緊急の場合は救急車を呼びましょう。

救急車TEL：119

ソウル市では、外国人応急医療案内電話サービスも行っています。非常時に有効活用してください。

TEL:1339 (携帯電話やソウル市外からは 02-1339)

予防接種

滋賀県立大学では、厚生労働省が推奨する以下の予防接種を渡航前に接種するよう、強く勧めています。

A型肝炎、日本脳炎、破傷風、B型肝炎

治安

旅行会社の発表では、韓国の治安は良好で、特に危険地域とされている場所もありません。ただし、繁華街への出入りは控え、夜の一人歩きや人通りの少ない道は避けるなどの心構えは必要です。また、スリやひったくり、タクシーでのトラブルが報告されています。気をつけてください。

韓国に限ったことではありませんが、法制度、文化背景、風俗習慣等、日本とは異なることを強く認識し、トラブルに巻き込まれないように十分注意するとともに、実際にトラブルに巻き込まれたときの対処ぶり等をあらかじめ想定しておくことが、海外における最も基本的な安全対策であることを忘れてはいけません。

その他安全情報については、こちらのURLに詳しく載っています。随時チェックし、情勢を把握するようにしてください。

外務省 海外安全ホームページ
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

韓国の緊急連絡先

- ◎警察 TEL112
- ◎救急車・消防 TEL119

- ◎大学のインターナショナルオフィス

- ◎ジェイアイ保険 Jiデスク (ソウル)
TEL 080-771-8111 (フリーダイヤル)
(02) 771-8111

- ◎在韓国日本大使館領事部
住所 Seoul特別市鍾路区壽松洞146-1
利馬Bldg 7F
TEL (02) 739-7400 (領事部代表)
FAX (02) 723-3528

電話・Wi-Fi

携帯電話

携帯電話はあったほうが便利でしょう(ご家族も安心するでしょう)。2014年度に留学した先輩は、中古の機種を3~4千円で買い求め、月額3千円程度のプランを契約したとのこと。プリペイド式の携帯電話など、いろいろな選択肢があります。

Wi-Fi

日本と同じようにLINEやカカオトークで連絡をとることが多い韓国では、スマートフォン(またはWi-FiにつながったiPodやタブレットなど)が無いと何かと不便だと思います。日本で使っているスマートフォン等の端末機は、Wi-Fi環境があれば(電話機能以外は)使えます。寮や大学、カフェなどでは無料で利用可能なWi-Fi環境がありますが、その他の場所にいるときもWi-Fi環境にしたい場合は、有料のサービスを使うこともできます。

なお、docomoのスマートフォンを使っている人は、日本で使っているスマートフォンのまま、月額300円(税別)で「海外プラスナンバー」というサービスにより、韓国内で使える電話番号が付与され、便利です。また、SAMSUNG製のスマートフォン機種なら、日本で使っている機種にSIMカードだけ契約して差し替えれば使えるらしいですが、自分でよく調べてみてください。

携帯、スマホ、Wi-Fi等の情報は日々変化します。「韓国 Wi-Fi」「韓国 携帯」などのキーワードでインターネット検索すると様々な情報が日本語でも出て来るので、最新の情報をチェックして検討してください。

交換留学先大学情報

光云大学校

大韓民国ソウル特別市蘆原区
<http://www.kw.ac.kr/>

光云大学校は、韓国のソウル市内の北東部に所在する私立大学で、1934年に朝鮮無線講習所として設立されたことにはじまる歴史ある大学です。1964年に光云電子工科大学となり、1987年に光云大学校として総合大学となりました。学生数は7,000人を超え、東北アジア学部、電子情報工科、工科、自然科学、社会科学、法科、経営の学部で構成されます。

2015年度は、光云大学から3名の交換留学生が本学に留学しています。



江原大学校

大韓民国江原道春川市
<http://www.kangwon.ac.kr/english/main/main.php>

江原大学校は、韓国ソウル市の北東約80kmに位置する江原道春川市に所在する国立大学です。春川市は「冬のソナタ」で有名な都市です。江原大学校は1947年に設立した江原道立春川農業大学が始まりで、1953年に道立から国立へ移管、1978年に総合大学に昇格、名称が江原大学校となりました。経営、工科、農業生命科学、動物生命科学、文化芸術大学、法科、師範、山林環境科学、獣医科、薬学大学、医科大学、医生命科学、人文、自然科学、ITの学部で構成されています。



江原大学の学生寮

キャンパス内に10棟ある、高層建物の学生寮。学生の半数近くが寮で生活しています。

韓国への留学経験者、留学中の学生、留学を考えている学生、担当教員の河先生がメーリングリストで随時情報交換しています。韓国留学に関心のある人は、とりあえずメーリングリストに登録してみましょう。河研究室 (kkawa@shc.usp.ac.jp) まで連絡してください。

モンゴル

モンゴルへの留学先は、首都ウランバートルのモンゴル国立大学です。この大学は学生数1万2千人以上を擁する総合大学で、モンゴル国の最高学府です。2015年度は4名の交換留学生在が本学に留学しています。

出願

出願書類

- ・ 願書(モンゴル国立大学所定の書式、英文)
- ・ 健康診断書(モンゴル国立大学所定の書式、英文)
- ・ HIV検査結果票
- ・ パスポートコピー
- ・ 写真(4cm×5cm)3枚
※モンゴル到着後にも必要ですので、7,8枚用意しましょう。
- ・ 滋賀県立大学の在学証明書(英文)
- ・ 滋賀県立大学の成績証明書(英文)

これらの出願書類は全て、保護者保管用・自分で保管用に2部ずつコピーを取ること。

これらの書類は国際化推進室を通して留学先に送られ、折り返し入学許可証が在日モンゴル大使館に送られます。

ビザ申請・外国人登録

モンゴルに交換留学する場合は、あらかじめ日本で査証(ビザ)を取得します。まず1ヶ月の入国許可を得て、渡航後に学生ビザの申請をモンゴル国立大学に委託します。4月からの留学の場合は同じ手続きを7月にもします(9月からの留学の場合は1回で良いです)。

申請手続き

入国許可の申請



査証の申請



学生ビザの申請
外国人登録
(受入大学に委託)

モンゴル国立大学への入学許可が降りると、東京もしくは大阪の在日モンゴル大使館に、交換留学予定者の入国ビザ申請書類(招待状)が送られます。ビザの取得日がわかると、その旨が国際化推進室宛にメールで送られてきます。

モンゴル大使館に次の書類を持参もしくは書留で送ります。

- ・ 交換留学予定者のパスポート
- ・ ビザ申請書(在日モンゴル大使館ウェブサイトよりダウンロード)
- ・ 「モンゴル国立大学への留学のため、ビザ申請中です」という内容の手紙
- ・ 切手を貼った返信用封筒(書留)
- ・ 写真(3×4cm) 1枚
- ・ 申請手数料10,500円の口座振込票(コピー可)

一週間ほどで、ビザの判が推されたパスポートが送り返されます。

※このビザは1ヶ月の入国許可です。渡航後に長期ビザへの切り替えが必要です。

渡航後一週間以内に、モンゴル国立大学にて、「学生ビザ」の申請と「外国人登録」の手続きをします。大学から書類をもらい、入管に行きます。この手続きには数日～1週間ほどかかります。

<必要なもの>

- ・ 写真(学生ビザに2枚、外国人登録に数枚)
- ・ 費用(学生ビザ):20ドルほど ※金額は年によって変更されます。
- ・ パスポートとビザのコピー

提出先:1号館 留学生課

駐日モンゴル国大使館(東京)の口座番号

銀行: 東京三菱UFJ銀行 渋谷明治通り支店

支店番号: 470

口座番号: 0458589 / 当座預金

口座名義: Embassy of Mongolia

予防接種・健康診断

モンゴル国立大学では予防接種は求められておりませんが、滋賀県立大学は以下の予防接種を強く勧めています。
A型肝炎、B型肝炎、破傷風、狂犬病 など

健康診断

モンゴル国立大学の所定様式に基づき、日本で健康診断を受けて下さい。HIVの検査も含まれますので、忘れずに受けて下さい。

授業

交換留学生は、留学生向けモンゴル語の語学クラスに入ります。9月から授業が始まり、2学期は2月からです。クラスには、初級、中級、上級の3つのコースがあります。基本的には、クラス分けを行うためのテストがあり、それでクラスを振り分けられます。授業期間中にモンゴルに来た場合は、日本で学習してきた年数などを参考に、クラスを振り分けられます。

その他、クラス対抗のモンゴル語イベントや、留学生向けの一泊旅行(カラコルムなど)の企画があります。旅行社に頼むより格安で歴史遺産を見学できます。

2014年2学期の時間割

曜日	時間	内容
月	12:20-13:50	文法
	14:00-15:30	ライティング
火	12:20-13:50	モンゴルについて(文化)
	14:00-15:30	会話
水	12:20-13:50	会話
	14:00-15:30	ライティング
木	12:20-13:50	モンゴルについて(文化)
	14:00-15:30	文法
金	12:20-13:50	会話
	14:00-15:30	ライティング

寮

交換留学生は、モンゴル国立大学外国人留学生寮です。大学の2号館から歩いて10分ほどで、全室外国人専用です。1階の入り口に受付があり、部外者は入れません。到着後に寮のIDカードを作成します。その際に、パスポートのコピーを写真(3×4cm)が必要になりますので、パスポートコピーと写真は多めに持って行きましょう。

1室2人用で、トイレと洗面台は4人で使用します。

- 寮費:無料(2014年2月現在) ※シーツ・布団カバーはありませんので、日本から持参してください。

設備

- 共同設備:シャワールーム(各階)、キッチン(各階)、公衆電話
- 部屋の設備・備品:勉強机、椅子、棚、ベッド、毛布、テレビ、セントラルヒーティング、無線LAN

※洗濯機はありません。

ホームステイ

ホームステイを希望する場合は、受け入れ先の学科長に相談するか、文化・社会人類学科所属の学生にホームステイ受け入れをお願いしてください。

モンゴルの一般家庭では、プライベート空間が存在しないことが多いです。トラブルを避けるためにも自分の持ち物には鍵をかけて管理してください。また、異文化の中に身を置くことは、特に最初は疲れるものです。自分だけの休める空間を維持しておく方が、精神衛生上良いでしょう。

お金

モンゴルの通貨はトゥグルクといい、物価はおよそ日本の1/3～1/2程度です。

それらの他に、渡航費(往復)10～15万円、緊急の帰国費用15万円を入れて年間約90万円を目安としてください。渡航時に持って行くお金は、10万円ほどが目安です(先輩談)。

クレジットカードは、マスターカードとVISAカードが使える所もありますが、あまり多くはありません。また、カード使用時に3%の上乗せがされます。現金の方が使い勝手が良いでしょう。

送金・銀行口座開設

モンゴルへの送金にはまず、モンゴルでの口座開設が必要です。KHAAH銀行かGolomt銀行が便利です。KHAAH銀行ではUSドルの口座が、Golomt銀行ではUSドルか日本円の口座が作れます。日本からは国際送金を扱う郵便局からモンゴルの口座へ送るのが確実です。送金には一週間ほどかかります。

トゥグルクは通貨としては弱く、いつ価値が下がるかわかりません。また不要になった分を日本で円に換金することは難しいため、開設した口座では円かドルで預金しておき、必要な時に引き出して換金した方が良いでしょう。換金は、銀行の他に換金所、Changeと呼ばれる換金所です。

※大金を持ち歩くことは危険です。
一回の引き出す金額は2万円以下に抑えてください。

生活費
先輩Kさんの例 (2013年3月～11ヶ月留学)
月額3万円程度：寮費 0円 食費 2万円 教科書代 1万円
留學生活を通しておよそ70万円

衛生・医療事情

衛生状態は日本より悪いですが、モンゴルは非常な寒冷地のため日本と比べ細菌が繁殖しにくい環境でもあります。したがって「見ため」ほど衛生状態は悪くありません。ただし、下痢や細菌性(サルモネラ・コレラなど)の腸炎に旅行者・長期滞在者がかかることがあります。時折咽頭炎、結膜炎、皮膚炎など乾燥によるもの、またまれにA型肝炎やB型肝炎、結核、ジフテリアなどウィルスによるもの、ペストや炭疽、ブルセラ症、狂犬病など動物から感染する病気にかかることもあります。

<予防>

- 十分に加熱した食事
- 生水や氷入りの飲み物は避ける
- 沸騰したものを冷ましたものか、未開栓のペットボトルのミネラルウォーターを飲料用とする
- 渡航前に予防接種を受ける(前ページ参照)

また、モンゴルは高地で気圧が低い上、非常に乾燥しています。滞在しているだけでも体に負担がかかりますので、健康管理には十分注意してください。

モンゴルの医療機関

医療水準は日本と大きく異なり、たとえば滞在中の病気や発作で病状が悪化したり、大きな怪我をした場合、安心して受診できる医療機関はほとんどありません。また、救急車は非常に待たされますので、可能であればタクシーなどを利用しましょう。

<受診可能な病院(ウランバートル)>

- 国立第二病院(外国人対応医療機関)
- 国際病院
日本語のできる医師はなし。一部の医師は英語での対応が可能。
医療費は高額。
- エンターナショナルホスピタルSOS
診療費が高額(精密検査と入院1日で30万円ほど)。
緊急時のみの利用を推奨。

救急車TEL：103

体調がすぐれない場合は、加入保険の日本語ヘルプデスクへ連絡を取り、必要であれば医療機関の紹介を受けましょう。

治安

近年、ウランバートル市を中心に治安は悪くなっています。特に、スリや窃盗、また外国人を狙った暴行、恐喝罪が増えています。また、ウランバートル市の交通マナーは大変悪く、交通事故を未然に防ぐための注意が必要です。日没後は一人で歩かない、大金は持ち歩かない、簡単に誘いにのらない、青信号でも車を確認するなどは最低限注意し、自分の身を守るため自覚をもって判断してください。次に挙げる犯罪が特に顕著です。

- ホテルや店頭でのスリ、置き引き
- 交通機関でのスリ
- 強盗、涉外、暴行等
- 麻薬等違法薬物犯罪

麻薬の取り締まりが強化されています。計測等も非常に厳しく、場合によっては外国人にも例外なく死刑や終身刑等の重刑が科されます。違法薬物には絶対に興味を示さないでください。繁華街の路地裏など、麻薬売買が行われている場所に近づいたり、タバコや高級茶葉などと称されているが不審なものには手を出さないでください。

また、見知らぬ人から(お土産などと言って)物品を預かってほしい、運んでほしいなどと依頼されても、きっぱりと断ってください。知らない間に手荷物に薬物等を入れられることもあります。荷物は徹底して管理して下さい。

モンゴルに限ったことではありませんが、法制度、文化背景、風俗習慣等のすべてが日本とは異なることを強く認識し、トラブルに巻き込まれないように十分注意するとともに、実際にトラブルに巻き込まれたときの対処ぶり等をあらかじめ想定しておくことが、海外における最も基本的な安全対策であることを忘れてはいけません。

その他安全情報については、こちらのURLに詳しく載っています。随時チェックし、情勢を把握するようにしてください。

外務省 海外安全ホームページ
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

モンゴルの緊急連絡先

- ◎警察 TEL102
- ◎救急車 TEL103
- ◎消防 TEL101

◎大学のインターナショナルオフィス

◎ジェイアイ保険 東京本社
TEL 00-81-3-3237-2151

◎在モンゴル日本国大使館
住所 Olympic Street, Sukhbaatar District,
Ulaanbaatar

郵便・インターネット

ここでは、電話以外の通信方法である郵便・インターネットについて説明します。

郵便

手紙やはがきなどの小型郵便物は寮まで届けられますが、EMSなどの荷物は通常私書箱のある郵便局へ取りに行きます。また、手紙や荷物を送るのは、中央郵便局からになります。

- 私書箱
外国人留学生寮の日本人留学生たちは、共同で私書箱を持ち、代々受け継いできました。私書箱の維持には費用がかかりますので、みんなで割り勘しています。先に留学している先輩方に尋ねて、利用させてもらいましょう。
- EMS
モンゴルと他国の間で郵便物を送る・受け取る場合は、EMS(国際エクスプレス・メール・サービス)を利用しましょう。通常郵便より超すとは高くつきますが、最長でも2週間以内に到着し、紛失保証もついていますので、こちらを利用した方が良いでしょう。

インターネット

大学の寮では無線LANの利用が可能です。

無線LANを利用しない場合、プロバイダーと契約します。G-mobileは回線の信頼性が高く、高速です。またモビコム社のプロバイダー(Mobinet)、スカイテル社のプロバイダー(Skynet)、Magic Net、Micom、UB-Netなど数社あります。先輩方に聞いて申し込んでください。費用は月15-20ドルほどで、初期費用(契約料、モデム代など)で100ドルほどが必要です。

電話

国際電話のかけ方と携帯電話について説明します。留学中は、部屋の分かりやすい場所にメモを貼ったり、メモを持ち歩くなどし、非常時にいつでも日本に連絡できるようにしておいてください。

電話のかけ方

モンゴル⇒日本

○○○○○ — 81 — ○○○ — ○○○○○○
国際プリペイドカード 日本
のアクセス番号 国番号 市外局番 電話番号
(最初の0を抜く)

※国際プリペイドカードを使用し、携帯電話からかける場合です。

(例)滋賀県立大学にかける場合 【アクセス番号】-81-749-28-8200

日本⇒モンゴルの携帯電話

010 — 976 — ○○○○○○
国際電話識別番号 国番号 電話番号(8桁)

日本⇒モンゴルの固定電話

010 — 976 — ○○ — ○○○○○○
国際電話識別番号 国番号 市内局番 電話番号

(例)自宅からモンゴル国立大学インターナショナルオフィス(留学生担当の部局)にかける場合

010-976-11-317050

モンゴルの携帯電話

モンゴルでは、固定電話よりも携帯電話の方が主流です。現地に着いたらすぐに携帯電話を購入しましょう。購入の際にはパスポートが必要です。

ウランバートル市内、および各地方の県庁所在地、一部の郡センターにいる限り、通話可能ですが、地方の草原部は通話圏外だと思ってください。

<契約方法>

携帯会社は、Unitel、Mobicom、G-mobile、Skytelなどがあります。Skytelは使いにくいのでおすすめしません。日本人はMobicom使用者が多いようですが、通話料が高く、Unitelの方がおすすめです。

1. 電話番号の取得料を支払う。15000トゥグルク。この料金には5000トゥグルク分のネグジ(通話権)を含みます。
2. 電話を購入します。50000トゥグルクぐらいから購入できます。
3. 通話料を支払います。プリペイド式が主流です。随時、ネグジを購入することで通話が可能です。

※その他、日本にかける場合は国際電話専用のプリペイドカードが便利です。日本への国際電話専用カードは、「Global Express」がおすすめです。

※電話番号が確定したら、保護者、滋賀県立大学の国際化推進室に番号を知らせてください。

その他

出迎えサービス

ウランバートルのチンギス・ハーン空港に到着する日、モンゴル国立大学から学生寮までの出迎えサービスがあります。国際化推進室と到着日の日程を打ち合わせし、本学を通して手配を要請します。2月～3月は受け入れ先も慌ただしく、連絡調整に時間がかかります。航空券を購入する際は、時間的余裕を十分にもって出迎えの手配ができるようスケジュールを組んでください。

その他モンゴル国立大学からの支援

留学生の受入を専門とする、留学生課があります。英語での対応が可。また、留学生全員に奨学金が支給されます。

日本から持っていったほうが良いもの

- のど薬、マスク、目薬(空気が非常に乾燥しています。)
- -20℃まで対応できる寝袋、靴下を重ね履きしてもはける靴、手袋(到着当初に必要です。)
- 常備薬、抗生物質など(後で日本から送るのは困難です。)
- 数日分のレトルト食品
- パソコン

地方へでかける場合

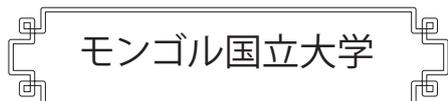
留学中、地方へ出かける場合は、電話やネットがほとんど通じません。長期にわたって地方に行く場合は、前もってモンゴル国立大学の担当職員と滋賀県立大学の国際化推進室、保護者、友人などに連絡がつかなくなることを教えてください。その際、以下の事も知らせてください。

- 行き先
- 滞在期間
- 同行する人の名前と連絡先

モンゴル人の人付き合いは日本人とは大きく異なります。日本人から見るとルーズに感じられるかも知れませんが、おおらかとも言えるでしょう。日本人の“常識”にとらわれずに、モンゴル人の感覚を身につけましょう。きっとモンゴル人から学ぶこともあるに違いありません。

先輩からの
アドバイス

交換留学先大学情報



モンゴル国立大学

モンゴル国ウランバートル市
<http://www.num.edu.mn/>

モンゴル国立大学はモンゴル国を代表する大学で、いわば"モンゴルの東大"です。人口100万人を擁する首都ウランバートル市の中心部に位置しています。大学一号館の斜向かいには、政府宮殿(大統領府・国会議事堂)があります。

モンゴル国立大学は、1942年、モンゴルで初めての大学として設立されました。現在12の学部と3の地方支部大学、1の付属小中高一貫教育学校を備えています。学生数においても、モンゴル最大の大学で、約1万5千人を擁します。滋賀県立大学は、モンゴル国立大学と1997年より交流を行ってきました。

モンゴル国立大学の教員は、ロシアはもちろんのことイギリスやアメリカの有名大学院の博士号を持つ教員も少なくなく、一部の講義は英語やロシア語で行われており、英語やロシア語での講義を受けることも可能です。

2015年度は、モンゴル国立大学から4名の交換留学生在が本学に留学しています。

モンゴル留学に関しては、詳細な留学手引きを用意していますので、
人間文化学部国際コミュニケーション学科 島村研究室、
または国際化推進室をたずねてください。

MEMO

派遣留学 国別留学情報

アメリカ

アメリカへの派遣留学先は、ランシングコミュニティカレッジ(ミシガン州)、スカジットバレーカレッジ(ワシントン州)、オリンピックカレッジ(ワシントン州)の3校です。

3か月～10か月間、ESLコースもしくは正規授業を受講します。

ランシングコミュニティカレッジ (Lansing Community College)

【学校概要】

LCCは、ミシガン州の州都で、滋賀県とは深い関わりがあるランシング市(大津市の姉妹都市)に位置しています。学生数は20,000人を超え、ミシガン州において3番目に規模の大きなCommunity Collegeです。

【費用(1年間滞在する場合の目安)】

授業料: \$9,300(≒1,116,000円)※履修登録する単位数等によって異なります。

住居費・食費: \$10,000(≒1,200,000円)

教科書代: \$1,100(≒132,000円)

保険: 15万円

その他雑費:

渡航費: 20～30万円

*費用はあくまでも目安であり、為替レート、生活スタイルにより大きく異なります。

【Academic Calendar】

秋学期9～12月、春学期1～5月

原則として秋出発の長期留学(9月～翌年5月)のみ留学可能です。

ランシングコミュニティカレッジの授業は基本的に20人以下の少人数クラスです。クラスメイトの層は幅広く、社会人も多いです。多くの留学生がいるのでアメリカ以外の文化も教えてもらうことができます。

先輩からの
アドバイス

スカジット・バレー・カレッジ (Skagit Valley College)

【学校概要】

1926年に創立された、アメリカ国内では2番目に古い、歴史ある2年制カレッジです。ワシントン州内のシアトルやバンクーバーに近い地域に、5つのキャンパスやセンターを持っています。

【費用】

授業料: \$ 2971/学期(3学期間留学の場合は \$ 8,913) ≒ 356,520円~1,069,560円

住居費: \$ 1,265/学期(寮)、\$ 400-500/月(ホームステイ)

≒ 151,800円~455,400円

食費: 100,000円(学期)~300,000円(3学期)

教科書代: \$1,000(≒120,000円)

保険: 15万円

その他雑費:

■【Academic Calendar】

クォーター制 夏学期:6月下旬~8月下旬

秋学期:9月中旬~12月中旬

冬学期:12月下旬~3月下旬

春学期:3月下旬~6月下旬

オリンピック・カレッジ (Olympic College)

【学校概要】

1946年に創設されたオリンピックカレッジはワシントン州シアトル市に近く、自然に恵まれ治安のととてもよいブレマートン市にあります。インターナショナルクラブ(留学生会)では毎学期各種イベントや小旅行等企画があり、日本人学生が少ないため英語のコミュニケーション能力アップが期待されます。

【費用】

授業料: \$ 3,078/学期(3学期間留学の場合は \$ 9,235) ≒ 369,360円~1,108,080円

住居費: \$ 1,500/学期(寮)、\$ 1,875/月(ホームステイ)

食費: 100,000円(学期)~300,000円(3学期)

教科書代: \$1,000(≒120,000円)

保険: 15万円

その他雑費:

渡航費: 20~30万円

*費用はあくまでも目安であり、為替レート、生活スタイルにより大きく異なります。

【Academic Calendar】

クォーター制 夏学期:6月中旬~8月下旬

秋学期:9月下旬~12月上旬

冬学期:1月上旬~3月中旬

春学期:3月下旬~6月上旬

カナダ

カナダへの派遣留学先はヴィクトリア大学語学センターです。12週間の英語集中講座を2ターム受講します。

出願

申請

株式会社ヴィエックインターナショナル(VIEC)を通して申請します。

出願書類 出願には下記の金額と書類を添えて申し込みます。

- ・VIECのプログラム申込用紙
- ・申請料 30,000円
- ・プログラムデポジット 70,000円(授業料に充当されます)
- ・ホームステイ申請料 25,000円

入学許可書の受け取り

出願後、入学許可証が届いた日から7日以内に所定の口座に費用の残金を支払います。
同時にホームステイ申請書をVIECに送付します。

出願書類、入学許可証は全て、国際化推進室提出用・保護者保管用・自分で保管用に3部ずつコピーを取ること。

滞在先

VIECにて手配されるホームステイ先での滞在となります。原則1名1ファミリーとなりますが、ホームステイ先には他国の留学生またはホストファミリーの親戚や友人などがある場合があります

お金

- ・渡航費:20万円程度
- ・プログラム費:約147万円(24週)

※プログラムに含まれるもの:

- ① 語学学校諸費用/ 授業料
- ② ホームステイ費用
- ③ 空港からの送迎
- ④ 現地オリエンテーション、現地サポート費用
- ⑤ 食事代
- ⑥ 送金手数料

※プログラムに含まれないもの:

- ① 教材費用
- ② 就学ビザ申請料(C \$ 150)、代行申請手数料(¥ 37,800)
- ③ ステイ先からの通学費用(バス費用)
- ④ 電話代や飲食代などの個人的費用
- ⑤ 海外旅行傷害保険
- ⑥ 航空運賃及び諸税
- ⑦ プログラム申請料(¥ 15,000×2回)
- ⑧ ホームステイ申請手数料(¥ 25,000)
- ⑨ プログラム受講中であれば追加料金(\$ 350)で最低30時間のボランティアへの参加が可能です。

医療事情

病院はほとんどが予約制で、診察をしてもらいたい場合は、必ず電話で予約をしてから病院に向かいます。それぞれの家庭や学校にかかりつけのホームドクターがいて、風邪や腹痛のような軽い症状のときはその医者に診てもらいます。また24時間営業しているウォーク・イン・クリニックでも予約なしで受けることができます。

治安

比較的治安が良いといわれるカナダですが、それでも日本と同じように、夜になると警戒心が必要な場所があります。避けた方がよい場所をホストファミリーに聞いてみましょう。どんなときも「安全を最優先」にする生活と行動を心がけましょう。

カナダの緊急連絡先

◎警察・消防・救急車 TEL001

◎VIEC Education Canada LTD

◎ジェイアイ保険 Jiデスク (バンクーバー)
TEL 1-800-799-3041 (フリーダイヤル)
(604) 688-3041

◎在カナダ日本大使館

電話

電話のかけ方

カナダ⇒日本

0 1 1 - 8 1 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇
国際電話接続番号 日本の国番号 市外局番(最初の0を取る) 電話番号

(例)台湾から滋賀県立大学へかける場合 00-81-749-28-8200

日本⇒カナダ

0 1 0 - 1 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇
国際電話識別番号 国番号 市外局番(最初の0を取る) 電話番号

ニュージーランド

ニュージーランドへの派遣留学先はオークランド大学イングリッシュランゲージアカデミー（E L A）です。

出願

出願の流れ

出願書類を揃える

出願書類を揃えます。

- ・ 留学申請書
- ・ 誓約書(滋賀県立大学提出用)



オンライン申請

- ・ オンラインApplicationで希望のコース、宿泊を申し込みます。
<http://www.ela.auckland.ac.nz/enrol>
- ・ 2日以内に、受付確認(Offer of Place)と請求書が、メールで届きます。
* Offer of Placeの手紙は、ビザ申請時に必要となるので、大事に保管しておきます。
- ・ 請求された金額を指定の口座に海外送金もしくは国際郵便為替を郵送し、海外送金の場合は払込票のコピーをオークランド大学へ提出します。



入学許可証の受取

支払が確認されたらCertificate of Enrolment と Receiptが届きます。

出願書類、入学許可証は全て、国際化推進室提出用・保護者保管用・自分で保管用に3部ずつコピーを取ること。

ビザ申請

※ ビザ取得の際には必ず自身で最新情報を確認しましょう。

3ヶ月を超えるフルタイム(週20時間以上のコース)の修学をする場合ビザ申請が必要となります。

申請手続き

A: オンラインにて申請

<http://www.immigration.govt.nz/migrant/stream/study/application/default.htm> から申請

B: 郵送にて申請

1. 該当の申請用紙とチェックリスト(別紙)を記入。

申請用紙は<http://www.immigration.govt.nz/migrant/general/formsandfees/formsandguides/study.htm> からダウンロード。

2. 申請取扱手数料5,200円、郵送返却料金800円(郵送での返却を希望の場合)とともに振込指定銀行口座へ振り込む

3. 郵送にて申請

申請書類をビザ申請センターへ送る際には、以下のものが含まれているか確認してください。

①記入済み申請用紙 ② 記入済みチェックリスト ③ 関係書類 ④銀行振込の控え

4. ビザセンターへ連絡

自身の申請書類の追跡および受領確認のため、申請に必要な料金の支払が完了したことを証明する明細書とビザ申請書類を発送された際の発送伝票をスキャンし、Eメールへ添付の上、ニュージーランドビザ申請センター(info.nzjp@vfshelpline.com) まで連絡してください。その際、申請者の詳細をEメール本文に記入してください。

申請に必要な書類：<http://www.immigration.govt.nz/migrant/stream/study/canistudyinnewzealand/whatisrequired/> において、必要書類の最新情報について必ず確認すること

1. 学生ビザ申請書

2. パスポート (パスポートの原本、顔写真ページのコピー2枚、全てのビザや出入国スタンプのある全ページのコピー各1枚)

3. 写真 最近のパスポートサイズ写真2枚

4. 計画書もしくは入学許可書

5. 滞在資金に関する証明書(1か月につきNZ\$1,250以上を証明するもの)*本人以外の資金で証明する場合は、「Financial Undertaking for a Student」の提出が必要

6. 健康診断書(6か月以上滞在する場合)

■注意事項

Eビザ発給開始により、ビザ申請が承認された場合も、ビザラベルがパスポートに貼られることはありません。ビザラベルを発給する代わりに、INZ上海からビザの詳細が記載されたレターがEメールにて送られます。ビザ申請が承認された際は、送られてくるレターを必ず印刷し、パスポートと一緒に持参してください。

滞在先について

ホームステイとアパートメントの選択が出来ます。

<ホームステイ> 個室が与えられ平日は2食付で、週約270ドルとなります。

<アパートメント> E L A 提携のアパートメントは、入居予約はE L Aが行ってきますが、その後の手続きや支払などはすべて各自で行います。部屋のタイプは共有(週220ドル)と個室(週340ドル)があり、家賃には水道光熱費、ウィークリーハウスキーピング、消費税が含まれています。また、デポジットとして400ドルを支払う必要があります。

治安

ニュージーランドは治安が良い所と思われがちですが、実際には日本人が犯罪被害に逢事件も発生しています。車上荒らしや置き引き被害に遭い旅券や現金を紛失するケースが毎月の様に報告されています。これらは本人の注意により十分回避可能なものです。「自分の身は自分で守る」という意識をしっかりと持ちましょう。

お金

往復渡航費(15-30万円)の他に授業料(Academic Englishコースの場合、41万円-164万円)、住居費週約2万円、保険料3-15万円を入れて年間約82-286万円(10週-40週)が目安です。加えて生活費(食費、交通費、娯楽費など)も見積もって予算をたてましょう。

ニュージーランドの緊急連絡先

◎警察・消防・救急車 TEL111

◎大学のインターナショナルオフィス

◎ジェイアイ保険 Jiデスク (オークランド)

TEL 0800-100-741 (フリーダイヤル)
(09) 379-0529

◎在ニュージーランド日本大使館
TEL (04) 473-1540

電話

ニュージーランド⇒日本

00 - 81 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇
国際電話接続番号 日本の国番号 市外局番(最初の0を取る) 電話番号

(例)台湾から滋賀県立大学へかける場合 00-81-749-28-8200

日本⇒ニュージーランド

010 - 64 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇〇〇
国際電話識別番号 国番号 市外局番 電話番号
(最初の0を取る)



日本とニュージーランドでは、交通ルールがかなり違います。たとえば、日本ではバス停にいればバスが止まってくれますが、ニュージーランドではドライバーに手で合図しなければとまりません。

インターネットは日本と違い、自分が使用した分だけ払う必要があるので、使いすぎには気をつけましょう。

～ニュージーランド留学ガイドブック2014(恵文社)より抜粋～

MEMO

イギリス

イギリスへの交換留学先はリーズ大学語学センターです。

出願

出願締切

各申込コース懐紙の5週間前

出願書類 出願には下記の金額と書類を添えて申し込みます。

- Application form (別添様式)
- パスポートのコピー
- 語学の証明(TOEFLスコアのコピー)
- 在学証明(英語) *教務グループで各自申請

上記書類をリーズ大学語学センターに送付します。

http://www.leeds.ac.uk/arts/info/125008/english_language/1330/applications
にて詳細参照のこと。

出願書類、入学許可証は全て、国際化推進室提出用・保護者保管用・自分で保管用に3部ずつコピーを取ること。

寮

http://accommodation.leeds.ac.uk/info/100001/prospective_students/56/international_students
リーズ大学にはキャンパス内外に多くの寮があります。寮の形態や寮費は寮により異なります。上記URLにて詳細参照のこと。入寮希望の場合は、所定の申込用紙に記入して申し込みます。

ビザ申請

英国で6か月以上滞在し、学校に通う場合は、学生ビザが必要になります。
UK Border Agency (UKBA, 英国国境局)と駐日英国大使館は、「VFS グローバル」という民間の機関とパートナーシップを組み、ビザに関する情報を提供しています。ビザの必要性や申請の方法については VFS グローバルのウェブサイトで最新の情報を確認するようにしてください。申請の窓口は英国ビザ申請センター(東京・大阪)です。

UK Border Agency (UKBA, 英国国境局)
<http://www.ukba.homeoffice.gov.uk/countries/japan/?langname=Japanese>

VFS GLOBAL JAPAN
<http://www.vfs-uk-jp.com/japanese/vfsglobalintroduction.html>

ビザの種類:

英国で語学学校に通う場合は、最長11カ月までstudent visitorビザで滞在できます。
<http://www.ukba.homeoffice.gov.uk/visas-immigration/visiting/student/>

申請時期:

申請は、英国への渡航予定日の三ヶ月前から可能です。

申請する前に:

申請する前に、必ず以下を確認してください。

- 必要な添付書類を準備する。
- オンライン申請用紙の完了およびオンラインでビザ申請料金の支払いをし、ビザ申請センターの予約をオンラインでとる。
- ビザ申請センターでの指紋と写真(生体認証情報と呼ばれています)の提出の準備をする。

申請料: 23,040円(2013年5月現在)

申請書類:

- 申請書(オンラインで作成)

<http://www.ukba.homeoffice.gov.uk/countries/japan/applying/?langname=Japanese>

- 入学許可書 / ビザレター

- パスポート(残存期間6ヶ月以上、かつ空白ページが2枚以上あるもの)

- 証明写真

- その他添付書類(information about you, information about your finances and employment, your accommodation and travel details, information about your visit to the UKが明記されたsupporting documents)

*Supporting documents についてはこちらから詳細をダウンロード可能

<http://www.ukba.homeoffice.gov.uk/sitecontent/documents/out-of-country/visitors.pdf>

お金

往復渡航費20-30万円に加え、授業料48-152万円(10週-32週)寮またはホームステイ料金、保険料、生活費を合算すると約95万円-300万円(10週-32週)を目安に予算をたてましょう。

生活費(1ヶ月の目安)

先輩Nさんの例
(2013年10月~10ヶ月留学)

月額10万円程度:寮費7万円
食費2万円、教養娯楽費1万円
留学生活を通して:およそ300万円

◆授業料支払について

授業料の支払いは、授業開始の約4週間前にE-MAILで送付されます。請求書が届き次第、全額前払いする必要があります。

イギリスの緊急連絡先

- ◎警察・消防・救急車 TEL999
- ◎大学のインターナショナルオフィス
- ◎ジェイアイ保険 Jiデスク (ロンドン)
TEL 0800-975-0630 (フリーダイヤル)
(020) 7930-9692
- ◎在イギリス日本大使館
TEL (020) 7465-6500

先輩からの
アドバイス

リーズは雑貨、服、食品が何でも揃う非常に便利な街です。曜日によっては非常に危険な日もありますが、基本的に安全です。日本と同様、深夜を一人で歩くのは避けた方がよいでしょう。

電話

電話のかけ方

イギリス⇒日本

00 - 81 - 000 - 000000
国際電話接続番号 日本の国番号 市外局番(最初の0を取る) 電話番号

(例)イギリスから滋賀県立大学へかける場合 00-81-749-28-8200

日本⇒イギリス

010 - 44 - 000 - 000000
国際電話識別番号 国番号 市外局番 電話番号
(最初の0を取る)

MEMO

コレ

安全な留学生活のために

多くの日本人がこんな事件に巻き込まれています!

(外務省 海外安全虎の巻より抜粋)

悪徳タクシー

(ケース1)

無資格営業のタクシー(いわゆる「白タク」)の誘いに応じ、乗車したところ、暗い路地に車を止められて、運転手に凶器でおどされて、所持品すべてを奪われた。

(対策)

必ずタクシー乗り場などから正規のタクシーを利用し、特に営業許可を受けていない白タクには乗らないようにしましょう。



スリ

(ケース2)

ソフトクリームを食べながら歩いてきた人がぶつかってきて、服にクリームがついた。その人は親切を装ってふき取ってくれたが、後で気が付くとポケットから財布がすられていた。

(対策)

自分のことをじっと見ている人がいないか気を付けましょう。見知らぬ人から不審な行為をされた場合は毅然とした態度で対応することが必要です。



(ケース3)

バスの車内で集団に取り囲まれて、バスが揺れるたびに体に触れたり、乗客が乗り降りするたびに押されたりして、後で気が付いたら財布をすられていた。

(対策)

バッグや上着、ズボンのポケットなどの盗まれやすいところには、貴重品を保管しないようにしましょう。



麻薬に関わるトラブル

(ケース4)

現地で知り合いになった男性から「〇〇国に着いたら、この荷物を友達に渡してほしい」と頼まれ、その荷物を持って目的地に出かけた。目的地の空港到着後、手荷物検査の中から麻薬が発見され、麻薬密輸の現行犯で逮捕された。

(対策)

本人の身に覚えのない麻薬密輸についても重い刑罰が科せられます。いくら他人に騙されたと弁明しても、それを証明することは非常に困難です。たとえ知り合いであっても他人の荷物を安易に預かり、国外に運ぶことはさげましょう。



留学に役立つ情報源

インターネットは留学に関する情報を収集する上で非常に有効なツールです。反面、掲載時期が古かったり、不確かな情報や根拠のない噂も多くあり、どのようなサイトにアクセスするかを選択が重要です。インターネットで検索する際に気をつけることは、留学先の大学であればその大学のホームページを、ビザ情報であればその国の大使館または領事館のページなど、一次情報源(オリジナルの情報源)で最新の情報を参考にすることです。以下に便利なサイトを紹介します。

海外留学情報

- JASSO(独立行政法人 日本学生支援機構) http://www.jasso.go.jp/study_a/oversea_info.html

主な語学カテスト

● 英語

- TOEFL: ETS(Educational Testing Service、実施機関) <http://www.ets.org/toefl>
- 国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部(国内問い合わせ先) <http://www.cieej.or.jp>
- プロメトリック株式会社(国内問い合わせ先) <http://ac.prometric-jp.com/toefl/jp/online.html>
- IELTS: ELTS(実施機関) <http://www.ielts.org>
- (財)日本英語検定協会IELTS事務局(国内問い合わせ先) <http://www.eiken.or.jp/ielts>

● 中国語

- HSK(漢語水平考試): 中国国家HSK委員会(実施機関) <http://www.hanban.org>
- HSK日本実施委員会(国内問い合わせ先) <http://www.hskj.jp>

● 韓国語

- S-TOPIK(一般韓国語能力試験): 韓国教育科学技術部国立国際教育院(実施機関) <http://www.topik.go.kr>
- 韓国教育財団(国内問い合わせ先) http://www.kref.or.jp/korea_kentei

● ドイツ語

- TestDaF: TestDaf Institut(実施機関) <http://www.testdaf.de>
- 東京ドイツ文化センター(国内問い合わせ先) <http://www.goethe.de/ins/jp/tok/jaindex.htm>
- 獨協大学(国内問い合わせ先) http://www.dokkyo.ac.jp/shiencenter/shiencenter03_06_01_j.html
- ZOP, KDS, GDS: ゲーテ・インスティトゥート(実施機関) <http://www.goethe.de/ins/de/deindex.htm>
- 東京ドイツ文化センター(国内問い合わせ先) <http://www.goethe.de/ins/jp/tok/jaindex.htm>
- 大阪ドイツ文化センター(KDSとGDSのみ、国内問い合わせ先)
<http://www.goethe.de/ins/jp/osa/jaindex.htm>

● スペイン語

- DELE: セルバンテス文化センター(実施機関) <http://diplomas.cervantes.es>
- セルバンテス文化センター東京(国内問い合わせ先) <http://www.dele.jp>

● フランス語

- DELF, DALF, TCF: フランス国民教育省(実施機関) http://delfdalf.jp/accueil_jp.htm
- アンスティチュ・フランセ関西-大阪 DELF・DALF試験管理センター(国内問い合わせ先)
<http://www.institutfrancais.jp/kansai/>

奨学金・ローン

- JASSO・第二種奨学金[短期留学](有利子貸与型) http://www.jasso.go.jp/saiyou/tanki_ryuugaku.html
- 外国政府等奨学金 http://www.jasso.go.jp/study_a/scholarships_foreign.html
- 公益財団法人助成財団センター・民間助成金ガイド <http://www.jfc.or.jp>
- 日本政策金融公庫・国民生活事業「国の教育ローン」 <http://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

海外安全・生活情報

- 外務省「海外安全ホームページ」 <http://www.anzen.mofa.go.jp>
- 厚生労働省検疫所「FORTH 海外で健康に過ごすために」 <http://www.forth.go.jp>
- 独立行政法人国際協力機構(JICA)「世界の様子(国別生活情報)」 <http://www.jica.go.jp/seikatsu/index.html>

各国のビザ情報

- 米国大使館 <http://japanese.japan.usembassy.gov/ja/visas.html>
- 中国大使館 <http://www.china-embassy.or.jp/jpn/lifu/>
- 韓国大使館 <http://jpn-tokyo.mofat.go.kr/worldlanguage/asia/jpn-tokyo/visa/issuance/index.jsp>
- モンゴル大使館 http://www.mn.emb-japan.go.jp/index_j.htm
- ドイツ大使館 http://www.tokyo.diplo.de/Vertretung/tokyo/ja/01__RK/VISA/_HAUPTBEREICH.html
- スペイン大使館 <http://www.exteriores.gob.es/Embajadas/TOKIO/ja/Paginas/inicio.aspx>
- フランス大使館 <http://www.ambafrance-jp.org/spip.php?rubrique549>
- イタリア大使館 http://www.ambtokyo.esteri.it/Ambasciata_Tokyo/Menu/Informazioni_e_servizi/Visti/
- ニュージーランド大使館 http://www.nz.emb-japan.go.jp/index_j.html
- オーストラリア大使館 <http://australia.or.jp/visa/>
- 台湾大使館 <http://www.roc-taiwan.org/JP/ct.asp?xItem=210931&CtNode=11236&mp=202>

各交換留学・派遣留学先の大学ホームページ

- JCMU <http://www.jcmu.net/>
(JCMU加盟大学)
 - Central Michigan University <http://www.cmich.edu/Pages/default.aspx>
 - Eastern Michigan University <http://www.emich.edu/>
 - Ferris State University <http://www.ferris.edu/homepage.htm>
 - Grand Valley University <http://www.gvsu.edu/>
 - Lake Superior State University <http://www.lssu.edu/>
 - Michigan State University <http://www.msu.edu/>
 - Michigan Technological University <http://www.mtu.edu/>
 - Northern Michigan University <http://www.nmu.edu/>
 - Oakland University <http://www.oakland.edu/>
 - Saginaw Valley State University <http://www.svsu.edu/>
 - University of Michigan <http://www.umich.edu/>
 - University of Michigan-Dearborn <http://www.umd.umich.edu/>
 - University of Michigan-Flint <http://www.flint.umich.edu/>
 - Wayne State University <http://wayne.edu/>
 - Western Michigan University <http://www.wmich.edu/>
- California State University Monterey Bay <http://csumb.edu/>
- Auburn University at Montgomery <http://www.aum.edu/>
- Alma College <http://www.alma.edu/>
- Columbia College <http://www.ccis.edu/international/>
- Mount St. Mary's College <http://www.msmc.la.edu/>

- University of Technology Sydney <http://www.uts.edu.au/>
- Lansing Community College <http://lcc.edu/>
- Skagit Valley College <http://www.skagit.edu/>
- Olympic College <http://www.olympic.edu/>
- リーズ大学・語学センター <http://www.leeds.jp/>
- ビクトリア大学・英語センター <http://www.uvcs.uvic.ca/elc/translate/japanese/>
- オークランド大学 ELA <http://www.ela.auckland.ac.nz/>
- 湖南師範大学 <http://www.hunnu.edu.cn/>
- 湖南農業大学 <http://www.hunau.net/>
- 海南大学 <http://www.hainu.edu.cn/>
- 青海民族大学 <http://www.qhmu.edu.cn/>
- 内モンゴル民族大学 <http://www.imun.edu.cn/>
- 中興大学 <http://www.nchu.edu.tw/>
- 光云大学校 <http://www.kw.ac.kr/>
- 江原大学校 <http://www.kangwon.ac.kr/english/main/main.php>
- モンゴル国立大学 <http://www.num.edu.mn/>
- アウクスブルク大学 <http://www.uni-augsburg.de/>
- セヴィーリャ大学 <http://www.us.es/>
- リール政治学院 <http://iep.univ-lille2.fr/>
- ペルージャ外国人大学 <https://www.unistrapg.it/en>

国際化推進室 A1棟-201



国際化推進室では、「留学ジャーナル」などの雑誌をはじめ、交換留学先大学のパンフレットの閲覧や各言語学習に関する図書の貸し出しなどを行っています。気軽に訪ねてきてください。

留学ガイドブック2015

2015年5月発行
滋賀県立大学

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500
滋賀県立大学 国際化推進室
TEL 0749-28-8504 FAX 0749-28-8267